

# 平成30年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業 事後評価一覧

令和元年11月

那覇市	1	嘉手納町	73
宜野湾市	13	北谷町	76
石垣市	19	北中城村	78
浦添市	25	中城村	82
名護市	30	西原町	85
糸満市	33	与那原町	88
沖縄市	36	南風原町	90
豊見城市	40	渡嘉敷村	96
うるま市	43	座間味村	98
宮古島市	49	栗国村	100
南城市	52	渡名喜村	101
国頭村	55	南大東村	102
大宜味村	57	北大東村	103
東村	58	伊平屋村	105
今帰仁村	59	伊是名村	107
本部町	61	久米島町	109
恩納村	63	八重瀬町	112
宜野座村	65	多良間村	116
金武町	67	竹富町	118
伊江村	68	与那国町	120
読谷村	71		

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1 1	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業	H25 ～ R3	外国人観光客への利便性の確保を図るため、外国語の話せるスタッフを配置した観光案内所の運営を支援する。	・外国人観光客の案内所の利用者年間17,700人 ・利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査	・外国人観光客の案内所の利用者 13,720人 ・満足度 98%	○
01 那覇市	1 2	交流オアシス整備事業	H24 ～ R2	観光客と市民との交流・憩いの場を創出するため、公有地及び道路残地等を活用した小広場、オープンスペース(交流スペース)の整備を行う。	小広場を交流・憩いの場として活用できたか(80%以上)を含め、アンケート調査	-	繰
01 那覇市	1 3	バス停上屋整備事業	H24 ～ R3	観光客がバス停で強烈な日差しや風雨を避け快適に利用できるようにするため、バス停上屋を整備する。	快適にバスを待てるようになったか(80%以上)を含め、アンケート調査	-	繰
01 那覇市	1 4	歴史散歩道整備事業	H24 ～ R3	観光客が那覇の歴史に感じて歩くことができるようにするため、歴史散歩道を整備する。	歴史を感じて歩くことができたか(80%以上)を含め、アンケート調査	-	繰
01 那覇市	1 5	亜熱帯庭園都市の道づくり基礎調査事業	H27 ～ H30	観光客が道路を安全で快適に移動できるよう、道路の環境改善を図るため、基礎調査を行う。	那覇西・北地域における道づくり基礎調査の完了	那覇西・北地域における道づくり基礎調査の完了	◎
01 那覇市	1 7	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	H24 ～ R3	幹線市道や観光地周辺市道の美化(剪定・除草・植栽整備等)を推進し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査	観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか 80%	◎
01 那覇市	1 8	花いっぱい運動推進事業	H24 ～ R3	亜熱帯ならではの緑化景観を創出するため、市内の観光振興に資する路線沿線を対象に、市民等へ草花苗を配布し、花壇への植付等を行う。	観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査	観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか 86.8%	◎
01 那覇市	1 9	リュウキュウマツ害虫対策事業	H24 ～ R3	観光資源である景観の保護を図るため、県木であるリュウキュウマツへの薬剤注入等により、マツ枯れ予防対策を行う。	リュウキュウマツへの薬剤注入 310本	リュウキュウマツへの薬剤注入 337本	◎
01 那覇市	1 10	那覇爬龍船競漕振興事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、那覇市の伝統行事「那覇ハーリー」の開催の支援等を行う。	那覇ハーリー来場者数:192,000人	那覇ハーリー来場者数:164,000人	○

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1 11	那覇大綱挽振興事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、那覇市の伝統行事「那覇大綱挽」の開催の支援等を行う。	「那覇大綱挽」来場者数:274,000人	「那覇大綱挽」来場者数:270,000人	○
01 那覇市	1 12	琉球王朝祭り首里振興事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、観光資源である「琉球王朝祭り首里」の開催の支援等を行う。	「琉球王朝祭り首里」来場者数:48,600人	雨天のため中止	未
01 那覇市	1 13	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業	H25 ～ R3	観光誘客を図るため、観光資源である「琉球王朝絵巻行列」の開催の支援等を行う。	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」来場者数:37,100人	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」来場者数:37,000人	○
01 那覇市	1 14	プロ野球キャンプ等支援事業	H24 ～ R3	読売巨人軍春季那覇キャンプ及びプロ野球公式戦を実施することで、観光誘客を図る。	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数108,600人 ・プロ野球公式戦1試合入場者数:13,400人	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数120,061人 ・プロ野球公式戦1試合入場者数:15,536人	◎
01 那覇市	1 15	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24 ～ R3	読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等を設置することにより、キャンプ会場を訪れる観光誘客を図る。	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数108,600人	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数120,061人	◎
01 那覇市	1 16	国際通りトランジットマイル推進事業	H24 ～ R3	観光客・地元客の誘客を図るため、国際通り商店街振興組合連合会が実施するトランジットモールの取組を支援する。	歩行者通行量1日:21,600人	歩行者通行量1日:22,988人	◎
01 那覇市	1 17	一万人のエイサー踊り隊推進事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、観光資源である「一万人のエイサー踊り隊」の開催支援等を行う。	来場者数:96,000人	来場者数:95,000人	○
01 那覇市	1 18	那覇まちまーい推進事業	H24 ～ R3	観光客の誘客を図るため、地元ガイドと那覇市内の観光地を巡る「那覇まちまーい」の支援を行う。	参加者数 17,300人	参加者数 10,946人	△
01 那覇市	1 19	歴史博物館企画展事業	H24 ～ R3	地域の歴史・文化を学べる機会を増やすため、歴史博物館において、沖縄の歴史・文化に特化した企画展を開催する。	来館者数 11,400人	来館者数 12,815人	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1 20	公衆無線LANサービス提供モデル事業	H24 ～ H30	外国人観光客の利便性の向上を図るため、公衆無線LANサービスを提供するとともに、県の公衆無線LANサービスとの認証連携の構築や、民間事業者が主体となるWi-Fiサービスの提供、運用を検討する。	・Wi-Fi認証数(外国人観光客) 61,000回/(月平均) ・Wi-Fiの満足度(外国人観光客)(80%以上) ・民間事業者が主体となるWi-Fi提供環境の構築 ①認証手続きの効率化 ②サービス提供エリアの拡大 ③AP配置位置の最適化	・Wi-Fi認証数(外国人観光客) 29768回/(月平均) ・Wi-Fiの満足度(外国人観光客)87% ・民間事業者が主体となるWi-Fi提供環境の構築	○
01 那覇市	1 21	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	H24 ～ R3	市内観光地への観光誘客を促進するため、観光拠点である国際通りにおいて、大型ビジョンを活用して那覇市の観光PR映像、ARコンテンツ、イベント中継等の観光情報を発信する。	視聴者測定システムによる集計数 H28年度実績比5.2%程度増の16,300人(月平均)	視聴者測定システムによる集計数 16,167人	○
01 那覇市	1 22	外国人観光客受入整備事業	H26 ～ R3	外国人観光客の受入体制の整備を図るため、那覇クルーズ促進連絡協議会の活動支援、市街地や周辺店舗・事業所へサポート要員の派遣、語学講座の実施等を行う。	外国人観光客の満足度 80%以上	外国人観光客の満足度 96%	◎
01 那覇市	1 23	マチグラー総合案内所事業	H26 ～ R3	観光客の利便性の確保を図るため、中心商店街(マチグラー)に、案内所を設置する。	案内所利用者数: 24,200人 (H28年度実績 20,377人)	案内所利用者数: 26,096人	◎
01 那覇市	1 24	沖縄国際映画祭関連事業	H25 ～ R3	観光客の誘客を図るため、沖縄映画祭開催に係る運営費の一部を実行委員会に補助する。	国際通りレッドカーペット観客数: 92,000人	国際通りレッドカーペット観客数: 63,000人	未
01 那覇市	1 25	観光イベント等映像発信事業	H25 ～ R3	市内観光地への観光誘客を促進するため、移動式車載大型ビジョンを活用して、観光客向けに那覇市の観光情報を発信する。	・クルーズ船来客数: 370,000人(実績値) ・来場者(国際通りレッドカーペット・那覇ハーリー・那覇大綱挽・琉球王朝祭り): 606,600人 ・読売巨人軍那覇キャンプ: 見学者数108,600人	・クルーズ船来客数: 610,449人 ・来場者(国際通りレッドカーペット・那覇ハーリー・那覇大綱挽・琉球王朝祭り): 497,000人 ・読売巨人軍那覇キャンプ: 見学者数120,061人	○
01 那覇市	1 26	亜熱帯庭園都市の公園美化事業	H24 ～ R3	観光客の利便性の確保を図るとともに、観光地としてふさわしい公園を創出することができるようするため、トイレ整備、公園の美化(剪定・植栽)等を行う。	①トイレが整備されたことにより利便性が確保されたか、②観光地としてふさわしい公園景観であると感じるか(80%以上)	ー	繰
01 那覇市	1 27	観光入込統計調査事業	H28 ～ R3	那覇市における国内観光客の旅行動向を把握し、その結果の活用を図る。	観光入込統計調査の完了	観光入込統計調査の完了	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1 28	バリアフリー改装補助事業	H26 ～ H30	観光客の利便性の確保を図るため、観光客が利用する既存の民間商業施設等の改装工事を支援し、バリアフリー化を行う。	利便性が確保されたか 80%以上	利便性が確保されたか 90%	◎
01 那覇市	1 29	那覇市営奥武山野球場イメージアップ事業	H28 ～ H30	奥武山野球場のプロ野球キャンプ及び公式戦を継続実施し観光誘客を図るとともに、野球の全国・九州等大規模大会の開催を誘致するため、鉄骨大屋根部分の塩害防止対策及びイメージアップ塗装を行う。	那覇市営奥武山野球場大屋根鉄骨部分の塩害防止対策及びイメージアップ塗装工事(第2期)と工事監理業務委託(第2期)の完成	那覇市営奥武山野球場大屋根鉄骨部分の塩害防止対策及びイメージアップ塗装工事(第2期)と工事監理業務委託(第2期)の完成	◎
01 那覇市	1 30	めんそーれ観光充実事業	H28 ～ H30	観光地としてふさわしい景観等を確保するため、国際通りを中心に迷惑行為の指導、是正要請等を行う。	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導件数 460件以内	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導件数 302件	◎
01 那覇市	1 31	那覇と周辺離島の連携による観光振興事業	H29 ～ R3	周辺離島航路発着場において観光案内所を設置し、本市や沖縄観光全般(特に周辺離島)に係る観光情報を提供し、観光客の利便性の確保を目的とする	・観光案内所利用者数:6,000名 ・利便性が確保されたか 80%以上	・観光案内所利用者数:8412名 ・利便性が確保されたか 100%	◎
01 那覇市	1 32	観光危機管理推進事業	H30	観光危機発生時における観光客の安全確保を図るため、「那覇市観光危機管理計画」を策定する。	那覇市観光危機管理計画の策定完了	那覇市観光危機管理計画の策定完了	◎
01 那覇市	1 33	景観まちづくり推進事業	H24 ～ H30	沖縄らしい風景づくりを促進し、観光地の景観としてふさわしいデザインを創出するため、公共デザインマニュアル案を作成する。	公共デザインマニュアル案の作成完了	公共デザインマニュアル案の作成完了	◎
01 那覇市	1 34	福州園再整備事業	H28 ～ R2	観光客を含めた利用者数の増加を図るため、県内唯一の中国式庭園である福州園において、機能強化を行う。	・福州園再整備の実施設計業務の完了	・福州園再整備の実施設計業務の完了	◎
01 那覇市	1 35	第一牧志公設市場再整備推進事業	H26 ～ R3	那覇市の観光振興に寄与する拠点施設である第一牧志公設市場を再整備することにより、観光客の誘客を図る。 今年度は、施設本体の実施設計、補償契約業務及びリース方式により仮設店舗の建設を実施する。	(1)施設本体の実施設計の完了 (2)仮設店舗の建設工事の完了 (3)補償契約業務の完了 (4)商業支援業務等の完了	-	繰
01 那覇市	1 36	貸切バス乗降場・待機場整備事業	H30	貸切バスの国際通り周辺での路上駐車による交通混雑の緩和を図るため、貸切バスの乗降場・待機場を整備する。	・県庁北口付近及び牧志駅付近への貸切バスの日平均流入台数:2割減	-	繰

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1 37	物語性のあるランドマーク創造事業	H29 ～ R3	平成29年度新規事業「物語性のあるランドマーク創造事業」にて構築した「ランドマーク戦略プラン」を展開し、プランで設定したストーリー・物語を観光客への認知度の向上を図る。	・SNS等での発信完了	-	繰
01 那覇市	2 1	市魚マグロ等水産物流通支援事業	H24 ～ R3	「那覇市の魚(市魚) マグロ」の消費促進を図るため、漁業組合等のイベントへ助成を行うとともに、民間企業及び組合等への業務委託をし、PR活動を実施する。	・PRイベント来場者: 47,200人 ・学生等若者向けの料理教室等マグロPR事業の参加者: 83人 ・市内世帯のマグロの年間支出金額の維持: 5,909円以上 ・マグロが市魚であることを知っているか: 80%以上	・PRイベント来場者: 27,800人 ・学生等若者向けの料理教室等マグロPR事業の参加者: 194人 ・市内世帯のマグロの年間支出金額の維持: 4,919円 ・マグロが市魚であることを知っているか: 33%	○
01 那覇市	2 2	漁船近代化機械設置推進事業	H24 ～ R3	漁業者数の維持を図るため、漁船の近代化機械等の整備を支援する。	漁業者数 174名	漁業者数 184名	◎
01 那覇市	2 3	外国人漁業研修生受入推進事業	H26 ～ R3	マグロ延縄漁船数の維持及び確保を図るため、市内漁協が実施する外国人漁業研修生受入事業を支援する。	マグロ延縄漁船数 47隻	-	繰
01 那覇市	3 1	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24 ～ R3	販路開拓の前段となる商談会への出展して、商談の機会を増やし、商談成約を図る。	商談成約率(商談成約件数/商談件数) 10%以上	商談成約率(商談成約件数/商談件数) 2.0%	未
01 那覇市	3 2	那覇の物産展事業	H24 ～ R3	那覇市長賞を受賞した商品、その他市内事業者の商品を知ってもらい、売上増加に繋げるため、「那覇の物産展」の開催等を行う。	物産展来場者数 74,000人	物産展来場者数 200,650人	◎
01 那覇市	3 3	沖縄の産業まつり事業	H25 ～ R3	那覇市長賞を受賞した商品、その他市内事業者の商品を知ってもらい、売上増加に繋げるため、沖縄の産業まつりに出展する市内事業者への支援を行う。	「沖縄の産業まつり」来場者数 222,400人	「沖縄の産業まつり」来場者数 260,200人	◎
01 那覇市	3 4	企業誘致活動サポート事業	H24 ～ R3	本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動等を実施する。	誘致企業: 3社	誘致企業: 11社	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」  
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」  
 「繰越」・・・「繰」  
 「遂行困難」・・・「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
01 那覇市	3 5	市内企業経営基盤強化事業	H27 ～ R3	市内中小企業の経営基盤の強化に役立てるため、海外商談会出展準備講座をはじめ、各種セミナー等を開催する。	セミナーへの参加等により経営基盤の強化に役立ったとの回答割合:80%以上	セミナーへの参加等により経営基盤の強化に役立ったとの回答割合:87%	◎
01 那覇市	3 6	頑張るマチグワー支援事業	H25 ～ R3	観光客及び地元客の誘客を図るため、商店街等が行う事業を支援する。	中心商店街の平日歩行者通行量 117,000人	中心商店街の平日歩行者通行量 102,529人	○
01 那覇市	3 7	なは産業支援センター育成支援事業	H28 ～ R3	なは産業支援センターに入居する企業等の育成を図るため、相談等の支援を行う。	支援を受けたことで企業経営に役立ったか80%以上	支援を受けたことで企業経営に役立ったか31.3%	未
01 那覇市	3 8	企業立地促進事業	H28 ～ R3	雇用の創出及び企業の立地促進を図るため、市外から市内へ新規に事務所を設置した企業に助成を行う。	・新規常用雇用者数:60名 ・新規企業立地社(申請者):7社	・新規常用雇用者数:10名 ・新規企業立地社(申請者):3社	未
01 那覇市	3 9	なはし創業・就職サポートセンター運営事業	H24 ～ R3	創業・就業の支援を図るため、創業・就職相談等を行う。	・相談窓口利用者数 2,400人 ・創業者 15人 ・就職した人数の割合 2.4%	・相談窓口利用者数 1,732人 ・創業者 4人 ・就職した人数の割合 2.6%	△
01 那覇市	3 10	新商品開発支援事業	H29 ～ R3	那覇市の観光・地域資源を活用した商品、サービスの販売や売上の促進を図るため、新たな特産品、土産品、サービスの企画・開発を支援する。	新商品(またはサービス)開発数:4件以上	新商品(またはサービス)開発数:31件	◎
01 那覇市	3 11	「なはけいざいMAGAZINE」発刊事業	H29 ～ R3	那覇市経済産業施策事業の周知を図るため、タブロイド判の広報紙(発刊物)を作成し、配布する。	那覇市の経済産業施策事業の認知度年間平均値34%以上	那覇市の経済産業施策事業の認知度年間平均値42%	◎
01 那覇市	3 12	まちなか商店街再生プロジェクト事業	H29 ～ H30	那覇市の中心商店街への来街者増加を図るため、道路を活用したまちなか商店街の再生計画案を作成する。	再生計画案の作成完了	再生計画案の作成完了	◎
01 那覇市	3 13	那覇市ぶんかテンプス館施設機能強化事業	H30	利用者のための空調設備機器を整備することにより、利用者の快適性の向上を図る。	高効率型空調設備機器への更新工事完了	高効率型空調設備機器への更新工事完了	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
01 那覇市	3 14	民間資金調達促進マッチング事業	H30 ～ R3	中小企業の資金調達の支援を図るため、市内の企業及び起業家等の施策に対し、民間等の資金の投資を促す環境を整備する。	投資実行率:50%	投資実行率:9%	未
01 那覇市	4 1	那覇港総合物流センター整備事業	H25 ～ H30	物流拠点の形成を図ることにより、取扱貨物の増大に向けて那覇港総合物流センターを整備する。	那覇港総合物流センターの整備の完了	那覇港総合物流センターの整備の完了	◎
01 那覇市	4 2	万国津梁のロマンあふれる交流のみなとまちづくり事業	H29 ～ R3	那覇港において、歓送迎セレモニーを行うことにより、クルーズ船の寄港回数の増加を図る。	・クルーズ船の寄港回数 307回以上 ・クルーズ船寄港時のおもてなし演舞等の実施回数 46回	・クルーズ船の寄港回数 259回 ・クルーズ船寄港時のおもてなし演舞等の実施回数 48回	○
01 那覇市	5 1	生き生き人材育成支援施設整備事業	H26 ～ R1	人材育成を図るとともに、住民の学習・交流活動を支援するための拠点施設を整備する。	・磁気探査業務の完了 ・建設工事(一部)の完了 ・建設工事監理業務(一部)の完了	・磁気探査業務の完了 ・建設工事(一部)の完了 ・建設工事監理業務(一部)の完了	◎
01 那覇市	6 1	基礎学力向上のための学習支援事業	H24 ～ R3	小学校への学習支援員の配置及び申請のある小中学校への学習支援ボランティアの派遣により学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査の県との差 ①小学校算数(3年):+1.6ポイント(H24～H28平均1.5ポイント) ②中学校数学(2年):+3.2ポイント(H24～H28平均3.1ポイント)	①小学校算数(3年):+3.3ポイント ②中学校数学(2年):+1.5ポイント	○
01 那覇市	6 2	英語指導員配置事業	H24 ～ R3	英語指導員を配置することにより、長期的な英語指導を行い、英語能力の向上を図る。	・英語能力判定テストにおける英検4級レベルの生徒割合 59.8%以上(前年度の実績以上)	・英語能力判定テストにおける英検4級レベルの生徒割合 66.8%	◎
01 那覇市	6 3	特別支援教育充実事業(小・中学校)	H24 ～ R3	特別な支援を要する児童生徒へ、教育相談員の派遣や特別支援教育ヘルパーの配置を行うことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図るための支援を行う。	保護者の特別支援教育ヘルパーの対応への満足度 80%以上	保護者の特別支援教育ヘルパーの対応への満足度 96.8%	◎
01 那覇市	6 4	特別支援教育充実事業(幼稚園・認定こども園)	H24 ～ R3	特別な支援を要する園児に対応した支援等を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	保護者の特別支援教育ヘルパーの対応への満足度 80%以上	保護者の特別支援教育ヘルパーの対応への満足度 100%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
01 那覇市	6 5	発達支援強化事業(乳幼児期)	H27 ～ R3	発達の気になる乳幼児の就学後の学校生活での不適応行動を少なくするために、小学校就学前の段階から、発達の気になる乳幼児及び子どもとのかかわり方に不安を持つ保護者等の早期把握、早期支援を行う。	市民(保護者)の満足度 80%以上	市民(保護者)の満足度 100%	◎
01 那覇市	6 6	幼稚園預かり保育推進事業	H24 ～ H30	預かり保育の実施により、保護者の育児における負担感の軽減を図る。	預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか 80%以上	預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか 100%	◎
01 那覇市	6 7	不登校対策等支援事業	H24 ～ R3	不登校など課題のある児童生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 55%以上 中学校 62%以上	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 22.4% 中学校 48.8%	未
01 那覇市	6 8	教育相談支援員・生徒サポーター配置事業	H24 ～ R3	学校内の相談室等において不登校傾向にある児童生徒の相談・支援等を行うことで、不登校の改善を図る。	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 55%以上 中学校 62%以上	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 22.4% 中学校 48.8%	未
01 那覇市	6 9	青少年旗頭事業	H24 ～ R3	伝統文化の保存継承を図るため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を実施する。	旗頭フェスタに参加した児童生徒数:940人	旗頭フェスタに参加した児童生徒数:834人	○
01 那覇市	6 10	街頭指導(がいとうPolaris)事業	H24 ～ R3	青少年の非行の未然防止と早期発見・早期対応のため、専任指導員を学校外に配置し、巡回指導等を行う。	19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合 3.2%	19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合 2.58%	◎
01 那覇市	6 11	児童のスポーツ県外派遣補助金	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	保護者へのアンケート調査により、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答 80%以上	保護者へのアンケート調査により、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答 100%	◎
01 那覇市	6 12	児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣)	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	・児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたとする回答 80%以上 ・保護者へのアンケートで、児童・生徒が日頃の生活態度や練習に取り組む姿勢等に変化が見られたか 80%以上	・児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたとする回答 100% ・保護者へのアンケートで、児童・生徒が日頃の生活態度や練習に取り組む姿勢等に変化が見られたか 92.9%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
01 那覇市	6 13	自然体験学習事業	H24 ～ R3	児童の豊かな社会性を育むため、自然体験活動を実施する。	児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合 88.9%以上	児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合 88.9%	◎
01 那覇市	6 14	学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	H24 ～ R3	小中学校校舎等の塩害を防止し長寿命化を図るため、校舎等外壁面の塗装対応を行う。	外壁等の剥離件数:0件 外壁の亀裂等件数:0件	-	繰
01 那覇市	6 15	学力向上に向けた調査研究事業	H25 ～ R3	授業の改善に資するため、学力調査を小学校で実施し、その結果を分析して、教師が指導するに当たっての資料を提供する。	アンケート調査により、指導方法等、授業の改善に役立ったか 80%以上	アンケート調査により、指導方法等、授業の改善に役立ったか 81%	◎
01 那覇市	6 16	なは若者人材育成支援事業	H27 ～ R3	地域とのつながりや交流の機会を提供することで、青年、児童生徒の豊かな社会性を育むため、青少年育成団体への支援等を行う。	・成人式アワード参加者による評価:「大変良かった」「よかった」の回答 80%(アンケートによる集計) ・活動に参加した児童生徒の保護者による評価:「児童生徒が社会性(体験を通して他人との協力や思いやる姿勢)が向上した」との回答 80%(アンケートによる集計)	・成人式アワード参加者による評価:「大変良かった」「よかった」の回答 80% ・活動に参加した児童生徒の保護者による評価:「児童生徒が社会性(体験を通して他人との協力や思いやる姿勢)が向上した」との回答 81%	◎
01 那覇市	6 17	幼稚園情操教育充実事業	H28 ～ H30	情操教育により、園児の感性や情緒の発育を促すため、公立幼稚園・認定こども園にシルバー世代の方を派遣し、幼稚園開園時間前を利用し園児と共同で美化活動等を行う。	預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか 80%以上	預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか 99%	◎
01 那覇市	6 18	電子黒板等整備事業	H24 ～ H30	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、小学校に電子黒板を整備、同時に貸出用タブレット端末を整備し、児童の興味関心及び集中力を高め、分かりやすい授業環境を整える。	・市立小学校第1～4学年及び6学年で学級数が増となった普通教室への電子黒板整備率 100% ・教育研究所への貸出用タブレット端末60台の整備完了	・市立小学校第1～4学年及び6学年で学級数が増となった普通教室への電子黒板整備率 100% ・教育研究所への貸出用タブレット端末60台の整備完了	◎
01 那覇市	7 1	文化芸術ふれあい事業	H24 ～ R3	沖縄の伝統芸能文化や優れた芸術作品にふれる機会の確保を図るため、「組踊公演」等を行う。	組踊公演への来場者 580人以上	組踊公演への来場者 709人	◎
01 那覇市	7 2	市民文化育成発信事業	H24 ～ R3	沖縄の伝統芸能文化や芸術文化の活動にかかわる機会の確保を図るため、「なは市民芸術展」等を行う。	①「うちなーぐち講座」参加者 210人以上 ②「なは市民芸術展」参加者 1,545人以上	①「うちなーぐち講座」参加者 232人 ②「なは市民芸術展」参加者 1,388人	○

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
01 那覇市	7 3	市民文化支援事業	H24 ～ R3	那覇市の指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能の保存継承を図る。	市民文化支援事業の対象となる市内の民俗芸能団体数 12団体	市民文化支援事業の対象となる市内の民俗芸能団体数 12団体	◎
01 那覇市	7 4	伝統文化継承種まき事業	H24 ～ R3	沖縄の伝統文化を学習、体験する機会の確保を図るため、保育所へ伝統文化の専門講師を派遣する。	伝統文化を学習・体験した園児数 407人	伝統文化を学習・体験した園児数 474人	◎
01 那覇市	7 5	子どもが輝くまちづくり事業	H24 ～ R3	伝統芸能の保存継承を図るため、「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。	子どもフェスタ参加した児童生徒数:730人	子どもフェスタ参加した児童生徒数:737人	◎
01 那覇市	7 6	郷土資料整備事業	H24 ～ R3	市民が沖縄の文化を学べる環境を整備し、沖縄の文化を理解を深めるため、郷土に関する関係資料を提供する。	郷土資料利用者へのアンケートにより、沖縄の文化への理解が深まったか 80%以上	郷土資料利用者へのアンケートにより、沖縄の文化への理解が深まったか 95.6%	◎
01 那覇市	7 7	新文化芸術発信拠点施設整備事業	H24 ～ R2	市民、県民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場の確保を図るため、新文化芸術発信拠点施設を建設する。 本年度は、施設本体の建設工事、拠点施設用地拡大のための用地取得等を実施する。	・用地取得業務 完了 ・施設本体建設工事 初年度完了 ・建設工事業務委託(工事監理) 初年度完了	－	繰
01 那覇市	7 8	御細工所跡緊急発掘調査事業	H27 ～ H30	歴史の継承を図るため、発掘調査、資料整理(分析)等を行うとともに、成果物の展示会等を実施する。	・遺跡の成果を記録した調査報告書および図録等の図書の刊行 各300部刊行 ・遺跡展示会見学者 500人	・遺跡の成果を記録した調査報告書および図録等の図書の刊行 各300部刊行 ・遺跡展示会見学者 555人	◎
01 那覇市	7 9	壺屋の歴史・文化発信事業(特別展事業)	H24 ～ R3	歴史の継承を図るため、壺屋焼博物館において、沖縄の焼物の魅力を発信する特別展等を実施する。	・特別展観覧者数3,600人 ・シンポジウム等参加者120人	・特別展観覧者数 4,044人 ・シンポジウム等参加者 166人	◎
01 那覇市	7 10	なは青年祭補助事業	H29 ～ R3	地域における伝統芸能の保存継承や新たな文化活動の創出を図るため、市内の青年団体が日頃の活動の成果を披露する「なは青年祭」の開催を支援する。	・なは青年祭の出演団体 18団体 ・参加者数 260人	・なは青年祭の出演団体 25団体 ・参加者数 286人	◎
01 那覇市	7 11	文化芸術発信拠点施設整備事業(パレット)	H24 ～ H30	幅広い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動等の場を提供するため、パレット市民劇場において、施設整備と機能強化を図る。	舞台機構機能強化工事完了	－	繰

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
01 那覇市	8 1	認可外保育施設的环境整備事業	H24 ～ R3	認可外保育施設において、指導監督基準を維持継続し保育環境の向上を図るため、改修整備費の補助を行う。 また、施設の衛生環境の向上を図るため、認可外保育施設の害虫駆除を行う。	・改修実施施設 2施設 ・保育環境の衛生管理の実施 65施設	・改修実施施設 1施設 ・保育環境の衛生管理の実施 55施設	未
01 那覇市	8 2	児童クラブ賃借料補助金	H24 ～ R3	児童クラブの運営を支援することにより、子供たちが安心・安全な環境で保育を受けることができるようになることで、育児の負担感の軽減を図る。	保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じたか 80%以上	保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じたか 81.6%	◎
01 那覇市	8 3	ナノホイク案内人(ナビィ)設置事業(コンシェルジュ設置)	H25 ～ R3	市内の保育施設への入園の支援を図るため、保育施設情報総合サイトによる情報発信等を行う。	待機児童数の減少割合 10%以上	待機児童数の減少割合 31%	◎
01 那覇市	8 4	認可外保育施設・絵本読み聞かせ実施事業	H25 ～ R3	「絵本等読み聞かせ」の定着を図るため、保育従事者に「絵本等読み聞かせ」に関する研修等を行う。	保育の内容等を記載する保育計画において「絵本の読み聞かせ」を導入した割合 80%以上	保育の内容等を記載する保育計画において「絵本の読み聞かせ」を導入した割合 98%	◎
01 那覇市	8 5	ふれあいのまちづくり事業	H27 ～ R3	生活課題を抱える、障がい者や高齢者、生活困窮者等からの相談を受け、課題の解決を資するため、総合相談窓口を設置する。	相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか 80%以上	相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか 92%	◎
01 那覇市	8 6	ボランティア振興事業	H27 ～ R3	ボランティア活動を促すため、ボランティアを養成するとともに、ボランティア活動のコーディネート等を行う。	・ボランティア登録者数(新規) 82人 ・ボランティアのマッチング件数 250件	・ボランティア登録者数(新規) 71人 ・ボランティアのマッチング件数 289件	○
01 那覇市	8 7	発達障がい者サポート事業	H27 ～ R3	発達障がい者本人及びその家族への支援を行い、負担感・不安感の軽減を図る。	発達障がい者の家族・支援者へのアンケート調査により、負担感・不安感が軽減されたと感じた割合 80%以上	発達障がい者の家族・支援者へのアンケート調査により、負担感・不安感が軽減されたと感じた割合 70%	○
01 那覇市	9 1	海外移住那覇市出身者研修受入事業	H24 ～ R3	那覇市と関連が深い国や地域等を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、研修や沖縄伝統芸能・文化、歴史等を学ぶ機会を提供する。	アンケートにより、研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか 80%以上	アンケートにより、研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか 100%	◎
01 那覇市	9 2	那覇長崎平和交流事業	H25 ～ R3	平和について理解を深めるため、長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に生徒を派遣する等の事業を行う。	対象生徒及び保護者に対するアンケートにより、参加生徒の平和等に対する理解が深まったか 80%以上	対象生徒及び保護者に対するアンケートにより、参加生徒の平和等に対する理解が深まったか 100%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
01 那覇市	10	未来に羽ばたく臨港型都市再開事業	H24 ～ R3	那覇軍港返還後の土地活用を円滑に進めるための跡地利用計画の策定に向け、地権者等との合意形成を図る。	跡地利用計画に対する合意形成活動参加者が合意形成活動へ評価すると回答した者の割合 80%以上	跡地利用計画に対する合意形成活動参加者が合意形成活動へ評価すると回答した者の割合 89%	◎
01 那覇市	11 1	救命講座普及啓発推進事業	H24 ～ R3	災害時等において市民及び観光客等の安全の確保を図るため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	・応急手当講習受講者数:6,000人以上 ・救命講習会の受講者へアンケートを実施し、応急手当に自信がある、できると思うか80%以上	・応急手当講習受講者数:6,767人 ・救命講習会の受講者へアンケートを実施し、応急手当に自信がある、できると思うか93%	◎
01 那覇市	11 2	災害時応急給水体制強化事業	H28 ～ H30	災害時発生時において、本土から離れ速やかに緊急時の広域的な支援が得にくい沖縄の事情を踏まえ、応急給水体制の強化を図るため、応急給水活動に必要な機材等の導入を行う。	応急給水訓練を実施 1回以上/年	応急給水訓練を実施 1回/年	◎
01 那覇市	12 1	地下壕対策事業	H24 ～ R3	地下壕に起因する事故の危険性を軽減させるため、危険性のある地下壕の埋め戻し等の対策を行う。	・地下壕対策工事(1箇所)の完了 ・次年度以降地下壕対策予定箇所(3箇所)の実施設計完了	-	繰
01 那覇市	12 2	亜熱帯庭園都市形成推進調査(道路)	H24 ～ H30	長期未着手の都市計画道路について、住民の理解を得ながら、道路の整備計画を進めるため、予備設計等の準備を行う。	大中町内細部街路について都市計画変更(案)の策定に向けた道路予備設計の実施	大中町内細部街路について都市計画変更(案)の策定に向けた道路予備設計の実施	◎
01 那覇市	12 3	亜熱帯庭園都市形成推進調査(市街地再生)	H29 ～ H30	地元のまちづくりへの理解を高めるため、まちづくりを進めるための調査・検討を行う。	アンケート調査により、勉強会参加者のまちづくりに対する理解度 80%以上	アンケート調査により、勉強会参加者のまちづくりに対する理解度 94%	◎
01 那覇市	13 1	職場が主体的に取り組む健康づくり実践支援事業	H25 ～ H30	職場において、健康づくり活動を始めるきっかけを作り、健康意識の向上を図る。	・チャレンジ活動に参加後、健康意識の向上ができたと回答した従業員 80%以上 ・各事業所が掲げたチャレンジ目標を達成した事業所の割合 80%以上	・チャレンジ活動に参加後、健康意識の向上ができたと回答した従業員 94.6% ・各事業所が掲げたチャレンジ目標を達成した事業所の割合 100%	◎
01 那覇市	13 2	那覇市健康ウォーキング推進事業	H26 ～ R3	市民の運動習慣化を推進するため、健康ウォーキング大会やウォーキング講座等を開催する。	○健康ウォーキング大会 ・参加者 4,000人以上 ・参加者にアンケートを実施し、今後もウォーキングを継続すると回答 80%以上 ○ウォーキング講座 講座受講者へアンケートを実施し、講座終了後もウォーキングを継続すると回答 80%以上	○健康ウォーキング大会 ・参加者 4,428人 ・参加者にアンケートを実施し、今後もウォーキングを継続すると回答 92.9% ○ウォーキング講座 講座受講者へアンケートを実施し、講座終了後もウォーキングを継続すると回答 91%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
01 那覇市	13 3	生活習慣病重症化予防モデル事業	H26 ～ R2	生活習慣病の合併症・重症化を防ぐため、保健指導を実施する。	・要医療者の受療率 50% ・要医療者の翌年度健診結果改善率 70%	・要医療者の受療率 42.8% ・要医療者の翌年度健診結果改善率 74.6%	○
01 那覇市	13 4	歯とお口の健康普及啓発推進事業	H27 ～ R3	歯科疾患の予防に関する知識、習慣の普及を図るため、デンタルフェアの開催を支援する。	・来場者数 4,724人	・来場者数 2,906人	未
01 那覇市	13 5	健康長寿ゆいまーるモデル事業	H28 ～ H30	生活習慣病の予防に向けて、食生活や生活習慣の改善に係る知識の普及を図る。	生活習慣病予防に向け、食生活や生活習慣を見直すことの必要性について理解できたと回答した健康づくり市民会議参加団体数の割合 80%以上	生活習慣病予防に向け、食生活や生活習慣を見直すことの必要性について理解できたと回答した健康づくり市民会議参加団体数の割合 100%	◎
02 宜野湾市	1 ①	道路景観整備事業	H24 ～ H30	はごろも祭りやプロ野球キャンプやコンサートなど、各種イベント行事が行われるコンベンションエリア(市立球場や野外劇場、ビーチがある海浜公園や沖縄コンベンションセンター、ホテルなど)と国道58号を接続する市道を、良好な景観形成を目的として道路整備をすることで、宜野湾市の観光振興に寄与する。	道路景観整備対象路線の整備完了	-	繰
02 宜野湾市	②	はごろも祭り・カチャーシー大会運営事業	H24 ～ R3	沖縄の伝統芸能であるカチャーシーの保存継承を図るとともに、地域活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭り・カチャーシー大会」を支援し、観光誘客を図る。	①カチャーシー大会演舞者数: 個人の部:50名、団体の部:25団体 ②はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数: 150,000人	平成30年9月30日に予定していたはごろも祭り・カチャーシー大会は沖縄県知事選挙と日程が重なり、会場としていた市立体育館が開票所として使用されることから、平成30年度のはごろも祭り・カチャーシー大会は中止となった。	未
02 宜野湾市	③	企画展開催事業	H24 ～ R3	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催し、市の歴史・文化の継承及び観光誘客を図る。	企画展1本あたりの平均入館者数: 1,300人以上	1,435人/回	◎
02 宜野湾市	④	宜野湾市産業まつり支援事業	H24 ～ R3	市の特産品のPRや産業振興及び観光振興を図るため、宜野湾市産業まつりの開催を支援する。	宜野湾市産業まつり来場者数 26,000人	33,000人	◎
02 宜野湾市	⑤	文化財説明板・標識設置事業	H24 ～ R3	観光振興及び文化教育に資するため、市指定・登録文化財の所在地に標識や説明板を設置し、市民等が学べる機会を増やし、市の歴史・文化の継承を図る。	文化財標識・説明板設置件数:2件 地域文化財案内板:1件	・2件 ・1件	◎

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	⑥	琉球海炎祭支援事業	H25 ～ R3	日本で一番早い夏の大花火をキャッチフレーズにしたイベントである。日本の夏の風物詩である花火と沖縄音楽・文化の融合によるオリジナリティーに溢れた沖縄最大の一大会であり、本市の観光振興に寄与しているため、当該イベントを支援し、観光・コンベンション機能の充実を図る。	①琉球海炎祭来場客総数: 15,000人 ②①のうち県外客数: 6,000人 ③①のうち海外客数: 2,000人	①19,211人 ②5,911人 ③3,374人	○
02 宜野湾市	⑦	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティー事業	H25 ～ R3	プロ野球のキャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信することにより、キャンプ期間中の観光誘客を図る。	プロ野球キャンプ来場者数: 26,000人	25,000人	○
02 宜野湾市	⑧	トロピカルビーチ賑わい創出事業	H26 ～ R3	本市の観光資源であるトロピカルビーチでミュージックイベント等を開催することにより、市民の憩いの場や観光客の賑わいを創出し、アフターコンベンションの新たな観光スポットとして定着を図る。	イベント来場者数: 8,000人	4,800人	未
02 宜野湾市	⑨	宜野湾海浜公園施設等再編整備事業	H30 ～ R3	地域住民の福祉の向上、質の高い文化芸術公演に触れる機会の確保及び観光誘客を図るため、宜野湾海浜公園及びその周辺の整備を行う。	整備基本計画の策定	整備基本計画の策定	◎
02 宜野湾市	⑩	ベイスターズキャンプ支援事業	H30	ブルペンと内野練習場を整備し、継続して合宿を受け入れる体制を確保することで、プロ野球キャンプの実施及びスポーツ合宿の実施増加に繋げる。	ブルペン及び内野練習場の整備完了	ブルペンと内野練習場の整備完了	◎
02 宜野湾市	⑪	嘉数高台公園施設整備事業	H30 ～ R3	戦跡等もあり観光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性向上を図るため、公園施設の整備を実施する。	嘉数高台公園整備基本計画の完成	嘉数高台公園整備基本計画策定	◎
02 宜野湾市	⑫	プロ野球キャンプ野球場施設整備事業	H24 ～ R1	スコアボードの整備を実施し、継続して合宿を受け入れる体制を確保することで、プロ野球キャンプの実施及びスポーツ合宿の実施増加に繋げる。	スコアボード改修実施設計の完了	スコアボード改修実施設計の完了	◎
02 宜野湾市	2 ①	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24 ～ R3	スクールソーシャルワーカー等を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校などの問題行動の未然防止、減少に取り組む。	スクールソーシャルワーカーの支援を受けている児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率 30%	30.6%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	②	適応指導教室事業	H24 ～ R3	教育相談を実施し、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するなど、適応指導教室に通級しながら生活リズムを整え、個別学習に勉強の遅れを取り戻しつつ、児童生徒の学校復帰、適応を支援する。	適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率:20%	0%	未
02 宜野湾市	③	児童生徒等相談事業	H24 ～ R3	市内在住の18歳までの児童生徒及び保護者等の抱える教育上の問題について、相談等支援のため青少年教育相談指導員、臨床心理士を配置し、不登校等の減少を図る。	臨床心理士、青少年教育相談指導員の支援を受けた児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率 18%	20%	◎
02 宜野湾市	④	非行防止等巡回活動事業	H24 ～ R3	児童生徒の健全育成の観点から、関係機関や地域と連携して児童生徒の問題行動に対して必要な注意・助言・指導を行うため、夜間街頭指導員を配置する。	夜間街頭指導員数 前年度比 12.1%減	指導員数前年度比66.8%増	未
02 宜野湾市	⑤	学習支援員活用事業	H24 ～ R3	学習に遅れをとっている児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・小学校 国語: +2.2ポイント以上 算数: +3.0ポイント以上 ・中学校 数学: -1.5ポイント以上	県学力到達度調査 (小学校) 国語: +2.1 ポイント 算数: +2.4 ポイント (中学校) 数学: -2.9 ポイント	未
02 宜野湾市	⑥	派遣費補助金交付事業	H24 ～ R3	児童生徒の文化及びスポーツ活動を奨励し、県外の人との競争や交流の機会を増やすため、学校教育の一環としての県外派遣を支援する。	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	100%	◎
02 宜野湾市	⑦	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25 ～ R3	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成及び県外の人との交流の機会を増やすため、一定の基準を満たすスポーツ少年団等の県外派遣を支援する。	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	100%	◎
02 宜野湾市	⑧	特別支援教育支援員派遣事業	H28 ～ R3	宜野湾市立の幼小中学校における障がい児の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	83%	◎

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	3	① 文化財保存整備事業	H24 ～ R3	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行い、市の歴史・文化の継承を図る。	①小祿墓石彫香炉等の修復・複製・3D計測の実施、完了 ②野嵩クシヌカー実施設計の完了	① 小祿墓石彫香炉等の修復、複製、3D計測 ② 野嵩クシヌカーの土質調査、詳細測量、実施設計	◎
02 宜野湾市		② 歴史公文書等整理・活用事業	H24 ～ R3	歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等を整理し、今後の市民・利用者の資料要求に迅速に対応することを目的に、公文書等の保存及びデータベースへの登録を行い、公開基準を基に順次公開を行うことで、市民等の市の歴史・文化等への理解を深める。	アンケートを実施し、市の歴史や文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	100%	◎
02 宜野湾市	4	① 平和市民啓発事業	H24 ～ R3	全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、8/9に長崎で開催される「平和祈念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内生徒8名を派遣するとともに、平和祈念事業を実施し、若い世代や市民の平和についての理解を深める。	平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、生徒や市民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する	91%	◎
02 宜野湾市		② 小学校英語教育課程特例校事業	H24 ～ R3	外国人英語指導助手(ALT)及び日本人英語教師(JTE)を小学校に派遣し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	①小学1～4年生 英語による質問4項目に対する平均正答率81%以上 ②小学5～6年生 小学校児童英語検定において、全国と本市との平均正答率の差 +1.6ポイント以上	① 小学1～4年 平均正答率86.5% ② 小学5,6年 全国と本市との平均正答率の差+1.3ポイント	○
02 宜野湾市		③ 外国人教師招致事業	H24 ～ R3	外国人英語指導助手(ALT)を中学校に派遣し、生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・中学校 英語: +1ポイント以上	1.4ポイント	◎
02 宜野湾市		④ 学校ICT活用指導支援事業	H24 ～ R3	ICT活用支援員を派遣し、教員がICT(教育用PC、電子黒板及びプロジェクター、デジタル教材など)を授業で活用できるよう支援を行い、わかりやすい事業を実施することによる学校教育の質の確保を図る。	・ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 ・ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか(80%以上)を含め、教員へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	・小学校:87% 中学校:85% ・小学校:89% 中学校:89%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	5	① 市民防災事業	H27 ～ R3	宜野湾市地域防災計画に基づき食糧及び飲料水の備蓄や自主防災組織の強化、観光客等向けの津波避難誘導表示板の設置を行い、適切な被災者支援を図る。	①保存食及び保存水の備蓄 ・H30年度備蓄食糧 備蓄率75% ・H30年度保存水 備蓄率19% ②自主防災組織への資機材整備完了(2団体) ③津波避難誘導表示板実施設計完了 ④津波避難誘導表示板設置完了	①食料75% 保存水0.06% ②2団体 ③実施設計完了 ④表示板設置完了	○
02 宜野湾市		② 防災情報システム整備事業	H29 ～ R3	大規模災害時において、避難所間の情報収集、共有を的確に行い、適切な被災者支援を図るため、高速無線LANネットワークの構築や沿岸監視カメラの設置等、総合的な防災情報システムの整備を行う。	防災情報システム実施設計の完了	実施設計策定完了	◎
02 宜野湾市	6	① 普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ～ R3	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	調査内容報告書の作成	平成30年度関係地権者等の意向醸成・活動推進調査報告書作成	◎
02 宜野湾市		② 普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同調査)	H24 ～ R3	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	跡地利用計画(素案)に反映させる配置方針図の更新の検討	平成30年度普天間飛行場跡地利用計画策定調査報告書作成	◎
02 宜野湾市	7	被覆資材等導入推進補助事業	H27 ～ R3	防風対策施設の設置及び被覆資材等導入にかかる経費に対する支援を行い、農家の生産量の増加を図る。	被覆資材等導入面積:26,500㎡	49,255㎡	◎
02 宜野湾市	8	多様な働き方就労支援事業	H28 ～ R3	子育てや介護など家庭の事情等で従来の働き方では就労が難しい方を対象として、研修によるスキル習得及び職場実習でのマッチングを図り、就労機会の創出を目指す。	・支援者のうち新規就労に繋がった人数20名以上 ・支援者のうち新規就労に繋がった割合39%以上	・23名 ・52%	◎
02 宜野湾市	9	宜野湾市ひとり親家庭生活支援事業	H28 ～ R2	支援が必要なひとり親世帯の中でも自立に向けた意欲のある世帯に対し、住宅支援や就労支援等、自立に向けた支援を行う。	支援対象者のうち自立につながった割合80%以上	88.89%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	10	宜野湾市情報通信産業振興施設計画策定事業	H30	平成29年度実施「宜野湾市情報通信産業振興施設PFI基本構想・事業手法検討調査業務」の結果をふまえ、施設の基本計画の検討及び民間活用型事業としての事業推進のための準備を行う。	基本計画策定完了	基本計画策定完了	◎
02 宜野湾市	11	宜野湾市都市構造基礎調査事業	H30	沖縄の抱える様々な特殊事情(軍用地接收)により、本市の都市構造は市街化が歪んだ形で進展し、不健全な都市構造にならざるを得なかった。普天間飛行場など返還跡地も含めた本市全体の土地利用の基本方針、交通施設、公園緑地の配置方針や市街地の整備方針、自然環境の保全等を定めるための基礎調査を行う。	基礎調査の完了	完了	◎
02 宜野湾市	12	地域キャリア教育支援事業	H30 ～ R3	地域の企業、学校、保護者等が連携した「未来を広げようグッツジョブ体験inぎのわん連絡協議会」を開催し、子どもたちが抱える課題の共有、解決策の検討をし、小学生から高等教育機関在学生在を対象にした職業体験イベント等を実施することで、児童生徒の就業意識の向上を図る。	就業意識の肯定的変化(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方について検証を行う。	小学校:88.2% 中学校:70.5%	△
02 宜野湾市	13	宜野湾ベイサイド情報センター整備事業	H30 ～ R2	本市の創業支援事業計画にも情報通信産業事業者のワンストップ相談窓口として位置付けられている宜野湾ベイサイド情報センターにて、引き続き創業支援や企業立地促進を図ることにより、情報通信産業を発展させるために施設の基盤を整備する。	空調機工事実施設計の完了	完了	◎
02 宜野湾市	14	市民会館機能強化事業	H30 ～ R2	建設から35年が経過し施設の老朽化が進んでいる現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図り、市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化活動を行う場の確保を図るため、宜野湾市民会館の整備を実施する。	・大ホール等天井落下防止設計の完了 ・舞台照明装置機能強化工事の完了 ・客席ダウンライトLED化設計の完了	・完了 ・完了 ・完了	◎
02 宜野湾市	15	宜野湾市産業振興計画策定事業	H30	平成26年度から平成30年度までの宜野湾市産業振興計画の効果等をふまえ、更なる産業振興を図るため、次の5年間の新たな産業振興計画を策定する。	産業振興計画の策定完了	完了	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	16	宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	H24 ～ R3	本市の面積の約3割を占める広大な米軍基地は、住みよいまちづくりをする上で最大の阻害要因となってきた。土地を住民から強制接収した経緯から土地の約9割以上が民有地となっており、公共用地が極端に少ない状況であり、駐留軍用地の返還後の跡地利用推進を図るため、宜野湾市特定駐留軍用地内土地取得事業基金を設置し、早急に公共用地を確保する。	特定事業の用に供する土地取得目標 18,000㎡(達成率約60.0%)  ※達成率:先行取得目標面積(115,000㎡)に対する累積取得面積の割合	達成率:51%	○
03 石垣市	1 ①	観光誘客プロモーション事業	H24 ～ R3	年間を通じた観光誘客を図るため、国際定期便の安定や冬季における誘客促進のためのプロモーションをおこない、観光入域客の年間平準化に取り組むほか、メディア媒体と連携して全国へ向けた観光情報の発信をおこなう。	○イベントブースへの平均来場者数:1,700人 ○映画撮影ロケ地誘致件数:1件 ○視聴可能ネットワーク数:95局 ○アンケートにおける来島希望者の割合80%以上 ○応援ツアー来島人数86名以上	○イベントブースへの平均来場者数:600人 ○映画撮影ロケ地誘致件数:1件 ○視聴可能ネットワーク数:89局 ○アンケートにおける来島希望者の割合100% ○応援ツアー来島人数86名	○
03 石垣市	1 ②	スポーツ!ウェルカム!石垣島!事業	H24 ～ R3	スポーツツーリズムを推進し離島振興につなげるため、プロスポーツキャンプや体育系教育機関の合宿等の誘致活動を行う。また、選手等の快適な環境づくりや歓迎装飾、キャンプとタイアップしたイベント等により受入環境を整備する。	○プロスポーツキャンプ及び大学等のスポーツクラブのキャンプ新規、継続誘致合わせて5団体以上 ○プロ野球キャンプ期間中を通して来場した観客数25,000人	○プロスポーツキャンプ及び大学等のスポーツクラブのキャンプ新規、継続誘致合わせて8団体 ○プロ野球キャンプ期間中を通して来場した観客数17,750人	○
03 石垣市	1 ③	観光地受入基盤強化事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、観光コンテンツとしての星空資源広報の実施、南の島の星まつりなど着地型イベントへの補助、クルーズ船の受入業務をおこなうほか、観光の現状や課題を共有するためのプラットフォーム会議や文化観光コンテンツ創出に向けてのシンポジウムを開催する。	○星空学びの部屋の来場者数:4,300人 ○南の島の星まつりの来場者数:9,000人 ○クルーズ船寄港回数:117件以上	○星空学びの部屋の来場者数:4,503人 ○南の島の星まつりの来場者数:1,800人 ○クルーズ船寄港回数:107件	○
03 石垣市	1 ④	南ぬ島空港観光案内所運営事業	H25 ～ R3	空港利用者の利便性の確保を図るため、空港ターミナルビル内に観光案内所を設置し、国内外からの旅行者を対象とした観光案内サービスを実施する。	利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証	利便性が確保されたかについて肯定的な回答 99%	◎
03 石垣市	1 ⑤	石垣市内文化財環境整備事業	H27 ～ R3	市内にある重要文化財等を保全し、観光資源としても活用するため、指定文化財等の周辺環境を整備するとともに文化講座を開催し、本市の歴史や文化の魅力を発信する。	○指定文化財(庭園)内の植生回復と環境維持対応の完了 ○減災を目的とした適正な文化財の管理の完了	○指定文化財(庭園)内の植生回復と環境維持対応 未完了 ○減災を目的とした適正な文化財の管理完了	△

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
03 石垣市	1 ⑥	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	H24 ～ R3	歴史の継承および観光資源として活用し、誘客を図ることを目的として、虫食いや退色等により状態の良くない古文書・絵画等を修復し展示等を行うとともに、修復した資料のデジタル化を行い、調査・研究等に活用する。	平成30年度の入館者数9,500人以上	平成30年度の入館者数10,052人	◎
03 石垣市	1 ⑦	石垣市民会館設備機能強化事業	H25 ～ R3	市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会の確保を図るため、石垣市民会館大ホール舞台機構の機能強化を行う。	石垣市民会館の大ホール舞台機構の機能強化の完了	石垣市民会館の大ホール舞台機構の機能強化 完了	◎
03 石垣市	1 ⑧	大浜地区歴史遺産活用事業	H25 ～ R1	市民が学べる機会を確保すると共に観光資源としての活用を図るため、歴史広場の整備を行う。	トイレ、東屋の建築完了	－	繰
03 石垣市	2 ①	旧空港跡地環境影響評価事業	H24 ～ R3	旧石垣空港跡地の有効利用に向けた土地区画整理事業の都市計画決定、事業認可、事業実施を図るため、都市計画決定の要件である沖縄県環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施する。	方法書に基づく現況調査完了	－	繰
03 石垣市	2 ②	新港地区国際クルーズ船寄航誘致支援事業	H24 ～ R2	寄港する観光客の利便性の確保を図るため、トイレの整備等を行う。	○トイレ建築工事の完了 ○屋根付き歩道の一部整備完了 ○エプロンルーフの整備完了	－	繰
03 石垣市	2 ③	亜熱帯都市公園整備促進事業	H25 ～ R3	市民や観光客等の利便性の確保を図るため、石垣市特有の街区公園の整備を行う。	○あんぐん公園の整備工事の完了 ○あんぐん公園の便益・管理・休養施設の設計業務の完了	－	繰
03 石垣市	2 ④	平久保半島エコロード整備事業	H25 ～ H30	平久保半島の自然をスポーツツーリズムの資源として活用するため、平久保半島エコロードの整備に必要な道路整備工事を行う。	道路整備工事の完了	道路整備工事 完了	◎
03 石垣市	3 ①	石垣市資源循環アイランド推進事業	H25 ～ H30	離島である本市が掲げる『環境と共生したエコアイランド』を実現し循環型社会の形成を図るため、生ごみ等を原料にしたメタン発酵プラントの導入に向けた検討及び実証を行う。	堆肥化設備の導入に向けた報告書の作成完了	堆肥化設備の導入に向けた報告書の作成完了	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
03 石垣市	4 ①	社会復帰支援実証事業	H27 ～ H30	失業や傷病等で長期間常用就職の機会から離れている生活困窮者が、一般企業での常用就職を果たし生活困窮から脱却することを目的として、就労機会の提供及び職業訓練、就職活動の支援を行う。	支援対象者の66%以上が就職	支援対象者の100%が就職	◎
03 石垣市	4 ②	南の島移住・定住支援プロジェクト事業	H28 ～ R3	石垣市の人口の社会減を防止するため、移住プロジェクトや、移住体験ツアー等を実施する。	人口の社会減60人以下	人口の社会増80人	◎
03 石垣市	4 ③	離島保育士確保総合対策事業	H28 ～ H30	待機児童解消に必要な保育士の増加を図るため、保育所等が実施する取り組みについて支援を行う。	本事業により増加した保育士による受入可能園児数:158人増	本事業により増加した保育士による受入可能園児数:118人増	○
03 石垣市	4 ④	ひとり親家庭生活支援モデル事業	H30 ～ R3	ひとり親家庭世帯の自立を図るため、自立に向けた具体的な目標及び意欲のある世帯に対し、民間アパートを活用した住宅支援や就労支援、子育て支援等の生活全般にわたる支援を原則1年間行う。	1年間の支援を受け自立した世帯数:2世帯以上	1年間の支援を受け自立した世帯数:1世帯	未
03 石垣市	4 ⑤	ものづくり、マーケティング総合支援事業	H27 ～ H30	島の特産品の開発促進及び普及並びに伝統的工芸の保護及び振興を図るため、海外販売量の増、製造業の自立化促進、伝統技術の継承等、商工業への支援を行う。	○特産品の海外販売目標:1,900Kg ○石垣島産パインアップル加工品等の生産高:5,000Kg ○八重山上布の研修終了者:17人 ○石垣島粘土の使用窯業者数:17事業者	○特産品の海外販売目標:255Kg ○石垣島産パインアップル加工品等の生産高:9,487Kg ○八重山上布の研修終了者:5人 ○石垣島粘土の使用窯業者数:9事業者	△
03 石垣市	4 ⑥	石垣市就業支援事業	H30 ～ R3	児童生徒の島内での就業意識向上を図るため、市内の事業所等でのジョブシャドウイングを実施する。	島内の就業に対する意欲が向上したか(80%以上)を含め、事業のあり方についてアンケート調査により検証	島内の就業に対する意欲が向上したかについて肯定的な回答 78%	○
03 石垣市	5 ①	”石垣産の牛”生産推進事業	H24 ～ R3	本市のブランド牛である「石垣の牛」の出荷頭数の増加、伝染病等の防止及び、肉用牛の販売額の向上を図るため、離島観光地である本市として、空港等での家畜伝染病防止等に取り組むほか、優良母牛導入など各種支援を実施する。	○平均出荷頭数:543頭/月 ○伝染病等にかかった頭数:0頭 ○石垣牛平均販売額:1,400千円以上	○平均出荷頭数:537頭/月 ○伝染病等にかかった頭数:0頭 ○石垣牛平均販売額:1,216千円	○

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
03 石垣市	5 ②	農水産物プロモーション事業	H27 ～ H30	石垣島農産物の認知度向上のため、石垣島農水産物プロモーション並びに情報発信拠点施設(アンテナショップ)の運営を行う。	情報発信拠点施設への来場者数:5,000人	情報発信拠点施設への来場者数:1,207人	未
03 石垣市	5 ③	生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25 ～ R3	本市の地理的不利性を解消し、生鮮水産物の島外出荷量を増加させるため、空路輸送費が陸路輸送費並みとなるよう支援を行う。	生鮮水産物出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:28%	生鮮水産物出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:26.2%	○
03 石垣市	5 ④	水産振興事業	H24 ～ R3	沖縄ミーバイの生産量の増加を促進するため、沖縄ミーバイ種苗を沖縄本島の本部にある栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。	沖縄ミーバイ生産量:38.5t	沖縄ミーバイ生産量:11.3t	未
03 石垣市	5 ⑤	石垣島産マグロ類販売力強化事業	H30 ～ R2	島内漁業の振興を図るため、石垣島産マグロの商品価値の強化に向けた、情報発信、試食会及び販売促進活動を行う。	石垣島産マグロの情報発信強化業務完了	石垣島産マグロの情報発信強化業務完了	◎
03 石垣市	6 ①	防災体制整備事業	H24 ～ R3	災害時の市民や観光客等の安全を確保するため、災害時の情報提供手段の確保や住民の避難、災害応急対応等の諸活動の円滑化を推進する仕組みを整備する。	石垣市防災情報システム多様化整備実施設計の完了	石垣市防災情報システム多様化整備実施設計 完了	◎
03 石垣市	6 ②	福祉避難所兼ふれあい交流施設整備事業	H24 ～ H30	災害時において高齢者や障がい者等の要援護者(観光客含む)が、安全に安心して避難生活を送ることができる福祉避難所を確保する。 平時においては、要援護者と関係団体や地域住民の交流を図ることにより、災害時の相互支援に寄与する。	福祉避難所兼ふれあい交流施設の建築工事完了	-	繰
03 石垣市	6 ③	消防救助資器材等整備事業	H30 ～ R1	多くの人々が利用するコンビニエンスストア18店舗にAEDを配備し、突然の急病や事故、災害時に現場に居合わせた人が救命処置を行うことで市民や観光客の安全を確保するための救命体制を整備する。	AEDの配備完了	AEDの配備完了	◎
03 石垣市	7 ①	児童・生徒派遣費助成事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、市外・県外で開催される大会等及び選抜選手による合同練習に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。	申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合80%以上	申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合100%	◎

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
03 石垣市	7 ②	平和推進事業	H24 ～ R3	児童生徒を含め市民が平和の大切さに対する理解を深めるため、平和フォーラム等を開催するとともに、児童生徒を対象として平和を考える作文及び絵画を募集し、上位入賞者を広島・長崎へ平和大使として派遣する。	○平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業の在り方について検証する ○平和フォーラム等への参加者700名	○平和に対する理解が深まったかについての肯定的な回答 90% ○平和フォーラム等への参加者700名	◎
03 石垣市	7 ③	石垣市発達支援システム事業	H28 ～ R3	発達の気になる子の早期発見・早期支援に取り組むため、乳幼児期を中心とした発達相談等を臨床心理士が実施し、乳幼児期から就労までのそれぞれのライフステージに応じた発達支援を行う。	幼児健診において発達要フォロー児と判断された幼児について、保護者が発達相談を受ける割合80%以上	幼児健診において発達要フォロー児と判断された幼児について、保護者が発達相談を受ける割合98%	◎
03 石垣市	7 ④	気になる子のすこやかな学び支援事業	H25 ～ R3	子育ての孤立化や心身の発達に配慮が必要な幼児児童生徒を抱える保護者の不安軽減を図るため、臨床心理士、子育て相談員を雇用し、必要に応じて各保育所・幼稚園や学校、関係機関に派遣し、教育相談や子育て相談等を行う。	臨床心理士等への相談により育児・発達等に対する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業の在り方について検証	臨床心理士等への相談により育児・発達等に対する不安が軽減されたかについての肯定的な回答 100%	◎
03 石垣市	7 ⑤	「学ぶ意欲・わかる授業」を推進する事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、学校教育支援員及び外国語学習支援員を配置するとともに、学力先進地域より講師を招聘し教員を対象とした研修会を開催する。	○沖縄県到達度調査の全体平均正答率:小学校60%以上、中学校50%以上 ○英語が楽しいという回答をした児童生徒の割合:80%以上	○沖縄県到達度調査の全体平均正答率:小学校59%、中学校45% ○英語が楽しいという回答をした児童生徒の割合:87%	○
03 石垣市	7 ⑥	石垣市学びの基礎力育成支援事業	H28 ～ H30	保育園児及び幼稚園児の小学校への円滑な移行を図るため、指定市立幼稚園に学びの基礎力育成支援アドバイザーを配置し、市内保育所や幼稚園へ巡回訪問を実施するとともに、石垣市学びの基礎力育成支援事業推進協議会等を開催し、保幼小連携体制を強化する。	小学校に進級した幼稚園児及び保育園児が不登校になる人数:1人以下	小学校に進級した幼稚園児及び保育園児が不登校になる人数:1人	◎
03 石垣市	7 ⑦	情報教育充実事業	H24 ～ R3	ICT機器を使用した分かりやすい授業を実施するため、学校ICT支援員を配置するとともに、ICT機器やデジタル教材の整備、情報教育セキュリティサーバーの導入並びに教職員への研修会等を実施する。	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたかについての肯定的な回答 88.5%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
03 石垣市	7 ⑧	専門人材育成事業	H28 ～ R3	外国語対応が可能な観光従事者を増やすため、外国語講座を実施する。また、本市の教育を担う人材の育成を図るため、教員採用試験対策講座を実施する。	○外国語講座(英中韓)を受講する市民:100名以上 ○小学校教員採用試験合格者数:10人以上 ○中学校教員採用試験合格者数:4人以上	○外国語講座(英中韓)を受講する市民:67名 ○小学校教員採用試験合格者数:8人 ○中学校教員採用試験合格者数:7人	○
03 石垣市	7 ⑨	子ども若者総合相談センター地域協議会運営事業	H26 ～ R3	本市の将来を担う子どもや若者の取り巻く環境や複雑多岐にわたり抱える問題を把握し、社会的自立を図るため、総合相談窓口を開設しワンストップ相談対応を行うとともに、関係する支援機関と連携し、包括的、継続的な相談並びに支援等の体制を構築する。	相談件数に占めるリファ(適切な機関につなげた)割合 80%以上	相談件数に占めるリファ(適切な機関につなげた)割合 52%	未
03 石垣市	7 ⑩	ユースアドバイザー事業	H24 ～ R3	不登校、ひきこもり等の児童・生徒及び社会生活を営む上で困難を有する若者の自立支援のため、ユースアドバイザーを配置し支援体制を整備する。	児童生徒の学校復帰及び若者の就学・就労7名以上	児童生徒の学校復帰及び若者の就学・就労3名	未
03 石垣市	7 ⑪	石垣市小中学生交流事業	H28 ～ R3	異文化に触れることで児童生徒の視野を広げるため、台湾蘇澳鎮児童生徒との相互交流及び国内都市からの生徒受入交流を行う。	異文化に触れることで交流した児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、派遣した生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証	異文化に触れることで交流した児童の視野が広がったかについての肯定的な回答 100%	◎
03 石垣市	7 ⑫	姉妹都市カウアイ郡中学生派遣事業	H27 ～ R3	国際交流を通して児童生徒の視野を広げるため、姉妹都市ハワイ州カウアイ郡へ市内の中学生を派遣する。	国際交流を通して生徒の国際的な視野が広がったか(80%以上)を含め、派遣した生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証	国際交流を通して生徒の国際的な視野が広がったかについての肯定的な回答 100%	◎
03 石垣市	7 ⑬	いきいきスポーツ活動助成事業	H26 ～ H30	児童生徒の視野を広げるため、トップアスリートとしての経験を有する優れた指導者による「スポーツ教室」及び県外市町村の青少年との「スポーツ交流」を実施する。	○スポーツ教室を通して生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、参加者へのアンケートにより本事業のあり方を検証	○スポーツ教室を通して生徒の視野が広がったかについての肯定的な回答 82%	◎
03 石垣市	7 ⑭	不登校対策等支援員配置モデル事業	H30 ～ R3	児童生徒の不登校の改善を図るため、スクールライフサポーターを学校に配置するとともに、学校と連携し、居場所づくりなど必要な支援策を講ずる。	スクールサポーターを配置したモデル校の不登校率:小学生0.81%以下、中学生4.81%以下	スクールサポーターを配置したモデル校の不登校率:小学生2.10%、中学生6.70%	未
03 石垣市	8 ①	新石垣空港国際線旅客施設強化事業	H27 ～ R1	外国人観光客の受入体制強化のため、新石垣空港国際線旅客ターミナルを中型機対応施設として拡張整備を行い、国際線旅客数の増加を図る。	平成30年6～7月より工事開始 平成30年度末出来高 30%	遂行困難	-

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
04 浦添市	1	① 浦添市来々来推進事業	H24 ～ R3	市既存の観光資源の活用及び新たな観光資源を創出に向けた各種施策の実施につなげるため、課題抽出及び取組施策に向けた調査を実施する。	①屋富祖・オリオン通り周辺地区 まちづくり基本計画の実現に向けた施策(案)作成  ②港川道路シンカー周辺地区 まちづくり基本構想 策定	①屋富祖・オリオン通り周辺地区 まちづくり基本計画の実現に向けた施策(案)未作成  ②港川道路シンカー周辺地区 まちづくり基本構想 未策定	未
04 浦添市		② てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゃん浪漫ウォーク」事業	H24 ～ R3	本市の歴史・文化及び地域特性を活かした観光誘客を推進し、ウォーキングを通して健康意識の向上を図るため「てだこウォーク」を開催する。	・てだこウォーク参加人数 9,900人以上	・てだこウォーク参加人数 7,619人	○
04 浦添市		③ ありんくりんクリーン事業	H24 ～ R3	本市に所在する史跡や地域の文化財を観光資源として活用するために、環境整備を実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、見学者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたかについて肯定的な回答 84%	◎
04 浦添市		④ 歴史・文化ガイダンス強化事業	H25 ～ R3	国指定史跡の浦添城跡や市内文化財を観光資源として活用するため、市内の歴史・文化ガイダンス施設(浦添グスク・ようどれ館など)において、ガイド配置による受入体制の充実を図る。	ガイダンス施設入館者数:12,800名以上	ガイダンス施設入館者数:18,349人	◎
04 浦添市	2	① てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	H24 ～ R3	観光地としての魅力向上や地域住民等が地元の歴史や文化に対する興味を深めるため、景観計画の改訂に向けた検討やまちなみ景観を修景するための支援などを実施し、「沖縄らしい美しいまちなみ景観」の創出・保全・再生を図る。	①景観計画委託業務の完了  ②地域の歴史や文化に対する興味がわいたか(80%以上)を含め、対象児童に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。  ③補助(工事)完了  ④地域の歴史や文化に対する興味がわいたか(80%以上)を含め、参加者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	①景観計画委託業務 完了  ②地域の歴史や文化に対する興味がわいたかについて肯定的な回答 99%  ③補助(工事)完了  ④地域の歴史や文化に対する興味がわいたかについて肯定的な回答 93%	◎
04 浦添市		② 地域資源復元推進事業	H24 ～ R3	沖縄の歴史的景観を再生し、沖縄らしい風景づくりを推進し歴史・文化の継承を図るため、地域に所在する文化・観光資源である市指定文化財等や中頭方西海道等の歴史の道のルートの環境整備や民俗文化財の説明板の設置を行う。	・文化財説明板製作取付完了  ・中頭方西海道石畳敷設工事完了	・文化財説明板製作取付完了  ・中頭方西海道石畳敷設工事完了	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
04 浦添市	③	浦添グスクの城下まちにふさわしい道路美装化事業	H24 ～ R1	浦添グスクの麓に位置する仲間地区において、城下まちにふさわしい魅力的な観光地としての景観形成(道路景観の創出)を図るため、コーラル舗装をイメージしたカラーアスファルト舗装を施す。	全体計画 7,280㎡ 平成29年度末時点 6,871㎡整備済 平成30年度末時点 7,081㎡整備済予定	全体計画 7,112m2	◎
04 浦添市	④	カーミージー地区海浜公園整備事業	H28 ～ R3	良好なサンゴ礁群と砂浜が残るカーミージー地区周辺に、市民の自然環境保全への理解を深めるための体験学習・環境教育や、観光誘客のためのエコツーリズムの拠点となる施設及び公園を整備するため、過年度において策定した計画を基に、施設配置や施設の形状、植栽等について概略の設計を行う。	・基本設計を策定 対象施設 ○体験学習施設 ○公園	・基本設計を策定 対象施設 ○体験学習施設 ○公園	◎
04 浦添市	3	悠々ロマン漆とアートに出会うまち浦添推進事業	H24 ～ R3	琉球漆器の歴史や文化を紹介する市美術館において、常設展や企画展、講座等を行い、市民への文化の継承と観光振興を図る。	漆芸の企画展及び常設展の観覧者数：3,600人以上	漆芸の企画展及び常設展の観覧者数：5,306人	◎
04 浦添市	4 ①	島桑オジー&オーバーで観光・産業・街おこしプロジェクト	H24 ～ R3	定年後の地域における高齢者の労働力と沖縄在来の桑品種である「シマグワ」を活用した産業振興により、桑関連商品の販売額の増加を図る。	桑関連商品販売額：17,600千円以上	桑関連商品販売額：18,269千円	◎
04 浦添市	②	浦添市農業フェスタ支援事業	H24 ～ R3	県内農作物・特産品、浦添特産品である島桑を原料にした桑関連商品を市内、市外からの来場者等に周知し、売上増加に繋げ地域活性化を図るため、それらを行う農協まつりを支援する。	農協まつり来場者数：3,200人以上	農協まつり来場者数：4,104人	◎
04 浦添市	③	浦添前田駅周辺地区賑わい創出事業	H29 ～ R2	モノレールの延長整備に伴い、本市に整備される浦添前田駅周辺地域において、観光誘客並びに観光客と地域住民間及び地域住民相互の交流機会の増加を図るため、観光交流拠点施設等の整備を行う。 今年度は広場部分の基本設計を実施するとともに、交流拠点施設に係る官民連携の可能性を検討するため、PPP事業化検討調査を実施する。	・PPP事業化検討調査の完了 ・広場部分の基本設計の完了	・PPP事業化検討調査 完了 ・広場部分の基本設計 完了	◎
04 浦添市	④	浦添観光振興事業	H29 ～ R3	浦添市の魅力を国内外へ発信し、観光客誘客を図るため、観光ポータルサイトの活用やプロ野球キャンプ事業の実施、そして観光コンテンツの作成やMICE商品開発を行う。	1 浦添観光振興業務 (1)ポータルサイト訪問者数 656,000以上 (2)教育旅行新規誘致件数 5件以上 (3)プロ野球春季キャンプファン誘客 30,000人以上	1 浦添観光振興業務 (1)ポータルサイト訪問者数 654,111人 (2)教育旅行新規誘致件数 14件 (3)プロ野球春季キャンプファン誘客 42,832人	○

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
04 浦添市	5	創業者定着支援事業	H28 ～ H30	市内における創業者数の増加及び安定的な継続創業を図るため、創業・ビジネス情報を発信するとともに、創業・ビジネスコンテストで選定した事業者に対し、専門家によるハンズオン支援、セミナー開催等による創業者等を支援する。	・対象者へのハンズオン支援の実施 ・ビジネスコンテストの開催1回 ・ステップアップセミナーの開催6回 ・支援ネットワークの構築	・対象者へのハンズオン支援 実施済 ・ビジネスコンテストの開催1回 ・ステップアップセミナーの開催6回 ・支援ネットワーク 構築済	○
04 浦添市	6	① 那覇港総合物流センター整備事業	H25 ～ H30	本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、従来型物流の高度化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際物流拠点の形成を図るため、那覇港総合物流センターの物流棟本体及び電気工事、機械工事、地盤改良工事を行う。	那覇港総合物流センターの整備の完了	那覇港総合物流センターの整備 完了	◎
04 浦添市		② 万国津梁のロマンあふれる交流のみなとまちづくり事業	H29 ～ R3	那覇港におけるクルーズ船の寄港増加を図るため、地域一体となったクルーズ船の歓迎セレモニー等を実施する。	クルーズ船の寄港回数 307回以上	クルーズ船の寄港回数 259回	○
04 浦添市	7	未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24 ～ R3	市内在住又は市内小中学校在籍の児童生徒がスポーツ・文化活動の全国大会において、県外生徒との競争や交流機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、全国大会(ブロック大会含む。)に参加する児童生徒(大会登録選手に限る)を対象として、大会開催地までの渡航に必要な費用の一部を支援する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったかについての肯定的な回答 97%	◎
04 浦添市	8	① エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業	H24 ～ R3	将来の浦添市、エコアイランド沖縄を支えていく児童の豊かな社会性を育むため、市内全11小学校の5年生全員を対象に、農漁村部での2泊3日の自然体験活動を行う。	①事業のねらいに沿った5つの質問項目(児童対象)における事業実施後(事業実施後1ヶ月以内)調査において、肯定的な回答児童(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。 ②自然体験活動を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したか(80%以上)を含め、保護者アンケートにより本事業のあり方を検証する。	①事業のねらいに沿った5つの質問項目(児童対象)における事業実施後(事業実施後1ヶ月以内)調査において、肯定的な回答 82.9% ②自然体験活動を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したかについての肯定的な回答 78%	○
04 浦添市	②	学力等底上げ推進支援事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導による学力の底上げを図るため、各小中学校へ学校教育支援員や日本語教育支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を以下のとおりとする ・小学校:算数 ±0ポイント以上 ・中学校:数学 ±0ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を以下のとおりとする ・小学校:算数 -0.35ポイント ・中学校:数学 -1.85ポイント	未

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
04 浦添市	③	課題を抱える児童生徒支援事業	H26 ～ R3	不登校児童生徒や課題を抱えた児童生徒を支援するため、不登校児童生徒の居場所づくり、各小中学校への支援員の配置や市内巡回員の配置を行い、登校復帰や不登校未然防止、社会的自立を図る。	不登校児童生徒復帰率 小学校:22%以上 中学校:39%以上	不登校児童生徒復帰率 小学校:44.4%(速報値) 中学校:46.9%(速報値)	◎
04 浦添市	④	適応教室適応指導員配置事業	H26 ～ R3	不登校児童生徒の学校復帰を支援するため、個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談などの支援活動を行う指導員を適応指導教室に配置する。	支援登校率47.6%以上 【支援登校率=支援登校日数/総支援日数】	支援登校率55.5% 【支援登校率=支援登校日数/総支援日数】	◎
04 浦添市	⑤	ICTを活用したわかる授業構築を支援するためのIT指導員派遣事業	H26 ～ R3	教員のICT機器の習熟による「わかる授業」の構築(情報活用能力の向上)を図るため、教育用PC、電子黒板及び実物投影機、情報端末などのICT機器を活用した授業を支援するためのIT指導員を学校に派遣する。	①教員にアンケートを実施し、「IT指導員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)」と答えた割合:80%以上 ②児童生徒にアンケートを実施し、「ICT機器を活用した授業が分かりやすかった」と答えた割合:80%以上 ※アンケート結果から本事業のあり方を検証する。	①教員にアンケートを実施し、「IT指導員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)」と答えた割合:74.7% ②児童生徒にアンケートを実施し、「ICT機器を活用した授業が分かりやすかった」と答えた割合:92%	○
04 浦添市	⑥	こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	H27 ～ R3	小中学校にICT機器を整備するとともにICT支援員を配置することにより、教員のICT機器の習熟向上及び学校教育の質の確保を図る。	①教員へのアンケートを実施し、「ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)」と答えた割合:80%以上 ②児童生徒にアンケートを実施し、「ICT機器を活用した授業が分かりやすかった」と答えた割合:80%以上 ※アンケート結果から本事業のあり方を検証する。	①教員へのアンケートを実施し、「ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)」と答えた割合:72.7% ②児童生徒にアンケートを実施し、「ICT機器を活用した授業が分かりやすかった」と答えた割合:95%	○
04 浦添市	9	浦添市南米移住者子弟研修生受入事業	H25 ～ R3	子弟研修生の属する国と本市を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、戦前戦後を通して南米へ移住した浦添出身者の子弟を招聘し、日本語研修、文化研修及び地域交流を通じて相互の文化と歴史への理解を促進する。	事業全体を通して受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	事業全体を通して受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったかについて肯定的な回答 97%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
04 浦添市	10	浦添市学童っ子応援プロジェクト	H24 ～ R3	児童の放課後の居場所を確保し、保護者の子育てへの負担感の軽減を図るため、民間施設を使用している放課後児童クラブへ家賃補助を行い運営を支援する。	安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証。	安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたかについて肯定的な回答 99.46%	◎
04 浦添市	11 ①	浦添市中学生平和交流事業	H25 ～ R3	生徒が交流や研修を通して平和について理解を深めることを目的に、事前研修・本研修・事後研修で構成する平和学習交流事業を行う。また、本研修終了後に「浦添市ピースメッセンジャー」として認定し、市民に向けた活動報告により平和の啓蒙を行う。	参加生徒やそのピースメッセンジャー活動を通じての平和等に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	参加生徒やそのピースメッセンジャー活動を通じての平和等に対する理解が深まったかについて肯定的な回答 93.9%	◎
04 浦添市	②	里道及び水路の境界確定復元事業	H24 ～ R3	戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、今後の道路整備や緊急時避難路の確保につなげるため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。	登記済延長率:69% (H30実施分:11%)	登記済延長率:69%	◎
04 浦添市	③	牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業	H24 ～ R3	地主会若手組織等の跡地利用についての各種取り組み(勉強会やまちづくりニュースの発行等)を支援することにより、当該組織の跡地利用に向けた活動体制づくりと連携強化を図り、跡地利用の円滑な推進を図る。	勉強会への参加者に対して、跡地利用について理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	勉強会への参加者に対して、跡地利用について理解が深まったかについて肯定的な回答 83%	◎
04 浦添市	④	牧港補給地区返還跡地転用推進基金事業	H27 ～ R2	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、牧港補給地区の土地の先行取得を実施するにあたり、基金を造成する。	・特定事業の用に供する土地取得目標 33,000㎡(達成率67%) ※達成率:先行取得目標面積(152,000㎡)に対する累積取得面積の割合	・特定事業の用に供する土地取得目標 31,452㎡	○
04 浦添市	12	CKD(慢性腎臓病)重症化予防モデル事業	H28 ～ H30	透析のリスクが高い人に対しCKD重症化予防プログラムを実施し、腎機能の維持及び生活習慣の改善を図る。	プログラム参加者について ・腎機能を維持している人の割合80%以上 ・生活習慣(食事・運動・服薬等)を改善した人の割合80%以上	プログラム参加者について ・腎機能を維持している人の割合83% ・生活習慣(食事・運動・服薬等)を改善した人の割合100%	◎
04 浦添市	13	浦添市防犯灯LED化推進事業	H28 ～ R2	二酸化炭素排出量を削減するため、既存防犯灯を消費電力の少ないLEDへ切り替える設置者(自治会)に対して補助金を交付する。	切替後1年目の二酸化炭素排出量を100,000kg-CO2削減する。	切替後1年目の二酸化炭素排出量を97,465kg-CO2削減した。	○

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
05 名護市	1 ①	学習指導支援者配置事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、個々の学習指導を行う学習指導支援者を配置する。	沖縄県学力到達度調査における、県と本市との平均正答率の差 ・小学3年生 算数 -3ポイント以上 ・中学2年生 数学 -3ポイント以上	・小学3年生 算数 -3.4ポイント以上 ・中学2年生 数学 -3.6ポイント以上	未
05 名護市	②	生徒指導支援者配置事業	H24 ～ R3	不登校の改善を図るため、不登校の児童生徒等の支援を行う生徒指導支援者を配置する。	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の割合:24%以上	復帰割合7%	未
05 名護市	③	小中学校英語支援員配置事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力(英語)の向上を図るため、小中学校へ英語支援員を配置する。	①英検Jr.の正答率 ・ブロンズ(小学校5年生):正答率80%以上 ・シルバー(小学校6年生):正答率75%以上 ②沖縄県学力到達度調査における、県と本市との平均正答率の差	①英検Jr.の正答率 ・ブロンズ(小学校5年生):正答率78.2% ・シルバー(小学校6年生):正答率75.4% ②沖縄県学力到達度調査における、県と本市との平均正答率の差 中学2年生 英語 -4ポイント	○
05 名護市	④	中学生海外短期留学派遣事業	H24 ～ R3	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、市立中学の生徒をハワイ州ハワイ郡ヒロヘ短期間派遣する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(100%)	◎
05 名護市	⑤	適応指導教室支援員配置事業	H24 ～ R3	適応指導教室に支援員を配置し、不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等を行い、学校復帰を支援する。	・適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率:28% ・適応指導教室に通級している児童生徒のうちチャレンジ登校のできた児童生徒の率:74%	・適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率:6.6% ・適応指導教室に通級している児童生徒のうちチャレンジ登校のできた児童生徒の率:53.5%	未
05 名護市	⑥	名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24 ～ R3	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が県内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が県内ではできない経験をすることができたか(100%)	◎
05 名護市	⑦	小中一貫教育推進事業	H26 ～ R3	小中一貫教育校「屋我地ひるぎ学園」において、より分かる授業を実践し学力向上を図るため、非常勤講師を配置する。	沖縄県学力到達度調査における、県と本市との平均正答率の差 小学校(算数):+7ポイント以上 中学校(数学):-8ポイント以上	小学校(算数):-3.6ポイント以上 中学校(数学):-4.1ポイント以上	△

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
05 名護市	2 ①	ファイターズ・キャンプ支援事業	H24 ～ R3	北海道日本ハムファイターズのキャンプ受入体制を整えることで、見学者数の増を図る。また、観光誘客を図るため、札幌ドームで名護市PRイベント「名護デー」を開催する。	・北海道日本ハムファイターズのキャンプ期間中における見学者数:2,060人以上 ・名護市観光入込客数:5,984,823人以上	・見学者数:1,725人以上 ・名護市観光入込客数:6,516,350人	○
05 名護市	②	まちなか多言語案内サイン整備事業	H29 ～ R2	外国人観光客の利便性を確保するため、市内の観光スポットを記した多言語案内版等を設置する。	多言語案内版等により外国人観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証。	多言語案内版等により外国人観光客の利便性が確保されたか(100%)	◎
05 名護市	③	第2次名護市観光振興計画策定事業	H30 ～ R1	観光誘客を図るため、第2次観光振興基本計画を策定する。	・第1次観光振興基本計画の検証完了 ・第2次観光振興基本計画の成果指標の策定完了	基本計画の検証完了 成果指標の策定完了	◎
05 名護市	④	名護市特産品開発等支援事業	H29 ～ R1	市内事業者の商品開発・流通等の基礎力向上を図るため、ワークショップ研修等を行う。	ワークショップ研修に参加することにより、商品開発・流通等の基礎力向上に役立ったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケート調査により検証。	ワークショップ研修に参加することにより、商品開発・流通等の基礎力向上に役立ったか(100%)	◎
05 名護市	⑤	スポーツ施設機能強化事業	H29 ～ H30	スポーツ合宿の誘致を図るため、名護市陸上競技場及び真喜屋運動広場に備品を整備する。	スポーツ合宿誘致件数:9件	15件	◎
05 名護市	⑥	名護・やんばるの自然と文化拠点施設整備事業	H30 ～ R3	名護・やんばるの観光振興及び自然や文化の保全・継承に寄与することを目的として、地域の自然と文化に関する情報収集、発信、研究などの機能を備えた総合的なガイダンス拠点となる施設を整備する。	・基本設計(建築・展示)の完了 ・造成設計の完了 ・用地測量の完了 ・土質調査の完了 ・不動産鑑定の実施	業務の完了	◎
05 名護市	⑦	観光情報インフラ(Wi-Fi)整備事業	H30 ～ R2	名護市の中心市街地Wi-Fi拠点の整備に向けて、実証実験を行うとともに、基本計画を策定する。	・Wi-Fi基本計画策定完了 ・実証実験完了	①策定完了 ②実験完了	◎
05 名護市	⑧	やがじ地域観光拠点整備事業	H28 ～ R1	修学旅行等の誘致を図るため、観光地周辺整備及び観光体験施設整備を行う。	・オランダ墓アクセス通路 物件補償設計の完了 ・塩づくり体験施設 実施設計の完了 ・農業体験施設 建築工事の完了	-	繰

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
05 名護市	⑨	名護市産業支援センター機能強化事業	H30 ～ R1	更なる企業誘致による雇用の創出を目的に、名護市産業支援センターの5階フロアに一般オフィス、会議室、トイレ等を整備する。平成30年度は設計委託を行う。	実施設計の策定完了	策定完了	◎
05 名護市	3	名護市金融・情報特区企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24 ～ R3	金融・情報関連企業の誘致を促進するため、企業向けの広報イベントや誘致活動、学生・市民向けの金融・IT講座を実施する。	企業招聘セミナー、沖縄県開催企業誘致県外イベントへ参加した金融・情報通信関連企業のうち名護市へ進出した企業数:2件	2件	◎
05 名護市	4	優良繁殖雌牛導入事業	H27 ～ R1	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:120%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:109%	○
05 名護市	5 ①	救命処置普及強化支援事業	H27 ～ R1	市民や観光客等に重篤な傷病者が発生した際の応急体制を確保するため、救命講習会を実施する。	・救命講習会参加者へのアンケートで、適切な応急対応が理解できたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証。 ・まちかど救急ステーション認定事業所:5件以上	・救命講習会参加者へのアンケートで、適切な応急対応が理解できたか(91%) ・まちかど救急ステーション認定事業所:5件	◎
05 名護市	②	ハブ対策事業	H27 ～ R3	地域住民や観光客の咬傷被害防止を図るため、地域住民の生活圏や観光地にハブ捕獲器を設置し定期巡回を行う。	捕獲器設置箇所周辺におけるハブによる咬傷被害件数:0件	捕獲器設置箇所周辺におけるハブによる咬傷被害件数:1件	未
05 名護市	③	防災体制強化整備事業	H29 ～ R3	住民や観光客等の安全を確保するため、市内消防団車庫等に防災資器材を設置する。	水難救助訓練の実施(1回以上/年)により防災資器材の活用のある方を検証。	水難救助訓練の実施(4回)	◎
05 名護市	④	環境再生・活用整備事業	H29 ～ R3	集中豪雨により浸水している箇所の災害防止を図る。また、治水と自然を共存させた整備を行うことで環境の保全、再生を図り豊かな自然環境と共生するまちづくりを推進する。	・喜知留川河川整備実施設計の完了	実施設計の完了	◎
05 名護市	6	国立療養所沖縄愛楽園土地等利活用基本計画策定事業	H30	国立療養所沖縄愛楽園の未利用の土地等を利活用するため、国立療養所沖縄愛楽園土地等利活用基本計画を策定する。	国立療養所沖縄愛楽園土地等利活用基本計画の策定	基本計画の策定	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
05 名護市	7	名護市自転車まちづくり推進事業	H24 ~ R3	温室効果ガスの排出削減による低炭素社会の構築を目指し、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、自転車のモデルレーン(自転車指導レーン)整備を実施する。	・平成30年度自転車指導レーン整備延長1,850mの整備完了 (宇座線 630m) (火葬場線 420m) (安田根川線 800m)  ・自転車指導レーン整備完了箇所の自転車関連事故発生件数0件/年	・自転車指導レーン整備延長2,100mの整備完了 (宇座線 700m) (火葬場線 180m) (安田根川線 800m) (外廓線 420m) ・自転車指導レーン整備完了箇所の自転車関連事故発生件数0件/年	◎
05 名護市	8	名護湾沿岸基本構想策定事業	H30 ~ R1	名護漁港及び21世紀の森公園並びに宇茂佐海岸など、名護市及び沖縄県北部地域の中心地である名護湾の沿岸域において、今後の沖縄県北部の地域振興につながるまちづくり構想を策定する。	基礎情報の収集完了	基礎情報の収集完了	◎
06 糸満市	1	① 生活感幸(観光)環境づくり事業	H24 ~ R3	観光地としての魅力の向上を図るため各地域の歴史、民俗地図等資料を作成する。また、市民等を対象に地域の風土、文化、歴史などについて学ぶ市史講座を開催する。	・ホームページで公開した歴史民俗地図のアクセス数900件以上 ・市の歴史・文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、市史講座参加者へのアンケートにより本事業のあり方の検証	・ホームページで公開した歴史民俗地図のアクセス数1,565件 ・市の歴史・文化への理解が深まったか92%	◎
06 糸満市		② 沖縄らしい風景づくり事業	H24 ~ R2	風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。	・重点地区施設整備設計完了 ・重点地区施設整備工事(1工区)完了 ・助成金による景観形成整備の完了(3件)	-	繰
06 糸満市		③ 歴史記録資料デジタル化事業	H30	本市の歴史・文化の継承を図るため、本市・沖縄の歴史・文化に関する資料をデジタル化して保存・再生を容易にし、『糸満市史』編集や展示等で活用する。	・市の歴史・文化を記録した資料群のデジタル化の完了	・市の歴史・文化を記録した資料群のデジタル化の完了	◎
06 糸満市		④ 糸満のくらし体感施設整備事業	H27 ~ H30	本市を訪れる観光客や市民が、旧市街地の町並みや、「海人(うみんちゅ)のまち」に根付いてきた売り手と買い手同士の取引である相対売りなどの漁労文化、また沖縄の伝統文化を体験できる施設を整備する。	・糸満のくらし体感施設整備工事の完了 ・備品購入の完了	-	繰
06 糸満市	2	① 省エネ設備化推進事業	H24 ~ H30	環境にやさしい(CO2削減)取り組みを進めるため、公共施設に省エネ対応器具を導入する。	・西崎プールボイラー省エネ化実施設計委託業務の完了 ・西崎プールボイラー省エネ化整備工事の完了	-	繰

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
06 糸満市	3 ①	観光地危険生物駆除事業	H25 ～ R3	観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除を行う。	・ハブ咬傷被害2件	・ハブ咬傷被害2件	◎
06 糸満市	②	観光地危機管理対策事業	H28 ～ R1	大型ホテルやマリンレジャー施設、道の駅等の観光施設が立地する本市にあって、観光客の増加に伴う事故や不測の事態へ対処できる体制の確立のため、防災拠点及び指定避難所の非常食・毛布・炊出し資器材等の整備を行う。	・指定避難所へ防災資機材の整備完了(3箇所) ・備蓄食料の備蓄率75%	・指定避難所へ防災資機材の整備完了(3箇所) ・備蓄食料の備蓄率75%	◎
06 糸満市	4 ①	糸満イベント推進事業	H24 ～ R3	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、糸満ふるさと祭りへの支援を行う。 また、平和に対する意識の向上及び観光誘客を図るため、平和の光イベントへの支援を行う。	・糸満ふるさと祭り エイサー演舞者数230人 来場者数46,000人 ・平和の光 イベントに参加した市民ボランティアの数310人 来場者数92,000人	・糸満ふるさと祭り エイサー演舞者数0人(台風によりエイサー中止) 来場者数24,000人 ・平和の光 イベントに参加した市民ボランティアの数375人 来場者数61,012人	未
06 糸満市	②	滞在型観光推進事業	H24 ～ R3	潜在的な観光資源の認知拡大や地域人材の育成を図るため、観光プログラムのプロモーション活動や周遊型パスポートの配布、運用を行う。	・体験観光メニュー参加者数600人 ・周遊型観光プログラム参加者数630人	・体験観光メニュー参加者数1,297人 ・周遊型観光プログラム参加者数887人	◎
06 糸満市	③	文化交流・情報発信拠点施設整備事業	H25 ～ R3	観光客のさらなる誘客と訪れる観光客の市内回遊を高めるため、地域の歴史的な魅力や文化芸術活動等を内外に発信する文化交流・情報発信拠点施設を整備する。	・文化交流・情報発信拠点施設建築実施設計の策定 ・文化交流・情報発信拠点施設展示実施設計の策定 ・文化交流・情報発信拠点施設管理運営実施計画の策定	・文化交流・情報発信拠点施設建築実施設計の策定完了 ・文化交流・情報発信拠点施設展示実施設計の策定完了 ・文化交流・情報発信拠点施設管理運営実施計画の策定完了	◎
06 糸満市	5 ①	再生水等循環型に関する実証事業	H29 ～ R3	再生水の農業利用や公共施設での利用(公園の芝管理等)を実用化することを目的に、再生水製造の実証試験及び再生水栽培作物の実証栽培・販売を実施し、水資源循環型を構築する。	・調査報告書の作成	・調査報告書の作成完了	◎
06 糸満市	6 ①	平和ガイド育成事業	H24 ～ R3	平和教育・平和観光に役立てるため、小中学生を対象に平和学習を実施し、「平和ガイド」の育成等を行う。	・児童生徒の平和等に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者及び研修生が在籍する各学校の校長に対するアンケートにより本事業のあり方の検証	・児童生徒の平和等に対する理解が深まったか87%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
06 糸満市	②	戦争遺構保全・活用整備事業	H26 ～ R3	平和教育・平和観光に役立てるため、戦争遺構の整備等を行う。	・概要版設置箇所4基	・概要版設置箇所4基	◎
06 糸満市	7 ①	確かな学力を育むサポート事業	H24 ～ R3	学習の遅れからくる劣等感等で不登校になる事案もあり、学習支援や学校生活への不応の児童生徒を指導するなど学力向上と登校復帰を図るため、学校現場へ学習・自立支援員を配置する。	・県学力到達度調査の県との差 小学校算数-3%以上 中学校数学-2.2%以上	・県学力到達度調査の県との差 小学校算数-3.8% 中学校数学-0.4%	△
06 糸満市	②	英語指導事業	H24 ～ R3	英語指導を通じたコミュニケーション能力と国際感覚を身につけた人材育成を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導や学級での質の高い英語指導をサポートする英語指導助手を配置する。	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・中学生 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差 +0.1ポイント	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか85.1% ・中学生 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差-1.7ポイント	△
06 糸満市	③	適応指導教室設置事業	H25 ～ R3	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	・適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率35%	・適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率35.5%	◎
06 糸満市	④	障害児学習環境づくり事業	H24 ～ R3	発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒に支援ヘルパーを配置する。また、保育所等他機関との連携や学校での取り組みなどを多方面からの支援が必要であることから、特別支援教育指導コーディネーターを配置する。	・対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方の検証	・対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度92.7%	◎
06 糸満市	⑤	情報教育環境づくり事業	H25 ～ R3	学校のICT環境整備を行うことでパソコン及び電子黒板等を活用し、より分かりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成や情報教育の充実を図るため、情報教育支援員を派遣する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか(80%以上)を含め、教員へのアンケートにより本事業のあり方の検証	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか90.5% ・情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか93.7%	◎
06 糸満市	8 ①	子育て応援NPO活動支援事業	H24 ～ R3	子育ての困難な親などの養育支援を行うため、NPOを活用して相談や学習会などを開催する。	・子育て支援により、育児に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方の検証	・子育て支援により、育児に関する不安が軽減されたか100%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
06 糸満市	②	母子生活支援モデル事業	H29 ～ R3	ひとり親家庭の子どもの心身の健全な発達等を支援するため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親家庭に対して、民間アパート等を借上げし、地域の中で自立した生活が送れるよう支援する。	・支援対象者のうち自立につながった割合60%以上	・支援対象者のうち自立につながった割合75%	◎
06 糸満市	9 ①	運動公園・体育施設機能強化事業	H24 ～ H30	スポーツ観光の一層の充実を図るため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。	・合宿誘致件数13件	・合宿誘致件数9件	未
07 沖縄市	1 ①	kozaフィルムオフィス事業	H24 ～ R3	映画やドラマ等の誘致活動や撮影支援を行い、撮影件数の増加を図る。	・撮影件数:53件	・撮影件数:52件	○
07 沖縄市	②	音楽資源活用事業	H24 ～ R3	沖縄民謡や戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な音楽資源の展示や音楽イベント等を開催することで、観光客の誘客を図る。	・観光客来館者数:1,700人	・観光客来館者数:3,225人	◎
07 沖縄市	③	音楽観光誘客事業	H24 ～ R3	音楽イベントの開催やライブハウスなどの音楽情報を発信することで、観光客の誘客を図る。	・おきなわ音楽月間イベント来場者数:43,000人	・おきなわ音楽月間イベント来場者数:50,750人	◎
07 沖縄市	④	文化活動拠点施設機能強化事業	H24 ～ R3	市民が琉球舞踊や島唄、組踊りなどの伝統文化に触れる機会や活動を行う場の確保を図るため、音響設備の機能強化を行う。	・音響設備機器機能強化工事の完了	・音響設備機器機能強化工事の完了	◎
07 沖縄市	⑤	国際交流事業	H24 ～ R3	多国籍住民の相談窓口の開設を実施し、生活上等の困難の改善を図る。 市民等に語学講座や交流会等を開催し、国際感覚を持つ人材の育成を図る。	・多言語相談窓口にご相談して良かったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 ・来所者数8,354人	・多言語相談窓口にご相談して良かったかについて肯定的な回答 98% ・来所者数 9,959人	◎
07 沖縄市	⑥	エイサーのまち推進事業	H24 ～ R3	エイサーのPRや振興を通して、観光客の誘客の拡大を図る。	・エイサーイベント来場者数:383,848人 ・エイサー会館来場者数 21,088人以上	・エイサーイベント来場者数:392,366人 ・エイサー会館来場者数 25,293人	◎
07 沖縄市	⑦	観光宣伝事業	H25 ～ R3	観光PR活動を実施することで、滞在型観光の推進を図る。	・主要ホテル宿泊延べ人数:307,520人	・主要ホテル宿泊延べ人数:334,232人	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	⑧	文化芸能推進事業	H25 ～ R3	琉球舞踊やエイサーなどの伝統芸能等のイベントを開催し、市民等に伝統芸能に触れる機会を確保する。	・おきなわ芸能フェスティバル来場者数: 16,681人	・おきなわ芸能フェスティバル来場者数: 2,354人	未
07 沖縄市	⑨	音楽産業拠点施設機能強化事業	H30	ミュージックタウン音市場の音響設備の機能強化を行い、沖縄民謡や戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなどの音楽イベントを開催し、観光客の誘客を図る。	・音響調整卓系設備の整備完了	・音響調整卓系設備の整備完了	◎
07 沖縄市	⑩	観光統計調査事業	H30 ～ R3	沖縄市を訪れる観光客の旅行動向の実態を調査・分析を行い、効果的な観光宣伝に繋げるための基礎資料とする。	観光入込統計調査の完了	観光入込統計調査の完了	◎
07 沖縄市	2 ①	スポーツコンベンション推進事業	H25 ～ R3	プロスポーツチームやアマチュア団体の合宿誘致を行い、スポーツ合宿宿泊者数の増加を図る。プロスポーツ団体等のPR活動や交流イベントの開催によりホームゲームへの観客動員数増を図る。海外からのスポーツ団体の合宿誘致に向けた調査・分析等を行い、スポーツ合宿団体の誘致を図る。	・スポーツ合宿延べ宿泊者数:16,795人 ・ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数 122,563人 ・スポーツコンベンション受入体制整備業務の完了	・スポーツ合宿延べ宿泊者数:26,742人 ・ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数 154,461人 ・スポーツコンベンション受入体制整備業務の完了	◎
07 沖縄市	②	モータースポーツ推進事業	H27 ～ R1	モータースポーツイベントを開催し、観光客の誘客を図る。	・イベント来場者数:39,240人	・イベント来場者数:42,000人	◎
07 沖縄市	3 ①	道路景観形成推進事業	H24 ～ R3	観光地周辺道路を整備することにより、来街者の快適性や安全性等の向上を図り、観光地と併せた魅力向上を行う。	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたかについて肯定的な回答 81.2%	◎
07 沖縄市	②	緑化景観推進事業	H30 ～ R3	観光地周辺の道路や公園において、花と緑あふれる沖縄らしい風景づくりを行い、観光地と併せた魅力向上を行う。	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたかについて肯定的な回答 73%	○
07 沖縄市	4 ①	子ども科学力育成事業	H24 ～ R3	科学イベント等を開催し、子どもたちの科学への興味関心を高める。	・参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか(93%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったかについて肯定的な回答 95%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	②	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力に応じた個々の学習支援を行うことで、学力の向上を図る。	・沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 小学校: 県との差-1ポイント以内を目指す。 中学校: 県との差-3ポイント以内を目指す。	・沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 小学校: 県との差+1.6ポイント 中学校: 県との差-1.1ポイント	◎
07 沖縄市	③	気になる子等の学びを支援する事業	H24 ～ R3	特別な支援を要する障害がある園児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。 また、不登校など課題のある児童生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。	・保護者へのアンケートで、発達の状況に応じた特別支援員の対応への満足度80%以上 ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上 ・不登校児童生徒登校復帰率 15%以上	・保護者へのアンケートで、発達の状況に応じた特別支援員の対応への満足度 98% ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 70% ・不登校児童生徒登校復帰率 16%	○
07 沖縄市	④	青少年等支援事業	H25 ～ R3	巡回指導、相談、支援等を行い、青少年等の健全育成を図る。	・午前・午後巡回指導件数 前年度比 8.5%減 ・夜間・合同街頭指導件数 前年度比 4.6%減 ・社会復帰件数 9件以上	・午前・午後巡回指導件数 前年度比 10.3%減 ・夜間・合同街頭指導件数 前年度比 23.2%増 ・社会復帰件数 9件	△
07 沖縄市	⑤	中学生海外短期ホームステイ派遣事業	H25 ～ R3	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成する。	・保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	・保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合 100%	◎
07 沖縄市	⑥	学校ICT整備活用支援事業	H30 ～ R2	ICT機器を活用することによる学校教育の質の確保を図る。	・児童・生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	・児童・生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合 91.9%	◎
07 沖縄市	5 ①	若年者就労等支援事業	H24 ～ R3	職業人講話やマナー講座等を通じて、小中高校生の就業意識の向上を図る。	・児童生徒へのアンケートで就業意識の向上が図られた(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・児童生徒へのアンケートで就業意識の向上が図られたについて肯定的な回答 91.3%	◎
07 沖縄市	②	就労支援センター事業	H25 ～ R3	就労相談や就労支援講座等を実施し、求職者の就職決定に繋げる。	・就職決定者割合47.3%	・就職決定者割合50.9%	◎
07 沖縄市	③	中小企業人材育成支援事業	H25 ～ H30	市内中小企業者に対し、技術力の向上や能力開発のため、資格取得講座を実施し、中小企業人材のスキルアップを図る。	・研修を受講した人のうち、資格取得者数12人以上	・研修を受講した人のうち、資格取得者数4人	未

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	6 ①	地域防災対策事業	H24 ～ R3	自主防災組織の結成及び体制を強化し、防災施設と活動拠点の整備を行うことで、地域防災力の向上を図る。	・整備した防災資機材等を活用した避難訓練を実施することにより、本事業のあり方について検証する。  ※防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練するものとする。	・整備した防災資機材等を活用した避難訓練の実施 2組織	未
07 沖縄市	②	災害時緊急避難通路整備事業	H24 ～ R2	里道を活用した災害時緊急避難通路を整備し、津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図る。	・比屋根地区1路線30mの整備工事の完了	-	繰
07 沖縄市	③	水難救助支援車整備事業	H30	水難救助支援車を整備し、クルーズ船の寄港のより外国人観光客が多く訪れる中城湾港泡瀬地区での水難事故等への防災体制の向上を図る。	・水難救助支援車の配備完了(1台)	・水難救助支援車の配備完了(1台)	◎
07 沖縄市	7 ①	里道および水路の境界確定復元事業	H24 ～ R3	不明確な里道及び水路の位置を確定することで、(仮)沖縄市法定外公共物整備計画を策定し、里道・水路の占用許可・用途廃止等を行う。	確定測量の完了 表示登記申請の完了	確定測量の完了 表示登記申請の完了	◎
07 沖縄市	8 ①	東部海浜地区開発事業	H25 ～ R3	市民や県民等に対する東部海浜地区開発事業のPRを行い、東部海浜地区への利活用が円滑に行われるよう、認知度向上を図る。 県内外企業等に対する東部海浜地区開発事業のPRを行い、東部海浜地区への企業誘致を図る。	・来場者等へのアンケートによる認知度(50%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	・来場者等へのアンケートによる認知度50%	◎
07 沖縄市	9 ①	平和推進事業	H30 ～ R3	沖縄戦の体験や教訓を考える取組を行い、沖縄戦への理解を深める。	・沖縄戦への理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・沖縄戦への理解が深まったかについて肯定的な回答 93%	◎
07 沖縄市	10 1	郷土資料整備事業	H27 ～ R3	郷土地域資料の購入・収集を行い、市民が沖縄の歴史文化を学べる環境を整備し、沖縄の歴史文化に係る理解を深める。	・郷土地域資料利用者へのアンケートで、沖縄の歴史文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する。	・郷土地域資料利用者へのアンケートで、沖縄の歴史文化への理解が深まったかについて肯定的な回答 91%	◎
07 沖縄市	11 ①	自然学習普及事業	H30 ～ R3	市民が沖縄の自然を学べる環境を整備し、自然環境の保全への理解を深めることで、環境保全に資する。	・自然体験学習を通して、沖縄の自然環境について理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する。	・自然体験学習を通して、沖縄の自然環境について理解が深まったかについて肯定的な回答 85.2%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	12 ①	沖縄こどもの国推進事業	H27 ～ R3	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の誘客促進のため、デジタルサイネージコンテンツ制作及び、マーケティングの実施を行う。	・デジタルサイネージ活用動画制作等の完了 ・マーケティング実施支援業務の完了	・デジタルサイネージ活用動画制作等の完了 ・マーケティング実施支援業務の完了	◎
07 沖縄市	13 ①	沖縄こどもの国施設整備事業	H24 ～ R3	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国において、施設の魅力を高め、県内外の来園者を増加させることにより、こどもの文化創造活動の支援及び親子のふれあい余暇の充実を図る。	・サル舎施設演出工事の完了 ・琉球弧エリア環境演出工事の完了 ・ワンダーミュージアムの展示品等整備の完了 ・ワンダーミュージアムの空調整備完了 ・猛獣舎新築工事(その2)の完了  ・入園者数48万人	-	繰
08 豊見城市	1 ①	文化観光創出事業	H24 ～ R3	H25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、用地を取得し必要な施設等の設計や整備等を実施する。	駐車場施設の整備完了	駐車場施設の整備完了	◎
08 豊見城市	②	とみぐすく祭り事業	H26 ～ R3	歴史文化に育まれた子どもエイサーや豊見城ハーリーなど貴重な地域資源を活用した祭りを開催し、本市の成長力、若い力を県内外に広くアピールし、新たな観光の場として誇りと愛着の持てる「ひと・そら・みどり」がつつなぐ響むまちとみぐすくの実現を目的とする。	・ハーリー大会参加チーム数 63チーム ・来場者数：77,000人	・ハーリー大会参加チーム数：中止  ・来場者数：78,150人	△
08 豊見城市	③	観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ R3	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、大型商業施設及び宿泊施設などが所在する豊崎、瀬長地域の市道植樹樹の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(70%)	○
08 豊見城市	④	新しい公共交通システム導入可能性調査検討事業	H28 ～ R1	新たな公共交通システムの導入を目指し、公共交通の利便性向上を図り、公共交通の利用促進をするため、昨年度の検討、整理を行った実施施策に基づいて、市内一周バスのルート検証を行う。	市役所移転後の市内一周線のルート変更前の利用状況の把握	アンケート実施	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
08 豊見城市	2 ①	とみぐすく産業フェスタ事業	H25 ～ R3	市民や観光客等に市産品を広く知ってもらい、売上増加に繋げるため、とみぐすく産業フェスタへの支援を行う。	とみぐすく産業フェスタ来場者数34,000人	とみぐすく産業フェスタ来場者数28,254人	○
08 豊見城市	②	優良母牛導入支援事業	H27 ～ R1	農家の所得向上に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛と価格差割合「110%以上」	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛と価格差割合「110%以上」	◎
08 豊見城市	3 ①	特別な支援を必要とする子の巡回相談事業	H26 ～ R3	公立幼稚園及び公立・法人・認可外保育施設における「特別な支援を必要とする子」への保育の充実ときめ細かい対応及び早期発見を図るため、臨床心理士の専門指導員を配置し、相談・支援を行う。	臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者・保育士へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	保護者:85.3% 保育士:92.6%	◎
08 豊見城市	②	心理相談事業	H28 ～ R3	乳幼児健診及び事後フォローとして行う親子教室、個別相談に臨床心理士を配置し、発達支援を必要とする乳幼児を抱える保護者の育児不安軽減を図る。	臨床心理士への相談により育児に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	臨床心理士への相談により育児に関する不安が軽減されたか(95.9%)	◎
08 豊見城市	③	幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ H30	市立幼稚園において特別支援教育支援員が対象児の実態に応じ、個別または複数配置で支援を行う。	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	特別支援員の対応への満足度(100%)	◎
08 豊見城市	4 ①	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R3	小中学校において、特別に支援を要する幼児児童生徒の教育活動の充実を図るため、特別支援教育支援員を配置し支援を行う。	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	特別支援員の対応への満足度(85.6%)	◎
08 豊見城市	②	学力向上サポート事業	H24 ～ R3	市内各小中学校への教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ・小学校:+2.3ポイント ・中学校:+2.2ポイント	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ・小学校:+2.0ポイント ・中学校:-0.1ポイント	未
08 豊見城市	③	スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ R3	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境改善を図り、児童相談所等の関係機関とのネットワークの構築のため、スクールソーシャルワーカーを配置し、社会福祉の観点から支援を行う。	支援対象ケース改善率32%	支援対象ケース改善率41.66%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
08 豊見城市	④	不登校等対策支援事業	H24 ～ R3	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談等の適切な支援を行うことにより登校復帰及び社会的自立を支援する。	不登校児童生徒復帰率20%以上	不登校児童生徒復帰率17.77%	○
08 豊見城市	⑤	英語教育推進事業	H25 ～ R3	国際化時代に対応できる人材の育成を目的に、小中学校へ外国人英語講師を巡回配置し、小学校の外国語活動や総合的な学習時間に日本人英語教師を派遣する。	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・中学生 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差 +3.5ポイント	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(69.8%) ・中学生 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差 +2.6ポイント	未
08 豊見城市	⑥	情報教育補助員派遣事業	H24 ～ R3	パソコン教室の授業へ情報教育補助員を派遣し、ICTを活用した授業をサポートすることで児童生徒の情報活用能力の向上を図る。	ICT機器を活用できたと感じた児童生徒の割合:65%以上	ICT機器を活用できたと感じた児童生徒の割合:60%以上	○
08 豊見城市	⑦	児童生徒派遣費補助事業(部活分)	H25 ～ R3	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	対象児童の視野が広がったか(100%)	◎
08 豊見城市	⑧	児童生徒派遣費補助事業(部活外)	H25 ～ R3	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	対象児童の視野が広がったか(99.1%)	◎
08 豊見城市	⑨	青少年国際交流事業	H25 ～ R3	市内在住の中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供して、次代を担う国際的な人材を育成する。	派遣後、団員アンケートで「将来、国際関係の仕事をしたまたは国際科に進学したい」と回答した人の割合が8割以上	「将来、国際関係の仕事をしたまたは国際科に進学したい」と回答した人の割合が58%	○
08 豊見城市	⑩	お仕事体験事業	H30	豊見城市在住の小中学生を対象に、将来の職業観を育むため、仕事の疑似体験ができるイベントを実施する。	就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	就業意識が向上したか(98%)	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
08 豊見城市	①	電子黒板整備事業	H25 ～ R3	わかりやすい授業を実施し学校教育の質の確保を図るため、電子黒板を整備する。	児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(75%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(67.63%)	○
08 豊見城市	5 ①	龕(饒波)修復事業	H27 ～ R1	豊見城市の葬制文化を伝える資料である「龕」を修復し、企画展等で活用することで、地域独自の民俗・祭祀・葬制等といった地域文化の伝承を図る。	龕の修復作業の完了	龕の修復作業の完了	◎
08 豊見城市	②	組踊継承事業	H29 ～ H30	豊見城が題材となっている組踊「雪弘」について、継承と活用しやすい環境を整えるため、復元台本の増補と上演を行い、更に上演後に上演台本を制作する。	組踊出演者数 23名 上演来場者数 646名	組踊出演者数 30名 上演来場者数 660名	◎
08 豊見城市	③	戦争体験等映像化事業	H29 ～ H30	沖縄戦終結から72年が経過し、体験者が自語り記憶を継承することが困難になってきている。そこで、沖縄戦を含めた「アジア・太平洋戦争」の体験者取材し、個々の証言等を基に映像資料を編集制作し、平和を伝える学習材を整備する。	証言映像30名分の完成 学習材の整備完了	証言映像31名分の完成 学習材の整備完了	◎
08 豊見城市	6	豊見城総合公園体育施設機能強化事業	H28 ～ H30	オリンピック・パラリンピック等のスポーツコンベンション誘致を推進するため、施設の現状と課題を抽出し、誘致に必要な条件を整理し計画的な整備を行う。	総合公園陸上競技場グラウンド機能強化工事完了及び備品整備	-	繰
09 うるま市	1 ①	企業誘致推進業務委託事業	H24 ～ R3	企業誘致活動を実施し、県外企業の市内進出につなげる。	目標企業誘致件数:3社以上	企業誘致件数:1社	未
09 うるま市	②	コンカレントエンジニア人材養成事業	H24 ～ R3	ものづくりに関する人材養成研修を実施し、技術者の技術力向上を図る。	技術力が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証する。	アンケート調査の結果、技術が向上したことに対する肯定的な回答:97%	◎
09 うるま市	③	商品プロモーション事業	H25 ～ R3	物産展への出展支援やPR活動及び商品開発の支援や商談会を行うことで、市内中小企業の販路拡大や売上の向上を図る。	・物産展の1事業者平均売上額76,100円以上 ・商談成立件数13件以上 ・商品開発講座参加者へのアンケートで講座内容が商品開発等への参考となったか(80%以上)を含め、本講座のあり方を検証	・物産展の1事業者平均売上額:68,302円 ・商談成立件数:14件 ・商品開発講座参加者へのアンケートで講座内容が商品開発等への参考となった回答:84%	○

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
09 うるま市	④	EV自動車コミュニティ構築事業	H25 ～ R3	EV自動車を活用した観光施設内での周遊や観光施設間での交通等の実証実験を実施し、EV車の普及に伴う産業振興を図る。	EV自動車実証実験の完了	EV自動車実証実験の完了	◎
09 うるま市	⑤	国際物流トライアル推進事業	H30 ～ R3	市内事業者の新たな物流モデル構築の取組に対して実証実験を実施し、取扱貨物量の増加を図る。	輸送モデル実証実験の完了	実証実験完了	◎
09 うるま市	⑥	産業基盤整備推進事業	H30 ～ R1	企業の工場用地の確保に向けた産業基盤整備計画を策定し、工場用地の確保を図る。	産業基盤基礎調査の完了	基礎調査完了	◎
09 うるま市	⑦	研究開発支援事業	H30 ～ R3	市内の企業に研究開発費の一部を支援し、製品開発に繋げる。	商品の開発件数1件以上	商品の開発件数4件	◎
09 うるま市	2 ①	うるま市地域雇用人材育成事業	H24 ～ R3	求人企業に既存支援制度の活用に向けた助言や就職イベント等を行い、雇用の拡大につなげる。	本研修受講後の新規雇用者数50人	本研修受講後の新規雇用者数44人	○
09 うるま市	②	うるま市就労支援事業	H24 ～ R3	求職者に対するきめ細かな支援を行い、雇用の拡大につなげる。 また、児童生徒にキャリア教育を実施し、働くことを考えてもらうきっかけづくりを行うことで、勤労観や職業観の育成を図る。	・就労支援を行った新規雇用者数310人 ・小中高生へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証	・就労支援を行った新規雇用者数355人 ・小中高生へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた:93%	◎
09 うるま市	3 ①	観光商品開発流通促進事業	H24 ～ R3	体験型観光商品メニューのPR活動を実施し、観光客の誘致を図る。	体験型観光商品メニューを体験した観光客数 1,100人以上	体験型観光商品メニューを体験した観光客数:2,394人	◎

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
09 うるま市	②	メディア活用による戦略的観光誘客促進事業	H24～R3	うるま市の魅力を県内外に向けPRするため、雑誌やインターネット等のメディアを活用した観光情報配信等を行い、観光客の誘客を図る。	主要施設来場者数 355,051人以上	主要施設来場者数 333,075人	○
09 うるま市	③	うるま市スポーツ推進計画策定事業	H30	生涯スポーツによる住民の健康増進、競技スポーツによる青少年の人材育成、及びスポーツ交流による観光振興を図ることを目的とし、「うるま市スポーツ推進計画」を策定する。	うるま市スポーツ推進計画策定の完了	うるま市スポーツ推進計画策定完了	◎
09 うるま市	④	具志川多種目球技場芝整備機材導入事業	H30	芝整備機材を調達し、年間を通して「良好な芝生環境」を整備することにより、サッカーキャンプ誘致を図る。	芝整備機材(リールモア、スイーパー等)の導入完了	芝整備機材の導入完了	◎
09 うるま市	⑤	スポーツコンベンション誘致戦略策定事業	H30	スポーツキャンプの誘致等を目的とし、本市が所有する各種体育施設等を活用したスポーツコンベンション誘致戦略を策定する。	・スポーツコンベンション誘致戦略策定の完了	・スポーツコンベンション誘致戦略策定完了	◎
09 うるま市	⑥	石川体育館機能強化事業	H30～R2	石川体育館の機能強化を行い、スポーツ合宿の誘致等を図る。	・石川体育館機能強化計画策定の完了	・石川体育館機能強化計画策定の完了	◎
09 うるま市	⑦	地域Wi-Fi環境整備事業	H30	無線アクセスポイントを整備し、外国人観光客の利便性向上を図る。	無線アクセスポイントの整備完了	無線アクセスポイントの整備完了	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
09 うるま市	4	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24 ～ R3	世界遺産として登録されている勝連城跡の周辺に体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点施設を整備し、観光客の誘客を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入口ゲート整備工事完了</li> <li>・入口ゲート建築工事完了</li> <li>・造成工事</li> <li>・護岸整備工事完了</li> <li>・排水路整備工事完了</li> <li>・駐車場一部工事完了</li> <li>・トイレ実施設計完了</li> <li>・観光ターミナル実施設計完了</li> <li>・歴史文化施設建築実施設計完了</li> <li>・歴史文化施設展示実施設計完了</li> <li>・入口広場分筆測量完了</li> <li>・用地取得完了</li> <li>・物件移転(一般補償)完了</li> <li>・物件移転(公共補償)完了</li> </ul>	-	繰
09 うるま市	5	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ～ R3	景観地区の指定により、各景観地区ごとのまちづくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①景観地区指定委託業務(伊計地区)の完了</li> <li>②まちなみ景観助成(南風原・浜比嘉地区)の完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①景観地区指定委託業務(伊計地区)完了</li> <li>②まちなみ景観助成(南風原・浜比嘉地区)完了</li> </ul>	◎
09 うるま市	6	① 島アートプロジェクト事業	H24 ～ R3	これまで開催してきた島アートイベントの効果の検証やフォーラムを実施し、次年度以降の本事業での観光客の誘致を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーラムの来場者数160人以上</li> <li>・津堅島での可能性調査の完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーラムの来場者数186人</li> <li>・津堅島での可能性調査の完了</li> </ul>	◎
09 うるま市	②	島しょ地域超高速ブロードバンド整備事業	H30	島しょ地域(平安座・宮城・伊計・浜比嘉)における超高速ブロードバンド基盤整備率をうるま市内と同程度まで向上させ、ICT利用による利便性を全県的に等しく享受する。	超高速ブロードバンド整備の完了	超高速ブロードバンド整備の完了	◎
09 うるま市	7	① 肉用牛生産拡大強化事業	H26 ～ H30	農家の経営安定に向けた子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合102%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合113%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
09 うるま市	②	循環型農業促進事業	H30 ～ R1	循環型農業促進事業基本計画を策定し、家畜排せつ物の堆肥化による農地への還元に向けた循環型農業の促進を目指す。	うるま市農業の現状把握と課題整理及び課題分析の完了	うるま市農業の現状把握と課題整理及び課題分析の完了	◎
09 うるま市	③	うるま市の頑張る農業を応援します事業	H30 ～ R2	強化型ハウスの整備に必要な支援を行い、出荷量の向上を図る。	・強化型パイプハウス設置の完了	・強化型パイプハウス設置の完了	◎
09 うるま市	8 ①	小学校学力向上対策推進事業	H24 ～ R3	児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 小5算数平均正答率 県平均以上	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 小5算数平均正答率 県平均-1P	未
09 うるま市	②	中学校学力向上対策推進事業	H24 ～ R3	生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 中2数学 -1.5	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 中2数学 -1.1	◎
09 うるま市	9 ①	配慮を要する子巡回指導事業	H24 ～ R3	「配慮を要する子」の保育等に関し、市内保育施設に勤務する職員に対して、専門指導員による助言や研修会等を行い、保育の質の向上を図る。	・巡回指導における相談処理件数142件 ・研修内容が理解できたか(90%以上)を含め、当該研修のあり方について、アンケート調査により検証	・巡回指導における相談処理件数235件 ・アンケート調査において研修内容が理解できたという回答94%	◎
09 うるま市	②	放課後児童クラブ支援事業	H24 ～ R3	支援員による放課後児童クラブへの運営指導や助言を行い、運営の健全化を図る。 放課後児童支援員等への研修会を実施し、放課後児童クラブ支援員の質の向上を図る。	・放課後児童クラブ運営健全化割合54%以上 ・研修会に参加した放課後児童支援員等へのアンケートで研修内容の理解ができたか(80%以上)を含め、当該研修のあり方について検証	・放課後児童クラブ運営健全化割合57% ・研修会に参加した放課後児童支援員等へのアンケートで研修内容の理解ができたという回答92%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」  
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」  
 「繰越」・・・「繰」  
 「遂行困難」・・・「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
09 うるま市	③	ひとり親家庭生活支援モデル事業	H25 ～ R3	ひとり親家庭に対し、資格取得や債務整理、転職等による正規雇用に繋げることにより、ひとり親家庭の自立に繋げる。 児童生徒への自主学習のサポートを行い、学習習慣の定着を図る。	・本事業によるひとり親家庭の自立世帯割合95% ・保護者へのアンケートで、学習習慣の定着が図れたか(80%以上)を含め、当該支援のあり方について、検証	・本事業によるひとり親家庭の自立世帯割合100% ・保護者へのアンケートで、学習習慣の定着が図れという回答86%	◎
09 うるま市	10 ①	中学校教育指導推進事業	H24 ～ R3	特別な支援を要する不登校の児童生徒等に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。 また、児童生徒及び家族が抱える様々な問題に対して、多様な支援方法を用い課題解決を図る。	・不登校児童生徒復帰率59%以上(のべ復帰者/のべ不登校者) ・児童生徒及び家族からの相談件数(実数)に対しての課題解決件数割合23%以上	・不登校児童生徒復帰率3%(のべ復帰者/のべ不登校者) ・児童生徒及び家族からの相談件数(実数)に対しての課題解決件数割合33%	△
09 うるま市	②	教育相談事業	H24 ～ R3	教育相談室に相談員を配置し、幼児・児童生徒・教師・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援し、課題の解決を図る。	相談件数に対しての課題解決割合34%以上	相談件数に対しての課題解決割合36%	◎
09 うるま市	③	適応指導教室事業	H24 ～ R3	小中学生の心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対し、適応指導教室を開級し、児童生徒に自立心や社会性を高めることを目指す。	・体験活動に参加することができた割合78%以上 ・中学3年生の卒業後の進路決定割合89%以上	・体験活動に参加することができた割合90% ・中学3年生の卒業後の進路決定割合60%	○
09 うるま市	④	地域連携音楽環境整備事業	H30	現在、部活動において楽器が不足しており、十分な練習活動ができない状況である。部活動に必要な楽器を配置することにより、部員の音楽に対する意欲の向上及び地域連携を図る。	・楽器の配置によって部員の音楽に対する意欲が向上したか(80%以上)を含め、部活動のあり方についてアンケート調査により検証 ・地域イベント参加 13件	・アンケート調査楽器の配置によって部員の音楽に対する意欲が向上したとの回答82% ・地域イベント参加 39件	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
09 うるま市	11	うるま市自主防災組織育成事業	H25 ～ R3	自主防災組織の結成を推進し、地域防災力の向上を図る。	整備した防災資機材等を活用した防災訓練を実施することにより、本事業のあり方についてアンケート調査により検証  ※防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練を実施	防災訓練の際にアンケート調査1回実施	◎
09 うるま市	12	うるみんな健康増進機能強化事業	H30	うるま市健康福祉センターに運動器具を設置し、市民の健康増進を図る。	モニターへアンケート調査を実施し、健康増進が図られたか(80%以上)を含め、運動器具使用方法のあり方を検証	モニターへアンケート調査を実施し、健康増進が図られたとの回答94.6%	◎
10 宮古島市	1	① 宮古島市neo歴史文化ロード整備事業	H24 ～ R3	宮古島市各地に点在している文化財を活用した観光誘客を図るため、散策コースの策定及びコース上の文化財環境整備(案内板・説明版・除草清掃等)、WEB公開システムの更新を実施する。	入域観光客数710,000人以上	入域観光客数 1,143,031人	◎
10 宮古島市	1	② ムイガー展望施設整備事業	H29 ～ H30	宮古島南部の景勝地であるムイガー断崖において、観光客の利便性の向上を図るため、展望施設の階段・手すり・ベンチ等を整備する。	ムイガー展望施設整備の完了	ムイガー展望施設の整備完了	◎
10 宮古島市	1	③ 伊良部地区観光地総合整備事業	H28 ～ R2	伊良部地区の観光地である、白鳥崎公園の利便性向上を図るため、園路整備(木道橋)のための実施設計を行う。	観光地の整備に向けた実施設計の完成。	実施設計の完了	◎
10 宮古島市	1	④ 新城海岸環境整備事業	H28 ～ R2	新城海岸トイレ・シャワー施設における水利用の衛生面を改善し、観光客の利便性向上を図るため、水道管敷設のための調査・設計を行う。	新城海岸水道管敷設実施設計業務の完了	新城海岸水道管敷設実施設計業務の完了	◎
10 宮古島市	1	⑤ 多言語観光案内サイン整備事業	H29 ～ R3	増加する外国人観光客の利便性・安全性の確保を図るため、多言語による観光案内サイン、安全確保・遊泳等に関する注意喚起サインを整備する。	・安全確保サイン設置の完了 2基 (新城ビーチ・吉野ビーチ)  ・牧山公園誘導サイン設置の完了 2基	・安全確保サイン設置 2基 (新城ビーチ・吉野ビーチ)  ・牧山公園誘導サイン設置 0基	△
10 宮古島市	2	① 観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地へのアクセス道路の環境美化(除草・清掃)を行う。	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると回答した人の割合 79.1%	○

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
10 宮古島市	2 ②	観光地公園環境美化強化事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている公園の環境美化清掃を行う。	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であると回答した人の割合 95.9%	◎
10 宮古島市	3 ①	宮古島オリジナルMICE促進事業	H28 ～ H30	ドーム型施設を活用した企業報奨・研修旅行・イベント等の増加を図るため、キーパーソン招聘、イベント・インセンティブツアーの誘致等、宮古島オリジナルのMICE促進活動を実施する。	イベント、企業研修等誘致件数 12件以上	イベント、企業研修等誘致件数 34件	◎
10 宮古島市	3 ②	クルーズ船観光受入体制強化事業	H29 ～ R3	クルーズ船観光客の受入体制強化に向け、観光案内所の設置・運営、歓送迎セレモニーの開催、情報の発信・収集等を行い、観光客の誘客を図る。	クルーズ船観光客数429,550人以上	クルーズ船観光客数 454,157人	◎
10 宮古島市	3 ③	誘客促進事業	H24 ～ R3	本市への観光誘客を図るため、ウェブサイトやSNSの活用、県内外での観光イベント参加等による観光プロモーション活動を実施する。	入域観光客数710,000人以上	入域観光客数 1,143,031人	◎
10 宮古島市	3 ④	下地島空港観光アクセス調査事業	H30 ～ R1	ターミナルの供用開始により、新たに多くの観光客利用が見込まれる下地島空港の利便性向上を図るため、市内要所との交通アクセスの確保に向けた調査を実施する。	下地島空港観光アクセス調査の完了	下地島空港観光アクセス調査の完了	◎
10 宮古島市	3 ⑤	下地島空港旅客に向けたコンテンツ創出事業	H30 ～ R1	下地島空港を利用する観光客等の誘客を図るため、地域の資源・魅力を発信する短時間周遊や体験型プログラム等のコンテンツを創出する。	体験型観光コンテンツ創出業務の完了	体験型観光コンテンツ創出業務の完了	◎
10 宮古島市	4 ①	宮古島市天然ガス資源事業化推進事業	H28 ～ H30	天然ガスによる発電利用や不随水(温泉水)の活用を図るため、小規模農業実証、温浴事業(民間企業)の企業誘致等を実施する。	・農作物の収穫量144kg/年 ・温浴事業企業誘致1社 ・施業案(実施計画書)の策定完了	・農作物の収穫量 150.39kg/年 ・温浴事業企業誘致 1社 ・施業案(実施計画書)の策定未完了	△
10 宮古島市	4 ②	エコアイランド宮古島ブランド化推進事業	H28 ～ R1	市民や事業者のエコへの関心を高めるため、webページによる情報発信、市民が気軽に参加できるワークショップやイベントの開催を実施する。	・エコ活動イベント参加者500人 ・Webページアクセス数25,000件	・エコ活動イベント参加者 723人 ・Webページアクセス数 69,100件	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
10 宮古島市	4 ③	電気自動車普及促進事業	H28 ～ H30	EV車の普及を推進し、CO2削減による環境保全を図るため、集合住宅への充電器整備にかかる実証、自動車整備事業者・技術者を対象にした勉強会、高校生を対象とした出前講座等を実施する。	・EVの普及台数:320台 ・EV整備士育成プログラム参加者数 8社 8人	・EVの普及台数:320台 ・EV整備士育成プログラム参加者数 8社 10人	◎
10 宮古島市	5 ①	生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25 ～ R3	沖縄本島への輸送が空路に限定される生鮮水産物の出荷量増加を図るため、出荷が同距離の陸路輸送費並みの運賃となるよう補助金を交付する。	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量(190トン)	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量 108.3トン	未
10 宮古島市	5 ②	宮古島市海業センター整備事業	H24 ～ R1	安定的な種苗生産供給による養殖業の生産量向上を図るため、宮古島市海業センターの機能強化に向けた取水管敷設および取水施設機械設備整備を行う。	取水管敷設工事の完了L=480m  取水施設機械設備工事の完了	-	繰
10 宮古島市	5 ③	来間東航路標識灯設置事業	H30 ～ R1	航路の安全性を確保するため、南パヤオ(伊良部南浮魚礁)への航路標識設置に向けた調査・設計を実施する。	来間東航路標識等設置調査測量設計の完了	来間東沖標識灯設置調査測量設計の完了	◎
10 宮古島市	6 ①	救命処置普及強化支援事業	H28 ～ R3	観光客等の事故や傷病の発生に対する応急手当の普及を図るため、専属の救命講習普及支援員を配置し、救命講習会の開催等を行う。	救命講習受講者数1,500人	各種救命講習会の受講者数:1,646人	◎
10 宮古島市	6 ②	水難救助体制強化整備事業	H29 ～ H30	入域観光客数の増加に伴い発生が懸念される水難事故等へ対応するため、水難救助車・災害支援車を導入する。	・水難救助車の配備完了(1台) ・災害支援車の配備完了(1台)	・水難救助車の配備完了(1台) ・災害支援車の配備完了(1台)	◎
10 宮古島市	7 ①	課題を抱える児童生徒の支援事業	H24 ～ R3	課題や問題のある児童生徒の生活環境や不登校の改善を図るため、個々に応じた適切な指導・支援を行うスクールソーシャルワーカーおよび問題行動学習支援員を配置する。	不登校児童生徒復帰率50%以上	不登校児童生徒復帰率 25%	未
10 宮古島市	7 ②	選手派遣支援事業	H24 ～ R3	島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツや文化活動において、地区選抜代表選手として県大会や全国大会へ派遣される旅費に対し補助金を交付する。	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する	児童生徒が広い視野を持てたと回答した保護者の割合 76%	○

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
10 宮古島市	7 ③	地域連携小中学校吹奏楽環境整備事業	H30	市内小中学校の吹奏部において、楽器が不足しており、十分な練習活動ができない状況にある。必要な楽器を整備し、児童生徒の意欲向上及び地域活性化を図る。	・楽器整備完了	楽器整備完了	◎
10 宮古島市	7 ④	電子黒板整備事業	H30 ～ R2	わかりやすい授業を構築し学校教育の質の確保を図るため、市内小中学校の普通学級及び特別教室に電子黒板を整備する。	電子黒板の整備完了	電子黒板の整備完了	◎
10 宮古島市	8 ①	「テレワーク@宮古島」事業	H28 ～ H30	情報通信関連企業の誘致により新規就業者を創出するため、宮古島市へ開設意欲のある企業への訪問による誘致活動、現地ツアー開催による島内企業とのビジネスマッチング等を実施する。	ビジネスマッチング件数2件以上	ビジネスマッチング件数 1社	未
10 宮古島市	8 ②	高等教育機関の設置検討事業	H28 ～ H30	宮古島市における高等教育機関の設置を図るため、学校経営等の実証に向けた基盤整理のための調査・検討を行う。	高等教育機関の設置に向けた調査・検討業務の完了	高等教育機関の設置に向けた調査・検討業務の完了	◎
10 宮古島市	9 ①	平良港総合物流センター整備事業	H29 ～ R2	平良港において近年増加する取扱物流量に対応できるようにするため、総合物流センターを整備する。	基本設計の完了	基本設計の完了	◎
10 宮古島市	10 ①	地下水保全調査事業	H29 ～ R1	平良地下水流域の保全や伊良部島における水源開発を図るため、基礎調査を行う。	1) 平良地下水流域の塩水化進入状況等調査の完了 2) 伊良部島における水源可能性基礎調査の完了	1) 平良地下水流域の塩水化進入状況等調査の完了 2) 伊良部島における水源可能性基礎調査の完了	◎
11 南城市	1 ①	スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ R3	市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、プロサッカーチームのキャンプ受入に適した環境整備を行うことで、プロ・サッカーチームのキャンプ誘致に繋げる。	プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム	プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム	◎
11 南城市	②	尚巴志活用マスタープラン実施事業	H26 ～ R1	平成25年度に策定した「尚巴志活用マスタープラン」を実施する事業であり、尚巴志関連の文化資源を活用し、地域の歴史文化を学べる機会を創出することで、市の歴史文化に関する理解を深める。	各事業実施後、参加者に対するアンケートを実施し、市の歴史文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	各事業実施後、参加者に対するアンケートを実施し、市の歴史文化への理解が深まったかについて肯定的な回答:87%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
11 南城市	③	南城市産商品販売力強化事業	H27 ～ R2	市産商品の売上増加を図るため、市内外でのイベントで販売促進活動を行う。	商品の売上額:717,064円以上	商品の売上額:4,404,127円	◎
11 南城市	④	プロ・サッカーキャンプ等受入施設整備事業	H27 ～ H30	陸上競技場及び体育館施設の機能強化を行うことで、プロ・サッカーチームのキャンプ誘致に繋げる。今年度は、サッカーキャンプ等で活用する備品整備を行う。	プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム	プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム	◎
11 南城市	⑤	海外交流推進事業	H28 ～ R1	アジアからの外国人観光客の増加を図るため、アジアから学生インターンシップを受け入れ、海外からの視点で南城市の観光における魅力や課題を探り、地域の観光関連事業者へ共有を図るとともに、外国人観光客に関するシーズやニーズを調査し、南城市の観光振興に繋げていく。	外国人観光客数:40,000人以上	外国人観光客数:26,367人	未
11 南城市	⑥	南城型エコミュージアム実施計画策定事業	H28 ～ R1	観光誘客を図るため、自然・歴史・文化・人など地域の魅力ある資源を活用し、新たな観光資源を創出するため、市内27地域のエコミュージアム計画を策定する。今年度は、南城型エコミュージアム実施計画(各論その2)を策定する。	南城型エコミュージアム実施計画(各論その2)策定(9地域)	南城型エコミュージアム実施計画(各論その2)策定:9地域	◎
11 南城市	⑦	アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業	H29 ～ H30	アジア諸国と、3市村(南城市、伊江村、渡嘉敷村)の中・高校生が、豊かな自然や歴史、文化などの地域資源に恵まれた環境の沖縄で共に生活しながら地域の課題に取り組み、体験交流を深める中で、国や文化を越えた友情を育み、多種多様な文化や社会、考え方があつたことを直に学ぶ機会を設けることで、国際的な広い視野を持たせる。	生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	生徒の国際的な視野がより広まったと感じたかについて、保護者からの肯定的な回答:93%	◎
11 南城市	⑧	観光振興将来拠点地整備事業	H25 ～ R1	大規模な公共駐車場を整備することで、各種イベント時の駐車場不足等の課題を解消し、利便性を確保する。	公共駐車場の整備	公共駐車場の整備を完了した	◎
11 南城市	⑨	観光施設危機管理対策事業	H28 ～ R2	本市を訪れた観光客が災害時等、安全に避難することができる環境を整備し、安心・安全な観光地を形成する。今年度は、市内の観光関連施設にAEDを設置することで、緊急時における利用者の即時応急体制を確保する。	AEDを整備した施設において、救急救命(AED)講習を実施する中でアンケートを実施し、その結果「AEDを使用した適切な応急対応が理解できた」と回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	AEDを整備した施設において、救急救命(AED)講習を実施し、その結果「AEDを使用した適切な応急対応が理解できた」と回答した割合:97%	◎

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
11 南城市	⑩	南城市デジタルアーカイブ実施事業	H30 ～ R3	歴史の継承及び観光誘客を図るため、市内に点在する歴史・文化財・伝統芸能といった文化遺産のデジタルアーカイブ化を実施し、情報公開・発信を行う。今年度は、実施計画書を策定する。	デジタルアーカイブ実施計画書の策定	デジタルアーカイブ実施計画書を策定した	◎
11 南城市	2 ①	平和学習受入体制強化事業	H25 ～ R2	糸数アブチラガマは、経年による崩落や周辺環境の変化による壊への影響が懸念されるため、安全・安心して見学・体験ができるよう、保全対策を実施することで、平和学習の振興及び観光誘客を図る。今年度は、ガマ内の保全対策設計を行う。	保全対策設計の完了	保全対策設計を完了した	◎
11 南城市	3 ①	優良繁殖牛導入支援事業	H26 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:104%以上	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:114.7%	◎
11 南城市	②	優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ R1	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	・生産乳量の増加:7,917kg以上(年間) ・乳質(脂肪率)の向上:3.91%以上	・生産乳量の増加:7,380kg(年間) ・乳質(脂肪率)の向上:3.91%	○
11 南城市	4 ①	低炭素なまちづくり推進事業	H28 ～ R3	防犯灯及び公共施設等の照明器具を省エネ型のLED照明に切り替え、温室効果ガスの排出削減を図る。	防犯灯及び公共施設等の照明が排出する温室効果ガス(CO2)削減:約120,000kg	防犯灯及び公共施設等の照明が排出する温室効果ガス(CO2)削減:151,674kg	◎
11 南城市	5 ①	学習支援員配置事業	H25 ～ R3	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うため、学習支援員を配置し、学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校:県平均以上 ・中学校:+0.4ポイント以上	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校:県平均以下 ・中学校:+1.7ポイント	△
11 南城市	②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別な支援を要する園児・児童・生徒に対応した支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	特別支援教育支援員の対応への満足度について、保護者からの肯定的な回答:82.2%	◎
11 南城市	③	小・中学校電子黒板等整備事業	H28 ～ H30	市内小学校に電子黒板の整備を行い、ICT機器を活用した分かりやすい授業を展開することにより、学校教育の質の確保を図る。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:92%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
11 南城市	6	① なんじょう歴史文化保存継承事業	H24～R3	地域の文化財や伝統行事、沖縄戦に関する事など、本市の歴史・文化について、整理・保存及び活用することで、歴史・文化の継承を図る。	・『資料集 戦争』原稿執筆の完了 ・『民俗』実地調査による資料収集と整理	・『資料集 戦争』原稿執筆を完了した ・『民俗』実地調査による資料収集と整理を行った。	◎
12 国頭村	1	① 国頭らしい景観形成事業	H28～H30	自然や歴史等風景を生かした魅力的な観光地としての景観形成を図るため、景観計画に基づいた、景観ガイドラインを作成する。	景観むらづくりガイドラインの作成完了	景観むらづくりガイドラインの作成を完了した	◎
12 国頭村		② スポーツコンベンション観光振興事業	H25～R1	スポーツ施設の機能強化によるスポーツ合宿の実施増加に繋げるため、ウエイトルームを整備する。	ウエイトルーム実施設計の完了	ウエイトルーム実施設計を完了した	◎
12 国頭村		③ 観光拠点施設機能強化事業	H25～H30	観光拠点である「道の駅」ゆいゆい国頭において、イベント開催等の増加を図り、観光誘客につなげるため、膜張り屋根施設を整備する。	膜張り屋根施設の整備(実施設計、建築工事の完了)	膜張り屋根施設の整備を完了した(実施設計、建築工事の完了)	◎
12 国頭村		④ 国頭村観光危機管理計画策定事業	H30	災害時における観光客の安全確保を図るため、観光危機管理計画を策定する。	国頭村観光危機管理計画の策定完了	国頭村観光危機管理計画の策定を完了した	◎
12 国頭村	2	① ヤンバルクイナ生態保全確立事業	H26～H30	ヤンバルクイナの適切な飼育体制の構築及び希少動物の保護普及啓発を図るため、飼育技術指導員及び保護普及啓発員を配置する。	・ヤンバルクイナの飼育羽数 1羽  ・希少動物の保護普及への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、村民や観光客へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・ヤンバルクイナの飼育羽数 1羽  ・希少動物の保護普及への興味・関心が高まったかについて、村民や観光客からの肯定的な回答:99%	◎
12 国頭村	3	① 国頭村ブランド牛基盤づくり支援事業	H26～R2	農家の所得向上に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合114%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:121%	◎
12 国頭村	4	① 国頭村減災地域社会形成事業	H24～R3	災害時において村民及び観光客等の安全を確保するため、防災マニュアル(BCP)の改定及び集落別減災計画を作成する。	「防災マニュアル(BCPマニュアル)」の改定完了 「集落別減災計画」を作成した集落カバー率:75%	「防災マニュアル(BCPマニュアル)」の改定を完了した 「集落別減災計画」を作成した集落カバー率:75%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
12 国頭村	②	消防救助艇及び資機材搬送車整備事業	H30	水難事故等における住民や観光客等の安全の確保を図るため、救助艇・牽引車両等を整備する。	消防救助艇及び資機材搬送車の配備 (国頭地区消防本部) ・消防救助艇 1台 ・資機材搬送車 1台	消防救助艇及び資機材搬送車の配備 (国頭地区消防本部) ・消防救助艇 1台 ・資機材搬送車 1台	◎
12 国頭村	5 ①	学習支援員配置事業	H25 ～ R2	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行い学力の向上を図るため、学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率の差 ・算数:-1.9ポイント 以上 ・国語:-0.8ポイント 以上 ・理科:-1.6ポイント 以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率の差 ・算数:-2.4ポイント ・国語:-1.9ポイント ・理科:-1.8ポイント	未
12 国頭村	②	生徒指導支援員配置事業	H30 ～ R2	不登校の児童生徒に対応した支援を行い不登校の改善を図るため、生徒指導支援員を配置する。	不登校児童生徒復帰率 15%	不登校児童生徒復帰率 50%	◎
12 国頭村	③	村内幼児児童生徒英語支援員配置事業	H25 ～ R2	幼児児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、英語支援員を配置する。	・認定こども園 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。  ・小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。  ・中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差 -2.2ポイント以上	・認定こども園 アンケート未実施  ・小学校 英語に対する興味・関心が高まったかについて、本人からの肯定的な回答:88%  ・中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差 -0.9ポイント	△
12 国頭村	④	学習支援教室委託事業	H28 ～ R2	中学3年生の高校進学への支援を行うため、学習支援教室(村営塾)を設置する。	受講生の高校受験合格率:100%	受講生の高校受験合格率:100%	◎
12 国頭村	⑤	ICT活用推進事業	H27 ～ R2	ICT機器を使用したわかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保を図るため、電子黒板及びタブレット端末を整備する。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	ICT機器を活用した授業が分かりやすかったかについて、児童生徒からの肯定的な回答:85%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
12 国頭村	6 ①	環境保全・美化推進事業	H27 ～ R1	地域住民及び観光客の安全確保や貴重な野生生物の保護のため、ハブ・ノラネコ・ノライヌ対策を行う。	集落及び観光地内やその周辺におけるハブ咬傷被害の未然防止(咬傷被害0件) ノラネコ・ノライヌの野生化未然防止(ノラネコ・ノライヌによるヤンバルクイナの捕食11件以下)	集落及び観光地内やその周辺におけるハブ咬傷被害:1件 ノラネコ・ノライヌによるヤンバルクイナの捕食:6件	△
12 国頭村	7 ①	多自然川づくり事業	H24 ～ R3	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	河川工事整備率 73%(686m/全体延長L=1,200m)	-	繰
13 大宜味村	1 ①	大宜味村観光情報発信整備事業	H24 ～ H30	村産品を広く知ってもらい、売上増加に繋げるため、大宜味村産業まつりへの支援を行う。また、大宜味村の認知度向上を図るため、県外でPRイベントを開催する。	・大宜味村産業まつり来場者数 5,500名以上 ・PRイベント来場者数 15,000名以上	・大宜味村産業まつり来場者数 4,734名 ・PRイベント来場者数 12,700名	○
13 大宜味村	②	環境保全・美化推進事業	H28 ～ R2	地域住民や観光客の安全確保及び貴重な野生生物の保護を図るため、ハブ、野良犬、野良猫対策を行う。保護した猫については譲渡強化を図る。	・ハブ咬傷被害:1件以下 ・ヤンバルクイナの生息率:16.7%以上 ・保護した猫の譲渡:40件以上	・ハブ咬傷被害:2件 ・ヤンバルクイナの生息率:15.40% ・保護した猫の譲渡:37件	未
13 大宜味村	③	ふるさと河川環境再生・活用整備事業	H26 ～ R1	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、大川川の整備を行う。	・累計河川工事整備率 56% (1,458m/全体延長2,600m)	-	繰
13 大宜味村	2 ①	学習支援員配置事業	H25 ～ R3	学力の向上を図るため、村内小中学校に学習支援員を配置する。	平成30年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ・小学校 0ポイント ・中学校 -1.5ポイント以上	平成30年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ・小学校 -6.2ポイント ・中学校 1.4ポイント	△
13 大宜味村	②	地域支援員配置事業	H25 ～ R3	不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らない支援を行う。	・支援対象の不登校気味児童生徒のうち、不登校に至らなかった児童生徒の割合 100%	・支援対象の不登校気味児童生徒のうち、不登校に至らなかった児童生徒の割合 100%	◎
13 大宜味村	③	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25 ～ R3	本村の自然や文化等についての学習機会を拡充し、人材の育成を図る。	・講座受講者数 276名以上	・講座受講者数 394名	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
13 大宜味村	④	児童生徒等県外派遣支援事業	H26 ～ R3	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。	・派遣された児童・生徒の保護者へアンケートで、児童・生徒が県内ではできない経験をしたことができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が県内ではできない経験をしたことができたとの回答割合 100%	◎
13 大宜味村	3 ①	低炭素社会構築事業(省エネ設備導入促進事業)	H28 ～ H30	防犯灯に環境負荷の少ないLED照明を整備し、二酸化炭素排出量の抑制を図る。	・二酸化炭素排出削減量 6.191t-CO2/年	・二酸化炭素排出削減量 1.803t-CO2/年	未
13 大宜味村	4 ①	カラキ活用推進プロジェクト	H28 ～ R1	カラキを活用し、村内事業者の売上げ増に繋げるため、苗木の増殖実験・商品開発等を行う。	・挿し木8,000本の完了 ・成分分析(乾燥葉・粉末)の完了 ・市場調査の完了 ・商品の開発 1品	・挿し木8,000本の完了 ・成分分析(乾燥葉・粉末)の完了 ・市場調査の完了 ・商品の開発 1品	◎
13 大宜味村	5 ①	大宜味村幼保連携型総合施設整備事業	H28 ～ R1	働く保護者等の子育て支援の充実を図るため、幼保連携型総合施設を整備する。	・令和2年度の施設開園に向けた事業の着実な実施(実施設計業務の完了)	・令和2年度の施設開園に向けた事業の着実な実施(実施設計業務の完了)	◎
13 大宜味村	6 ①	消防救助艇及び資機材搬送車整備事業	H30	住民や観光客等の安全を確保するため、国頭地区消防本部に消防救助艇及び資機材搬送車を整備する。	・消防救助艇及び資機材搬送車の整備	・消防救助艇及び資機材搬送車の整備	◎
14 東村	1 ①	東村の魅力PR事業	H26 ～ H30	フリーペーパーの作成・配布や、東村の魅力を県内外でPRすることにより、本村への観光誘客に繋げる。	村内入域観光客数316,000人以上	350,024人	◎
14 東村	②	東村つつじ祭り強化事業	H27 ～ R1	本村の一大イベントである東村つつじ祭りを充実させ、つつじ園内のライトアップやイベントを行なうことにより、観光振興に繋げる。	・来園者数 42,000人	35,106人	○
14 東村	③	東村村民の森(つつじ園・エコパーク)施設機能強化整備事業	H27 ～ R2	「東村村民の森基本計画」を元に、観光誘客に繋げる取組みとして、つつじ園内に観覧施設を整備する。	観覧施設実施設計業務の作成完了	実施設計業務の作成完了	◎
14 東村	④	東村企業研修プログラム構築事業	H29 ～ R1	企業研修の誘致を図るため、つつじエコパーク内にあるPA(プロジェクトアドベンチャー:冒険教育)施設を企業研修向けに商品開発を行う。	モデルプログラム構築の完了	報告書作成完了	◎

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
14 東村	2 ①	特別支援教育支援員配置事業	H27 ～ R3	教育上、特別な支援を必要とする幼児並びに児童生徒が円滑な学校生活を送れるように、在籍する幼稚園並びに小中学校において特別支援教育支援員を配置し、適切な学習環境を保持する。	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる幼児並びに児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	80%	◎
14 東村	3 ①	産業支援住宅整備事業	H29 ～ R1	本村における第1次産業従事者を確保するため、宮城地区において産業支援住宅を整備する。	産業支援住宅の建築実施設計及び敷地造成外構整備設計の作成完了	設計書作成完了	◎
14 東村	4 ①	避難経路整備事業	H30 ～ R1	地震・津波災害の対策における住民や観光客等の安心安全を確保するため、避難経路を整備する。	実施設計書の作成完了	実施設計書の作成完了	◎
14 東村	②	消防救助艇及び資機材搬送車整備事業	H30	水難事故等による住民や観光客等の安全を確保するため、消防救助艇及び資機材搬送車を国頭地区消防本部へ整備する。	消防救助艇及び資機材搬送車の整備	消防救助艇 1台 資機材搬送車1台	◎
15 今帰仁村	1 ①	人材育成事業	H24 ～ R3	南国沖縄県にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」である。そこで、子どもたちの視野を広げることを目的として、山形県酒田市の児童生徒と文化交流学会等の交流事業を行う。	交流を通じて児童生徒の他文化に対する視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	交流を通じて児童生徒の他文化に対する視野が広がったかについて肯定的な回答 80%	◎
15 今帰仁村	②	教育環境充実事業	H25 ～ R3	学力の向上を図るため学習支援員を配置する。また、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため特別支援員を配置する。	・沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 ①小学生 -2.4ポイント以上 ②中学生 -4.0ポイント以上 ・対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	・沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 ①小学生 +2.0ポイント ②中学生 -10.0ポイント ・対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたかについて肯定的な回答 75%	○
15 今帰仁村	③	中高生海外語学留学支援事業	H25 ～ R3	海外でのホームステイ等を通じ、外国文化の交流を行うことで、国際的な広い視野を持つ人材育成を図る。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったかについて肯定的な回答 80%	◎

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
15 今帰仁村	④	児童生徒等の県外派遣事業	H25 ～ R3	県外の人との競争や交流の機会を増やし児童生徒の視野を広げるため、村内児童生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣の費用を支援する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったかについて肯定的な回答90%	◎
15 今帰仁村	2 ①	環境保全美化推進事業	H24 ～ R3	観光地として魅力的な景観形成を図る為、観光地及び観光ルートの美化を行う。	今帰仁城跡及び観光地等の美化を行い、観光地として魅力的な景観が確保されているか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	今帰仁城跡及び観光地等の美化を行い、観光地として魅力的な景観が確保されているかについて肯定的な回答 84%	◎
15 今帰仁村	②	観光力基盤強化事業	H24 ～ R3	観光誘客を図る為、村内で実施するイベントを支援する。	・現代版組踊「北山の風」来場数:1,400人 ・古宇利ハーフマラソン村外からのエントリー者数:3,440人 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数:45,000人 ・今帰仁まつり来場者:10,300人 ・今帰仁ハーリー大会参加者数:780人 ・三村交流事業来場者:1,100人	・現代版組踊「北山の風」来場数:1,145人 ・古宇利ハーフマラソン村外からのエントリー者数:3,470人 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数:52,059人 ・今帰仁まつり来場者:10,300人 ・今帰仁ハーリー大会参加者数:台風中止 ・三村交流事業来場者:1,100人	○
15 今帰仁村	③	観光地安全強化事業	H24 ～ R3	今帰仁城跡に入場するためには券売所から村道を渡らないと入場できず、繁忙期にはレンタカーが増加するため危険な状況である。そのため、観光客が安全かつスムーズに入場することを目的として、交通整理員を配置する。	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件。	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件。	◎
15 今帰仁村	④	今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24 ～ R3	魅力的な景観形成を図る為、河川全体の自然環境を最大限に活かし、景観に配慮した河川を整備を行う。	全体計画における4.7%整備(累積整備率38.9%)	全体計画における3.2%整備(累積整備率37.6%)	○
15 今帰仁村	⑤	今帰仁城跡ガイド強化事業	H25 ～ R3	今帰仁村には世界遺産・今帰仁城跡が所在し、今帰仁グスクを学ぶ会によって来城者に無料の案内ガイドが行われている。そこで、更なる観光誘客につなげることを目的として、研修等による学ぶ会の強化を行う。	ガイドによる案内者数 12,200名	ガイドによる案内者数 13,614名	◎
15 今帰仁村	⑥	景観形成強化事業	H24 ～ R3	魅力的な景観形成を図る為、観光アクセスルート且つ、村の昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備を行う。	道路整備完了。	道路整備完了。	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
15 今帰仁村	⑦	今帰仁城跡関連施設サイン等設置事業	H30 ～ R1	外国人観光客の利便性を確保する為、案内板の設置や、今帰仁城跡駐車場の区画線を引く等、受け入れ環境の整備を行う。	駐車場誘導看板作製完了。	駐車場誘導看板作製完了。	◎
15 今帰仁村	⑧	今帰仁村観光リゾート振興計画	H30	観光振興を図る為、今帰仁村の観光の現状や課題の分析などを行い、観光振興事業の指針となる今帰仁村観光リゾート振興計画を策定する。	H30観光振興計画策定の完了。	H30観光振興計画策定の完了。	◎
15 今帰仁村	⑨	多言語ガイドブック等作成事業	H30	外国人観光客の利便性の確保を図る為、多言語に対応できる充実した観光案内パンフレット及び観光マップ、PRポスターを作成する。	・多言語観光ガイドブックの作成 ・多言語観光マップの作成 ・観光資源PRポスターの作成	・多言語観光ガイドブックの作成 ・多言語観光マップの作成見送り ・観光資源PRポスターの作成見送り	△
15 今帰仁村	3 ①	今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業	H26 ～ R3	安定した素牛生産地の確立に向け、素牛のブランド化を推進するため、優良繁殖雌牛を導入する際に支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合109%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合111%以上	◎
15 今帰仁村	4 ①	幼保連携一体化施設整備事業	H27 ～ H30	村の待機児童の解消を図る為、幼保連携一体化施設を整備する。	建築及び外構工事の完了。	-	繰
16 本部町	1 ①	花いっぱい運動の推進事業	H24 ～ R3	観光地としての魅力的な景観形成を図るため、国道及び県道沿い等に花木の植付を行う。	観光地として魅力的であると感じる人の割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を観光客を対象としたアンケートで検証する。	観光地として魅力的であると感じる人の割合97%	◎
16 本部町	②	ハブ咬傷防止事業	H25 ～ R3	タイワンハブ等捕獲器設置・回収を行うことにより、個体数の減少及び拡大する生息域の抑制を図り、地域住民や観光客の咬傷事件を予防し、安全・安心な観光地づくりを目指す。	ハブによる咬傷被害件数0件	ハブによる咬傷被害件数0件	◎
16 本部町	③	伝統興行観光化事業	H25 ～ R3	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」を観光資源として活用するため、ナイター闘牛や闘山羊大会を定期開催する。	闘牛・闘山羊大会来場者数:800人	・闘牛・闘山羊大会来場者数:768人	○
16 本部町	④	八重岳観光拠点整備事業	H25 ～ H30	日本一早い桜まつりとして有名な八重岳には毎年多くの観光客が訪れており、今後も本町の主要観光拠点として活用するため、親水性護岸整備を行う。	H30年度桜まつり来場者数160,000人以上	H30年度桜まつり来場者数127,699人	○

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
16 本部町	⑤	本部町観光振興基本計画策定事業	H30 ～ R1	本町の観光振興を推進するため、これまでの施策の検証を行うとともに、町の観光振興の指針となる観光振興基本計画を策定する。	観光振興基本計画策定に向けた検証の完了	観光振興基本計画策定に向けた検証完了	◎
16 本部町	2 ①	園芸農業防災施設整備事業	H24 ～ R1	沖縄県では台風の襲来や病害虫の発生により農作物の被害が大きく、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、農業者等で組織する団体へ補助金を交付し、台風対策用のハウス等の施設の導入を行い、農業生産物の出荷量向上を図る。	強化型パイプハウス設置の完了	強化型パイプハウス設置完了	◎
16 本部町	②	もとぶブランド牛基盤づくり支援事業	H25 ～ R3	もとぶ牛ブランドの基盤創出のため優良母牛導入の支援を行い、繁殖生産基盤の拡充、強化を図る。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 107%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 108%	◎
16 本部町	③	メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	H28 ～ R3	特産品取扱事業者に対する物産展等への出展支援、販売支援員の配置等を行い、町特産品の販路開拓・拡大を図る。	新規取引契約数 10件以上	新規取引契約数 11件	◎
16 本部町	④	もとぶ産業クラスター形成事業	H29 ～ R1	町内特産品製造事業者に、特産品開発に係る助言や製造機械の導入の支援を行い、売上の向上を図る。	①ピーリングジェル販売額: 5,040千円 ②絹ごしマーマレード等販売額: 518千円 ③ブレンドティー等販売額: 1,080千円 ④シークワサーだいふく等販売額: 1,312千円 ⑤エーシーシャンプー等販売額: 2,036千円 ⑥シークワサーあまざけソルベ販売額: 525千円	①ピーリングジェル販売額: 1,372千円 ②絹ごしマーマレード等販売額: 996千円 ③ブレンドティー等販売額: 922千円 ④シークワサーだいふく等販売額: 93千円 ⑤エーシーシャンプー等販売額: 950千円 ⑥シークワサーあまざけソルベ販売額: 264千円	△
16 本部町	3 ①	本部型就業意識向上支援事業	H29 ～ R1	町内小中高校生の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、インターンシップ等を行い、町内産業への理解や興味を深めてもらう。	小中高生へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	小中高生へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いたについて肯定的な回答 94.9%	◎
16 本部町	4 ①	本部町学力向上学習支援事業	H26 ～ R3	町内小中学校に学習支援員を配置し、国語、算数、数学、英語及びその他の主要教科において、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、学力の向上を図る。	平成30年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -4.6ポイント以上 中学校 -2.5ポイント以上	平成30年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -4.06ポイント 中学校 -5.57ポイント	△

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
16 本部町	②	本部っ子短期留学チャレンジ事業	H27 ～ R3	町内の中高生を英語圏(アメリカ・ワシントン州)へ派遣し、海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野をもつ人材を育成する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合100%	◎
16 本部町	③	学校ICT機器整備事業	H28 ～ H30	町内小中学校へのICT環境整備(無線LANの環境整備、タブレットPCなどのICT機器整備)及びICT支援員の配置により、ICT機器を活用した分かりやすい授業を展開することで、学校教育の質の確保を図る。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合 77% ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合 95%	○
16 本部町	④	特別支援教育環境充実事業	H28 ～ R3	特別な支援を要する幼児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、個々に応じた適切な支援を行うことにより対象児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。	園児児童生徒の保護者へのアンケートで、支援員等を配置することにより、対象児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	園児児童生徒の保護者へのアンケートで、支援員等を配置することにより、対象児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善が図られたかについて肯定的な回答 81%	◎
16 本部町	5 ①	赤土流出防止検討調査事業	H24 ～ R1	本町をはじめ沖縄県内で以前から問題とされている海洋への土壌流出について、その発生源に対する対策を実施し、赤土流出を軽減することで環境保全を図る。	長田川砂防ダム堆積土浚渫量 V=3,688.9m <sup>3</sup>	長田川砂防ダム堆積土浚渫量 V=3,317.9m <sup>3</sup>	○
16 本部町	6 ①	本部町配水安定化事業	H29 ～ H30	水道管理センターの停電による断水をなくし安定的な水の供給を行うため、非常用電源設備を設置する。	非常用電源設備の設置完了。	非常用電源設備の設置完了。	◎
16 本部町	②	防災施設機能強化整備事業	H29 ～ R1	地震津波発生時に住民や観光客を迅速に避難させるため、緊急避難路を整備し、防災力の向上を図る。	・実施設計の完了 ・用地買収の完了	-	繰
17 恩納村	1 ①	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	H24 ～ R3	外来種のタイワンハブやタイワンスジオが観光客の多く訪れる真栄田岬や国頭方西海道(歴史の道)等の周辺においてハブが多く出没しているため、その周辺を重点区域とし積極的に駆除し、地域住民や観光客の咬症被害防止を図る。	・捕獲器設置周辺における咬傷被害件数:0件	・捕獲器設置周辺における咬傷被害件数:0件	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
17 恩納村	②	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業	H24 ～ R3	各種イベントやプロモーション活動を実施することで、観光誘客を図る。また村の観光案内所である文化情報センターへ観光案内人の配置を行うことで、利便性を確保する。	・宿泊客数:276万人 ・イベント来場者数:15,000人以上 ・観光案内所の利用により村内観光の利便性が確保されたかについて利用者を対象としたアンケートを実施:80%以上 アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。	・宿泊客数:284万人 ・イベント来場者数:10,000人 ・観光案内所の利用により村内観光の利便性が確保されたかについて、利用者からの肯定的な回答:88%	○
17 恩納村	⑥	万座毛周辺活性化施設整備事業	H24 ～ R1	万座毛へ来訪する観光客の増加を図るため、休憩所や地域の特産品販売所、展望台等の機能を有した観光拠点施設及び駐車場を整備する。今年度は駐車場整備工事、建築及び外構工事を行う。	・第1駐車場(路盤工まで)の完成 ・第2駐車場の完成 ・建築工事の進捗10%	-	繰
17 恩納村	⑦	あしびなー施設整備事業	H29 ～ R2	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、観光交流施設を整備する。今年度は建築基本設計を行う。	・基本設計の完了	・基本設計を完了した	◎
17 恩納村	2 ①	恩納通信所跡地活用基盤整備事業	H28 ～ R2	恩納通信所跡地において、跡地の活用促進のため浸水被害の防止を図るべく、基盤整備を実施する。今年度は排水路の整備を行う。	・排水路河口部(240m)の完成	排水路河口部(242m)の完成	◎
17 恩納村	3 ①	恩納村国際交流人材育成事業	H29 ～ H30	移住に関する歴史の伝承や村出身子弟等(ウンナンチュ)との絆を深めるとともに、国際交流の促進、諸外国との懸け橋となる人材を育成するため、研修生の派遣及び受入を実施する。	・受け入れた研修生が、沖縄の文化や歴史により興味を持ったかについてのアンケートを実施:80%以上 アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。 ・派遣した研修生が、海外の子弟と交流することによって派遣先の文化や歴史に興味を持ったかについてのアンケートを実施:80%以上 アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。	・受け入れた研修生が、沖縄の文化や歴史により興味を持ったかについて、肯定的な回答:100% ・派遣した研修生が、海外の子弟と交流することによって派遣先の文化や歴史に興味を持ったかについて、肯定的な回答:100%	◎

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
17 恩納村	4 ①	特別支援教育支援員配置事業	H29 ～ R3	恩納村立幼小中学校に在籍する何らかの支援を要する児童生徒に対し支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	・特別支援員の対応について、保護者等を対象にアンケートを実施： 学校生活や学習上の困難の改善が図られた等の肯定的な回答80%以上 アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。	・特別支援員の対応について、学校生活や学習上の困難の改善が図られたかについて、保護者等からの肯定的な回答92.8%	◎
18 宜野座村	1 ①	阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24 ～ R3	阪神春季キャンプ受入による観光誘客を図るため、野球場仮設ブルベンの設置やグラウンド黒土搬入等を行う。	・阪神春季キャンプ見学者数(85,000人)	・阪神春季キャンプ見学者数 100,100人	◎
18 宜野座村	②	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24 ～ R3	村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保及び、村外からの誘客を図るため、宜野座村文化センターがらまんホールを中心に芸能文化・伝統芸能公演等を実施する。	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数(3,000名以上) ・お出かけ公演実対象者数(5,000名以上)	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数 13,990人 ・お出かけ公演実対象者数 6,032人	◎
18 宜野座村	③	宜野座村着地型観光誘客推進事業	H25 ～ R3	宜野座村への観光誘客を図り、着地型観光を推進するため、観光誘客プロモーション活動や年間を通じたイベントの開催等を行う。	村内観光入域者数24万人以上	村内観光入域者数 27万人	◎
18 宜野座村	④	宜野座村美ら島花火大会	H28 ～ R1	地域特性を活かしたイベントや事業実施により、村の観光振興を目指すため、秋の行楽シーズン、宜野座村や近隣市町村を訪れている観光客に対し、宜野座村の観光資源である、プロ野球阪神タイガースのキャンプ施設等のある農村公園を中心に、花火大会やステージイベントを開催し観光振興を図る。	美ら島花火大会集客数(10,000人/2日間)	美ら島花火大会集客数(13,000人/2日間)	◎
18 宜野座村	⑤	パークゴルフ場施設機能強化事業	H30	観光誘客及び住民福祉の向上を図るため、パークゴルフ場の灌水設備及び放送設備の整備を行う。	・受水槽・散水栓整備完了 ・放送設備整備完了	・受水槽・散水栓整備完了 ・放送設備整備完了	◎
18 宜野座村	2 ①	小学校学力向上対策事業	H24 ～ R3	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を小学校に配置し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) 小学校3年・4年・5年・6年(算数)	沖縄県学力到達度調査平均正答率 3年算数(-4.2) 4年算数(-1.6) 5年算数(-1.8) 6年算数(-1.5)	未

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
18 宜野座村	②	中学校学力向上対策事業	H24 ～ R3	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながらチームティーチングによる指導を行い、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を中学校に配置するため、生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) 中学校2年(国語、数学、英語、理科、社会)	沖縄県学力到達度調査平均正答率 中2国語(8.7) 中2数学(9.9) 中2英語(9.8) 中2理科(8.4) 中2社会(4.4)	◎
18 宜野座村	③	幼稚園預かり保育事業	H24 ～ R3	保護者が安心・安全に子どもを預け育児における負担感の軽減を図るため、各幼稚園に担当職員を配置し、預かり保育を実施する。	安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、対象となる幼児の保護者へのアンケートで事業のあり方を検証する。	安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた保護者の割合 100%	◎
18 宜野座村	④	宜野座村ジュニア海外語学研修派遣事業	H28 ～ R3	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休み期間中に村内の中・高校生6名を英語圏へ派遣する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと回答した割合 83%	◎
18 宜野座村	3 ①	有機の里宜野座村確立事業	H24 ～ R3	有機の里宜野座村を目指し、沖縄県環境保全型農業推進協議会の認証を受けたエコファーマーの増加並びにエコ農産物の販売量の拡大を図るため、減農薬や、減化学肥料による環境保全型農業を推進する。	①エコファーマーの認定者数 2名 ②エコ農産物販売目標130t	①エコファーマーの認定者数 2名 ②エコ農産物販売目標 101t	○
18 宜野座村	②	農業用観光施設モデル整備事業	H28 ～ R1	県内外から多くのイチゴ狩り来客者を受け入れることで、観光型農業による本村観光の振興を図るため、イチゴ用ハウス及び作業棟の整備を行う。	H30/31年 イチゴ狩り来客者 5,300名	イチゴ狩り来場者数 5,673名	◎
18 宜野座村	③	さとうきび営農指導委託事業	H28 ～ R2	本村の基幹作物であるさとうきびの増産を図るため、営農指導員による管理作業や営農指導等を行う。また、担い手を確保し、講習会を実施する。	平成30年生産量5,264t以上	平成30年生産量 5,103t	○
18 宜野座村	4 ①	観光景観向上対策事業	H27 ～ R3	観光地の景観向上を図るため、監視カメラを設置及び観光ルートに専属の監視員を配置し、観光地に放置された不法投棄物の撤去を実施する。	観光地における不法投棄の減少:10件/年	観光地における不法投棄の減少:2件/年	◎
18 宜野座村	②	危険生物駆除捕獲事業	H27 ～ R3	観光客や修学旅行生等の安全を確保することを目的とし、咬傷事故等を未然に防ぐため、捕獲器の設置や観光地のパトロールを実施する。	観光地におけるハブの咬傷被害件数:0件	観光地におけるハブの咬傷被害件数:0件	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
18 宜野座村	5 ①	宜野座村企業誘致推進事業	H28 ～ R3	企業の誘致を図るため、企業の求める就労支援、広報普及活動、企業誘致活動等を行う。	・企業誘致ブース来場者:200名 ・招聘ツアー参加者:20人	・企業誘致ブース来場者:200名 ・招聘ツアー参加者:20人	◎
18 宜野座村	6 ①	世界のギノザンチュ子弟研修生受入事業	H29 ～ R3	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、宜野座村出身の海外移住者子弟を受け入れ、研修及び、村民との交流を行う。	受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する	受入れた研修生のうち沖縄の文化や歴史により興味を持ったと回答した割合 100%	◎
19 金武町	1 ①	パークゴルフ場整備事業	H28 ～ R1	金武町にパークゴルフ場を整備し、観光誘客と地域住民の福祉の向上を図る。	土木工事の完了	-	繰
19 金武町	②	プロスポーツ受入事業	H28 ～ R3	プロスポーツキャンプの継続受け入れを図るため、体育施設の芝管理等を行う。	プロチームキャンプの受入 4チーム以上	プロチームキャンプの受入 5チーム	◎
19 金武町	③	金武町フットボールセンター機能強化事業	H30	施設の利便性を向上させることにより、プロサッカーチームのキャンプ及びより大規模な大会を受け入れ、町の観光やスポーツの振興を図る。	観覧席整備工事の完了	-	繰
19 金武町	④	金武町魅力PR事業	H30	観光誘客及び通過型観光客の金武町周遊を図るためパンフレットを作成・活用し、金武町の魅力をPRする。	パンフレットの作成・配布完了	パンフレットの作成・配布完了	◎
19 金武町	2 ①	金武町優良繁殖雌牛導入事業	H27 ～ R1	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 約107%	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 約104%	未
19 金武町	3 ①	金武町就職活動支援補助事業	H27 ～ R1	雇用の拡大を図るため、求職者に対する職業相談等を行う。また、児童生徒の職業意識の向上を図るため、キャリア教育を行う。	・就業率10.7%以上 ・キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	・就業率10.8% ・キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか94.6%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
19 金武町	4 ①	小中学校学習等支援事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力(英語)の向上を図るため、日本人英語指導員・外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置する。	・小学校 児童英検(ブロンズ)において、全国平均との平均正答率の差-4%以上  ・中学校 英語検定3級において、校内受験者数の合格率23.5%以上	・小学校 児童英検(ブロンズ)において、全国平均との平均正答率の差2.3%  ・中学校 英語検定3級において、校内受験者数の合格率22.3%	△
19 金武町	②	幼稚園預かり保育事業	H24 ～ R3	保護者の育児における負担感の軽減を図るため、預かり保育を実施する。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか90%	◎
19 金武町	③	特別支援教育支援事業	H24 ～ R3	特別な支援を要する幼児・児童・生徒の学習、学校生活等における困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員を配置したことにより学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員を配置したことにより学校生活や学習上の困難が改善されたか86%	◎
19 金武町	5 ①	金武町海外移住者子弟等受入事業	H29 ～ R3	海外と本町を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、海外移住者子弟等研修生を受け入れる。	受入れた研修生へのアンケートで、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	受入れた研修生へのアンケートで、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか100%	◎
19 金武町	②	金武町移民の日記念事業	H29 ～ R3	本町の移民の歴史を継承するため、顕彰式等を実施する。	参加者に対するアンケートで、移民の歴史に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	参加者に対するアンケートで、移民の歴史に対する理解が深まったか88%	◎
19 金武町	6 ①	「金武町の偉人及び民話」絵本化事業	H29 ～ R1	町出身の偉人の功績や町の歴史、文化、精神を後世へ継承するため、金武町の偉人及び民話を絵本化する。	町内小学校の4年生から6年生へのアンケートで、絵本の内容について理解できたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	町内小学校の4年生から6年生へのアンケートで、絵本の内容について理解できたか91%	◎
20 伊江村	1	伊江村ハブ対策事業	H27 ～ R2	本村に生息するハブによる健康被害から、村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿いの清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。	・ハブ咬傷による被害件数0件	・ハブ咬傷による被害件数1件	未
20 伊江村	2	離島定住環境基盤整備事業	H30 ～ R1	村民が安心・安全に日常生活必需品等の荷捌きを実施できる施設を整備する。	・荷捌き施設の設計及び基礎工事の完了	-	繰

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
20 伊江村	3	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26 ～ R3	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。このため、自動車航送コスト負担軽減の助成を行う。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたかについて、村民からの肯定的な回答:80%	◎
20 伊江村	4	優良繁殖雌牛導入事業	H26 ～ H30	農家の所得向上に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合115%以上	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合116.3%	◎
20 伊江村	5 1	村花・世界のゆり植栽推進事業	H24 ～ R2	村花であるテッポウユリと世界のゆり球根を植栽し、花の島づくりを推進することで、観光誘客を図る。	・伊江島ゆり祭り来場者数31,000人	・伊江島ゆり祭り来場者数30,000人	○
20 伊江村	2	観光地クリーン事業	H27 ～ R2	観光地の環境美化及び保全をし、観光地の景観形成と観光客の受け入れ態勢を強化する。	・魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・魅力的な観光地としての景観形成が図られたかについて、肯定的な回答:100%	◎
20 伊江村	3	伊江村観光危機管理計画策定事業	H30	本村に訪れた観光客が災害時、安全に避難することが出来るよう計画を策定し、観光客の受入体制の強化に努める。	・伊江村観光危機管理計画の策定完了	・伊江村観光危機管理計画の策定を完了した	◎
20 伊江村	4	地域認知度向上支援事業	H30	伊江村の認知度向上を図るため、本村独自の観光媒体や伊江島イメージキャラクター等を認知度向上戦略の一助として活用し、観光振興に繋げる。	・イメージキャラクターにより村の認知度が向上したか(80%以上)を含め、観光客等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・イメージキャラクターにより村の認知度が向上したかについて、観光客等からの肯定的な回答:78%	○
20 伊江村	5	アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業	H29 ～ H30	アジア諸国と、3市村(南城市、伊江村、渡嘉敷村)の中・高校生が、豊かな自然や歴史、文化などの地域資源に恵まれた環境の沖縄で共に生活しながら地域の課題に取り組み、体験交流を深める中で、国や文化を越えた友情を育み、多種多様な文化や社会、考え方があることを直に学ぶ機会を設けることで、国際的な広い視野を持たせる。	・生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	・生徒の国際的な視野がより広まったと感じたかについて、保護者からの肯定的な回答:93%	◎
20 伊江村	6	観光客誘客環境整備事業	H26 ～ R3	伊江村にある主要観光施設であるリリーフィールド公園の機能拡充を実施し、観光客の満足度向上等による観光誘客を図る。	リリーフィールド公園整備工事の完了(駐車場・便益施設)	リリーフィールド公園整備工事を完了した(駐車場・便益施設)	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
20 伊江村	6 1	確かな学力を育む学習支援員配置事業	H25 ～ R3	学習支援員等を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 5ポイント以上 中学校 3ポイント以上	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 県平均正答率との差 ○小学校3年 国語:-4.6ポイント 算数:-2.9ポイント ○小学校4年 算数:-1.8ポイント ○小学校5年 国語:-4.1ポイント 算数:-4.4ポイント 理科:-14ポイント ○小学校6年 算数:+11.9ポイント ○中学校1年 数学:-6.8ポイント ○中学校2年 国語:-3.7ポイント 社会:-5.8ポイント 数学:-1.5ポイント 理科:-0.3ポイント 英語:-0.8ポイント	△
20 伊江村	2	各種大会派遣費助成事業	H25 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、本村の児童生徒のスポーツ、文化活動において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。	・対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	・アンケート未実施	未
20 伊江村	7	伊江村型就業意識向上支援事業	H28 ～ R3	中学を卒業と同時に親元を離れ、島から旅立つ子ども達のため、早い段階からジョブシャドウイングや職業人講話等を実施し、就業意識の向上を図る。	・就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・就業意識が向上したかについて、イベントに参加した児童生徒からの肯定的な回答: 98%	◎
20 伊江村	8	伊江村文化等発信拠点施設機能強化事業	H30	質の高い文化芸術公演に触れる機会の確保を図るため、伊江島はにくすにホール施設の音響設備の機能強化を図る。	・伊江島はにくすにホール音響設備の整備完了	・伊江島はにくすにホール音響設備の整備を完了した	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
20 伊江村	9	伊江村多目的交流センター整備事業	H30 ～ R2	伊江村多目的交流センターの基本構想を策定し、施設に求められる役割や導入機能及び必要規模等の整理や村内の合意形成等を図る事によって、本村の推進するスポーツコンベンションを推進し、合宿や教育旅行民泊の受入れ人数の増加を図る。	・施設整備に向けた事業手法の決定(PFI等) ・施設規模の決定 ・事業スケジュールの決定	・施設整備に向けた事業手法を決定した ・施設規模を決定した ・事業スケジュールを決定した	◎
20 伊江村	10	① 水産物高付加価値化推進事業	H30	伊江村で水揚げされる魚類を中心に鮮度保持向上を目的に、荷捌き施設や漁船等(貸出)にNANOバブル発生装置を整備し、付加価値を付けた出荷や販路拡大を図る。	NANOバブル発生装置一式の整備完了	NANOバブル発生装置一式の整備を完了した	◎
20 伊江村		② 離島における陸上養殖可能性調査事業	H30 ～ R2	伊江村の漁業振興に向けて、これまで夏場の海水温の上昇等により栽培ができなかった海藻養殖等に着目し、産学官連携により伊江島琉球石灰岩地層の地下海水を汲み上げ、新たなろ過海水による陸上養殖事業として、海藻養殖等の事業化に向けた海水調査事業を実施する。	調査結果報告書作成	調査結果報告書を作成した	◎
20 伊江村		③ 伊江村観光漁業コンテンツ開発事業	H30 ～ R3	伊江村魚類養殖場を活用した、新たな観光漁業のコンテンツ導入を図り、豊かな資源を活用した漁業振興の向上を図る目的として基本計画を策定する。	基本計画策定	基本計画を策定した	◎
21 読谷村	1	① 読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業	H24 ～ R3	スポーツキャンプ等の誘致を図るため、誘致活動を実施する。キャンプチームの本拠地で観光PRイベントを行うことで本村の認知度向上を図る。キャンプと同時期にイベントを行うことで、来場者数の増を図る。	・スポーツコンベンション誘致件数 21件以上 ・イベント観客数80,000人以上 ・キャンプ期間中の来場者数 16,532人以上	・スポーツコンベンション誘致件数 28件 ・イベント観客数77,371人 ・キャンプ期間中の来場者数 35,400人	○
21 読谷村		② 危険生物駆除事業	H25 ～ R3	村民や観光客の安全を確保するため、ハブの捕獲及び駆除等を行う。	・村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:0件	・村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:1件	未
21 読谷村		③ ヨミタンJOHO発信事業(読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業)	H25 ～ R3	本村の認知度向上を図るため、観光情報番組よみたんラジオを放送する。	メール受信件数:1419件	メール受信件数:911件	未
21 読谷村		④ (仮称)読谷村パークゴルフ場整備事業	H28 ～ H30	パークゴルフ場を整備し、観光誘客と地域住民の福祉の向上を図る。	建築工事の完了	建築工事の完了	◎

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
21 読谷村	⑤	読谷に一びち観光客誘致プロジェクト事業	H28 ～ R3	リゾートウェディングを目的とする観光客を誘致するため、国内外でプロモーションを実施する。	リゾートウェディング数 2,546組	リゾートウェディング数 2,199組	○
21 読谷村	⑥	川回る広場整備事業	H30 ～ R1	ソフトボール競技の公式戦及びキャンプの誘致を図るため、川回る広場を整備する。	実施設計の完了	実施設計の完了	◎
21 読谷村	⑦	読谷村陸上競技場北側植栽整備事業	H30	スポーツキャンプの誘致のため、北風対策として読谷村陸上競技場北側に植栽を整備する。	実施設計の完了	実施設計の完了	◎
21 読谷村	⑧	スポーツコンベンション誘致促進事業(設備等強化事業)	H26 ～ H30	スポーツキャンプの誘致のため、スポーツ設備の整備を行う。	スポーツキャンプ誘致数 21件以上	スポーツキャンプ誘致数 26件以上	◎
21 読谷村	2 ①	日本語教育支援員配置事業	H24 ～ R3	二重国籍や外国籍児童等、日本語を習得していない児童に対し、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、日本語教育支援員を配置する。	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合80%以上	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合100%	◎
21 読谷村	②	小中学校学習支援員配置事業	H26 ～ R3	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(算数・数学)の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査における県と村の平均正答率の差 ①小学校3年生算数 1.7ポイント以上 ②中学校1年生数学 -2.5ポイント以上	沖縄県学力到達度調査における県と村の平均正答率の差 ①小学校3年生算数 -0.7ポイント以上 ②中学校1年生数学 6.9ポイント以上	△
21 読谷村	③	特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	対象となる児童生徒の保護者にアンケートを実施し、特別支援教育支援員の対応への満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証	対象となる児童生徒の保護者にアンケートを実施し、特別支援教育支援員の対応への満足したか(84%)	◎
21 読谷村	④	小学校ICT環境整備事業	H25 ～ H30	ICT機器活用により学校教育の質の確保を図るため、小学校に電子黒板を整備する。	児童へのアンケートで、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、電子黒板の活用のあり方について検証	児童へのアンケートで、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったか(97%)	◎
21 読谷村	⑤	小学校ICTパソコン教室機能強化事業	H26 ～ R1	児童生徒の情報端末操作技術の向上を図るため、小学校に学校教育用パソコンを整備する。	児童へのアンケートで、ICT機器を活用できたと感じたか(80%以上)を含め、ICT機器の活用のあり方を検証	児童へのアンケートで、ICT機器を活用できたと感じたか(67.9%)	○

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
21 読谷村	3	① 読谷補助飛行場「大木地区」廃棄物処理委託事業	H30	大木地区の土地区画整理事業を進捗させるため、廃棄物の処理を行う。	廃棄物処理(6,509m3)の完了	廃棄物処理(6,509m3)の完了	◎
21 読谷村	4	① ユンタンザフィールドミュージアム構築事業	H24 ～ H30	村の歴史・文化の継承と観光誘客を図るため、文化財ガイドマップの作成等を行う。	文化財ガイドマップ等を活用した地域散策参加者数 280人	文化財ガイドマップ等を活用した地域散策参加者数 327人	◎
21 読谷村		② 沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業	H25 ～ R3	沖縄語の保存継承を図るため、教材を制作する。	・教材(パンフレット)の作成完了 ・村内小中学校、自治会へ配布	・教材(パンフレット)の作成完了 ・村内小中学校、自治会へ配布完了	◎
21 読谷村		③ ユンタンザミュージアム駐車場整備基礎調査業務	H30	ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者のための駐車場を整備することにより、来訪者の利便性の確保を図る。	基礎調査の完了	基礎調査の完了	◎
21 読谷村	5	① 中学生海外ホームステイ派遣事業	H25 ～ R3	海外での生活や体験を通して国際的な視野を持つ人材を育成するため、中学生を英語圏に派遣する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(100%)	◎
21 読谷村	6	① 読谷村農業関係施設機能強化促進事業	H28 ～ H30	農産物の地産池消を図るため、読谷村農村女性の家の機能を強化する。	読谷村農村女性の家機能強化工事の完了	読谷村農村女性の家機能強化工事の完了	◎
21 読谷村	7	① 読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業	H26 ～ R3	本村の工芸品の周知とヤチムン等を活用した観光誘客を図るため、県外プロモーションを実施する。	・陶器市の来場者数 14,057人	・陶器市の来場者数 14,302人	◎
21 読谷村	8	① 低炭素社会構築事業	H30 ～ R1	既存の防犯灯に環境負荷の少ないLED照明を整備することで、温室効果ガス(CO2)の排出量の削減を図る。	防犯灯現況調査の完了	防犯灯現況調査の完了	◎
22 嘉手納町	1	① うたの日コンサート事業	H25 ～ H30	観光誘客を図るため、音楽イベント「うたの日コンサート」の開催に係る経費の一部を支援する。	来場者数:約8,260人以上	来場者数:7,000人	○

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
22 嘉手納町	③	屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業	H25 ～ R3	施設利用者の増加を図るため、地域振興施設の機能拡充(展望台及び広場の拡張、飲食物販施設の増築、駐車場整備等)に向けた実施設計を行う。	実施設計(その2)の完了	実施設計(その2)完了	◎
22 嘉手納町	2 ①	学習支援員配置事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力向上を図るため、教師と連携を図りながらチームティーチングを行うとともに、夏休み中に個別指導及び放課後の補習授業を行う学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差  小学校:-1.3ポイント以上 中学校:-3.7ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:-3.1ポイント 中学校:-8.6ポイント	未
22 嘉手納町	②	英語力強化事業	H24 ～ R3	小学校では英語に親しむ環境をつくり、中学校は実用的な英語を学ぶため、ネイティブスピーカーの英会話指導員(ALT)や英語指導員(中学校のみ)を配置し、児童生徒の英語への興味・関心を高めるとともに、英語学力の向上を図る。	①(小学校) 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人のアンケートにより、本事業のあり方を検証する。  ②(中学校) 英語検定3級以上の合格者45名以上  ③沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率(英語)の差-2.8ポイント以上	①(小学校) 英語に対する興味・関心が高まったかについて肯定的な回答 76%  ②(中学校) 英語検定3級以上の合格者25名  ③沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率(英語)の差-1.7ポイント以上	○
22 嘉手納町	③	ICT活用事業	H24 ～ R3	情報活用能力の育成や学校における情報化を推進するため、情報機器等の操作能力の向上を支援するICT支援員を配置することにより、教員のICT機器の習熟度向上及び学校教育の質を確保する。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、アンケートにより効果を検証する。  教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合(80%以上)を含め、アンケートにより効果を検証する。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合 86%  教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合 96%	◎
22 嘉手納町	④	不登校対策生徒指導支援員配置事業	H24 ～ R3	特別な支援を要する不登校の生徒に対応した支援を行うことで不登校の改善を図るため、中学校へ生徒指導支援員を配置する。	不登校生徒復帰率:16.7%以上	不登校生徒復帰率:30%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
22 嘉手納町	⑤	スクールカウンセラー活用事業	H25 ～ R3	学校生活や学級集団への不適応や対人関係での問題が生じている児童生徒に対応するため、スクールカウンセラーを配置し、専門的な見地から児童・生徒、保護者、教師等との相談業務を行い、学校生活に適應できるよう支援する。	相談を受けた児童生徒の内、症状が改善したと判断した割合(68.7%)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	相談を受けた児童生徒の内、症状が改善したと判断した割合 66%	○
22 嘉手納町	⑥	秋田交流学習体験事業	H26 ～ H30	児童生徒が教育先進地である秋田県大館市の学習規律を学び、教師は指導方法や授業づくりについて学ぶため、交流学習体験を行う。また、秋田県の授業の実践や授業改善等の研修を行うため、大館市の教師を招聘し、秋田型授業のよさを理解し各学校の授業改善を図る。	①(派遣された児童生徒へのアンケート) ・学習規律を学ぶことができたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。 ②(研修会や報告会を受けた教師へのアンケート) ・授業環境の改善や指導法の工夫を行っていかうというスキル・意欲が身に付けられたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	①(派遣された児童生徒へのアンケート) ・学習規律を学ぶことができたかについて肯定的な回答 100% ②(研修会や報告会を受けた教師へのアンケート) ・授業環境の改善や指導法の工夫を行っていかうというスキル・意欲が身に付けられたかについて肯定的な回答 63.3%	○
22 嘉手納町	⑦	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R3	発達障害等による特別な支援を要する児童生徒に対し、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員(教育サポーター、介助員)を配置する。	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 85%	◎
22 嘉手納町	3 ①	廃棄物リサイクル事業	H25 ～ R3	ごみ処理施設及び最終処分場の長寿命化に向け、リサイクルを促進しながら町全体の美化を図るため、本町で排出されている草木を回収、チップ化し再資源化する。	草木の再資源化(チップ化)量 683t	草木の再資源化(チップ化)量 600t	○
22 嘉手納町	4 ①	食育まんが啓発推進事業	H26 ～ R1	健康的な食生活の情報を周知することで、町民の食生活の改善に対する意識の向上を図るため、食育まんがの制作および配布を行う。	アンケートを実施し、食生活の改善に対する意識の向上が図られたか(80%以上)を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケートを実施し、食生活の改善に対する意識の向上が図られたかについて肯定的な回答 86.8%	◎
22 嘉手納町	5 ①	避難施設防災機能強化整備事業	H25 ～ R1	防災機能強化として、非常食料の備蓄、生活必需品の備蓄、避難所設置応急対策備品等の導入及び備蓄倉庫の整備を行い、災害時の町内避難者や観光客等の食料及び飲料水等の確保を図る。	町内避難者及び観光客等の非常食料等備蓄率94%	町内避難者及び観光客等の非常食料等備蓄率94%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
22 嘉手納町	②	嘉手納町防災情報発信強化事業	H29 ～ R1	災害時において町民及び観光客等の安全の確保を図るため、屋外拡声装置を取り付けた防災無線子局を設置する他、放送室など親局機能を整備して防災無線システムをデジタル化に構築するための実施設計を策定する。	防災システムの実実施設計書の作成。	防災システムの実実施設計書の作成完了	◎
22 嘉手納町	6 ①	嘉手納町民俗資料館等基本計画事業	H30	本町の歴史文化の継承を図るため、嘉手納町民俗資料館等複合施設の建設に向け、基本計画を策定する。	嘉手納町民俗資料館等複合施設基本計画の策定完了	嘉手納町民俗資料館等複合施設基本計画の策定完了	◎
22 嘉手納町	②	嘉手納町民俗資料室収蔵品活用事業	H30	本町の歴史文化の継承を図るため、嘉手納町民俗資料室収蔵資料をデジタル化し、台帳を作成する。	嘉手納町民俗資料室収蔵品台帳の作成完了	嘉手納町民俗資料室収蔵品台帳の作成完了	◎
22 嘉手納町	7 ①	雇用促進事業	H25 ～ H30	就職相談窓口の開設及び就職支援セミナーを開催し、就労支援を行うことで、新規就労者の増加を図る。	相談者及び受講者の内、就職が決まった人数(割合): 5.7%以上	相談者及び受講者の内、就職が決まった人数(割合):5.9%	◎
22 嘉手納町	8 ①	嘉手納町公共施設等省エネ化推進事業	H30 ～ R3	CO2の排出量を削減するため、公共施設等の照明を環境負荷の少ないLED照明に切替える。また、公園施設等の照明器具をLED化するための実施設計を行う。	【嘉手納町総合福祉センター】 ・CO2排出削減量 33,747(kg-CO2/年)  【嘉手納町地区コミュニティセンターLED化事業】 ・CO2排出削減量 44,320(kg-CO2/年)  【公園施設等照明LED化推進事業】 ・公園施設等照明LED化推進工事実施設計の完了	【嘉手納町総合福祉センター】 ・CO2排出削減量 33,747(kg-CO2/年)  【嘉手納町地区コミュニティセンターLED化事業】 ・CO2排出削減量 44,320(kg-CO2/年)  【公園施設等照明LED化推進事業】 ・公園施設等照明LED化推進工事実施設計の完了	◎
23 北谷町	1 ①	北谷町観光物産プロモーション事業	H24 ～ R3	北谷町の知名度を一層向上させ、観光客の誘致を図るため、県外及び海外で観光プロモーション等を実施する。また、外国人観光客を誘致するため、多言語対応窓口の設置、多言語観光情報パンフレット等の製作等及び外国人観光客へのニーズ調査を実施する。	・観光情報センター利用者数57,440人以上(うち外国人利用者数40,910人以上)  ・外国人観光客ニーズ調査の完了	・観光情報センター利用者数74,514人(うち外国人利用者数49,532人)  ・外国人観光客ニーズ調査の完了	◎
23 北谷町	1 ②	コミュニティバス導入調査検討事業	H26 ～ H30	観光客や町内の交通弱者の利便性・回遊性の向上を図るため、町内観光施設や商業施設等を周遊するコミュニティバスの実証運行を行う。	バス利用者に利便性・回遊性の向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	回遊性の向上が図られた 77.3%	○

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
23 北谷町	2 ①	英語指導助手派遣事業	H24 ～ R3	小学校の児童生徒の英語への興味・関心を高めるため、全小学校に各校1名(計4名)の英語指導助手(AET)を派遣する。(小学校配置のAETは、隣接する幼稚園兼務。月1時間以上) また、中学校生徒の英語能力の向上を図るため、全中学校に各校1名(計2名)の英語指導助手(AET)を派遣する。	小学校:児童の英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 中学校:沖縄県学力到達度調査(英語、2月実施)の本町の平均正答率が、県の平均正答率との差△2.8%以内。	小学校:英語への興味・関心が高まったと回答した割合 79.7% 中学校:沖縄県学力到達度調査(英語、2月実施)の本町の平均正答率 県の平均正答率との差△1.2%	○
23 北谷町	2 ②	学力向上学習支援員派遣事業	H26 ～ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員を全小中学校に各校1名(計6名)配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査(算数・数学、2月実施)の本町の平均正答率が、県の平均正答率との差 小学校△1.8%以内 中学校0.2%以上	数学、2月実施)の本町の平均正答率が、県の平均正答率との差 小学校 0.7% 中学校 △0.8%	△
23 北谷町	2 ③	スクールソーシャルワーカー派遣事業	H26 ～ R3	児童生徒の問題行動(暴力、喫煙、家出等)の改善を図るため、スクールソーシャルワーカーを1名配置し、問題を抱える児童生徒に対応した支援を行う。	町立小中学校の問題行動(暴力、喫煙、家出等)件数 ・小学校 8件以内 ・中学校 19件以内	町立小中学校の問題行動(暴力、喫煙、家出等)件数 ・小学校 6件 ・中学校 11件	◎
23 北谷町	2 ④	北谷町ハワイ短期留学派遣事業	H25 ～ R3	海外での生活や体験を通して国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、本町の中高生をハワイへ短期留学させる。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた 100%	◎
23 北谷町	2 ⑤	北谷町電子黒板整備事業	H30	学校教育の質の確保や教員のICT機器の習熟を図るため、町内4小学校及び2中学校の普通教室、特別支援教室及び理科室へ電子黒板を整備し、動画、書き込み機能等を活用したわかりやすい授業を実践する。	電子黒板の整備完了	電子黒板の整備完了	◎
23 北谷町	3 ①	跡地利用推進事業	H24 ～ R3	今後返還が予定される駐留軍用地の有効かつ適切な跡地利用計画策定に向けた跡地利用推進調査及び地権者に対する説明会等を実施する。	・跡地利用基本構想の策定(キャンプ瑞慶覧倉庫地区)の完了 ・跡地利用基礎調査の完了(キャンプ瑞慶覧コリドー地区)	・跡地利用基本構想の策定(キャンプ瑞慶覧倉庫地区)の完了 ・跡地利用基礎調査の完了(キャンプ瑞慶覧コリドー地区)	◎
23 北谷町	4 ①	国際交流派遣事業	H30	海外と本町との繋がりを強めるため、ハワイへ町内無形文化財保存団体を派遣し、ハワイの県人会、町人会との交流会を実施する。	・交流会参加者へのアンケート 海外と本町との繋がりが強まったか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・交流会参加者数150人	・交流会参加者へのアンケート 海外と本町との繋がりが強まった 97% ・交流会参加者数 720人	◎

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
23 北谷町	5	① 北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業	H25 ～ R3	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な跡地利用を推進するため、基金を活用して特定駐留軍用地内の土地の先行取得を実施する。	特定事業の用に供する土地取得目標 3,543㎡(達成率約66%) ※達成率:先行取得目標面積(83,000㎡)に対する累積取得面積の割合	特定事業の用に供する土地取得面積 1,348㎡(達成率約63.7%) ※達成率:先行取得目標面積(83,000㎡)に対する累積取得面積の割合	未
24 北中城村	1	① あやかりの杜滞在型施設活用事業	H24 ～ R3	観光客誘客及び伝統文化等の継承を図るため、沖縄の自然を活かした野外活動や沖縄の伝統文化を体験できる事業を実施する。	・体験交流人数:390人	400人	◎
24 北中城村		② 北中城まつり活性化事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、伝統芸能プログラムを中心とした夏の「青年エイサー」、秋の「北中城しおさいまつり」、沖縄の温暖な気候を活かした冬場の「ひまわりin北中城」を開催する。	・青年エイサーまつり来場者数:6,600人 ・しおさいまつり来場者数:22,700人 ・ひまわりまつり来場者数:48,300人	・13,740人 ・9,160人 ・49,000人	○
24 北中城村		③ 観光誘客プロモーション事業	H26 ～ R3	村内への観光誘客を図るため、多言語観光案内業務や観光多言語案内冊子等の製作配布、観光イベントでのプロモーションを実施する。	・村内主要観光施設(中城城跡・中村家住宅)来場者数:158,000人	142,823人	○
24 北中城村		④ 公営墓地整備事業	H24 ～ R2	沖縄独特の墓地散在化の抑制と整理、景観的な配慮や住環境の改善を図るため、公営墓地用地取得及び進入路実施設計を実施する。	・用地取得の完了 ・公営墓地進入路実施設計の完了	・1,145.9㎡ ・実施設計の検討	○
24 北中城村		⑤ ライカム交差点交流オアシス整備事業	H28 ～ R1	本村の魅力を伝えられるような景観形成を図るため、ライカム交差点の道路残地を活用した交流スペースの整備を行う。	・オブジェ(13基)の設置完了	実施	◎
24 北中城村		⑥ 地域発信型映画制作事業	H29 ～ R1	村の伝統や文化、美しいロケーションのPRによる観光誘客を図るため、地域発信型映画を活用した観光プロモーションを行う。	・村内主要観光施設(中城城跡・中村家住宅)来場者数:158,000人	142,823人	○
24 北中城村		⑦ 観光情報インフラ整備推進事業	H28 ～ R3	村内を訪れる観光客からのニーズが高い通信環境の整備を促進し外国人観光客の利便性の確保を図るため、村内観光スポット等を訪れる観光客に対し、Wi-Fi及び付加サービスの提供、観光ポータルサイトの多言語機能を追加する。	・Wi-Fi認証ベース利用数:23,400件 ・利便性が確保されたか(80%以上)を含め、ポータルサイトを韓国語利用した外国人に対するアンケートで、本事業のあり方を検証する。	・78,455件 ・0%	△

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
24 北中城村	⑧	観光周遊バス実証事業	H30 ～ R3	大型商業施設と世界遺産中城城跡を周遊バスで結び、村内への観光誘客を図るため、運行に向けた実証事業の準備を実施する。	・実証事業準備の完了	完了	◎
24 北中城村	⑨	アワセゴルフ場周辺まちづくり整備事業	H27 ～ R1	アワセゴルフ場跡地を中心に、返還予定のロウワープラザ地区やその周辺一体が村の観光交流拠点としてまちづくりが行えるよう基本構想の検討を行う。	・基本構想の策定	基本構想の策定	◎
24 北中城村	⑩	リュウキュウマツ保全事業	H28 ～ R3	魅力的な観光資源のひとつとして、自然の保全、景観・美観の創出、継承するため、沖縄県木であるリュウキュウマツの計画的な薬液樹幹注入及び松くい虫被害木の伐倒駆除を実施する。	・薬剤注入完了	完了	◎
24 北中城村	⑪	荻道・大城湧水群周辺環境整備事業	H24 ～ R3	「平成の名水百選」に選ばれた荻道・大城湧水群を新たな観光資源としての活用を図るため、必要な湧水の確保対策に向けた検討及び散策路として整備するための実施設計を行う。	・散策路整備実施設計の策定 ・湧水再生に向けた調査検討完了	・実施設計の策定 ・調査検討完了	◎
24 北中城村	⑫	多言語観光案内サイン整備事業	H30 ～ R3	大型商業施設開業、クルーズ船寄港により増加する外国人観光客の利便性・安全性の向上を図るとともに、観光スポットへ誘導し、本村を周遊することを目的に多言語観光案内板を設置する。	・多言語観光案内板設置完了:4基 ・避難誘導サイン設置完了:2基 ・周辺案内板設置完了:3基	・4基 ・2基 ・3基	◎
24 北中城村	2 ①	アワセゴルフ場地区歴史・まちづくり映像保存事業	H24 ～ R2	駐留軍用地の返還から跡地開発までの一連の流れを後世に伝えるため、アワセゴルフ場跡地の返還合意から跡地利用までの映像による記録及び編集を行う。	・全体の記録映像の作成進捗率 78%	78%	◎
24 北中城村	②	キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業	H25 ～ H30	キャンプ瑞慶覧ロウワープラザ地区の跡地利用を促進するため、これまで積立てた基金を活用し、公有地の先行取得を行う。	・全体用地取得率:100%	87.3%	○
24 北中城村	3 ①	雇用サポートセンター事業	H24 ～ R3	地域に密着した就業支援による求人登録企業と失業者のマッチングによる雇用機会の創出を図るため、雇用サポートセンターを設置する。	・就業率:5%以上	4.3%	○

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
24 北中城村	②	グッジョブ連携推進事業	H27 ～ R3	児童生徒の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、出前フォーラム、校内ハローワーク等を実施する。	・就業に対する意識が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	95%	◎
24 北中城村	4 ①	営農支援強化事業	H24 ～ R3	専門性の高い営農指導員の指導を行うことで、農業者に対し生産から販売までの安定した営農体制の支援を実施する。また、安定した農業経営に必要なパイプハウス施設整備支援を行う。	・指導した農家の年間出荷額:3,456千円以上 ・パイプハウス施設の整備完了	・4,678千円 ・整備完了	◎
24 北中城村	②	地域ブランド構築事業	H24 ～ R3	特産品の販売促進を図るため、過年度に開発した商品のブラッシュアップや特産品取扱店舗の維持・開拓、既存商品のテストマーケティングやPR活動を実施する。	①アーサクッキー販売額:120千円 ②アーサ麺販売額:880千円 ③パッションスイーツ販売額:60千円 ④トロピカルブレンドティー販売額:17千円 ⑤パッションフルーツスカッシュ販売額:17千円 ⑥パッションフルーツタコライス販売額:55千円	① 120千円 ② 1,100千円 ③ 8千円 ④ 19千円 ⑤ 20千円 ⑥ 63千円	○
24 北中城村	③	農を活かした北中城活性化事業	H28 ～ R3	水耕栽培実証実験を継続し、その栽培品目による6次産業化商品の試作開発や市場性等の検証を行う。 また、水耕栽培施設に必要なエネルギーや耕作放棄地の再生に資する堆肥等を再生可能資源(食物残渣)で賄うための実証実験に向け、設備・装置の構築(製作)検討を図り、設備・装置の導入及び実証実験の実施に向けた基本計画の策定を行う。	・水耕栽培実証実験の完了 ・6次産業化試作品の開発:3品 ・再生可能資源を活用したエネルギー化・堆肥化等の設備・装置の構築(製作)検討報告及び実証実験の実施に向けた基本計画の策定	・完了 ・3品 ・基本計画の策定	◎
24 北中城村	④	農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業	H30 ～ R1	農を活かした健康福祉施設整備を実施するため、県・国等の部局と調整・協議を図り、本事業を推進していくため住民調整・意向把握、実施計画の策定を行う。	・実施計画策定完了	・策定	◎
24 北中城村	5 ①	総合英会話指導支援事業	H24 ～ R3	生きた英語に触れることで、児童生徒の英会話への興味・関心を高めるため、村立小中学校に英会話指導員を配置する。	・英語検定(英検Jr.含む)の受検者数:435人 ・英会話に対する興味・関心が高まった割合:80%以上	・357人 ・98.8%	○
24 北中城村	②	アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	H24 ～ R3	英会話力・英作文力・英文読解力の向上を図るため、米国教育機関との小・中・高校生向けのWEBシステムを活用した英語講座を実施する。	・定期テストにおける英語習熟度:講座を受けた生徒全員80点以上	前期:22名中5名 後期:20名中5名	未

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
24 北中城村	③	海外子弟青年交流事業	H24 ～ R3	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、南米3カ国(ペルー、アルゼンチン、ブラジル)の村人会に研修生を派遣するとともに、当該3カ国から研修生の受入れを実施する。	・受け入れた研修生が、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。 ・派遣した研修生が、海外の子弟と交流することによって派遣先の文化や歴史に興味を持ったか(80%以上)を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。	・80% ・80%	◎
24 北中城村	6 ①	琉球歴史風致資産調査事業	H24 ～ R3	村の伝統や文化を継承し住民の理解を深めるため、歴史風致資産について、文献資料による補足調査を行うとともに、村内で行われている伝統的な民俗祭祀行事について、映像記録の作成・編集、聞き取り調査及び関連史料の収集・内容分析を実施する。	・歴史風致資産等に関する詳細資料の完成	詳細資料の完成	◎
24 北中城村	7 ①	特別教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別な支援を要する障害がある児童生徒について、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、村立幼稚園、小学校、中学校に特別支援教育支援員を配置する。	・支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	91.5%	◎
24 北中城村	②	学習支援員配置事業	H27 ～ R3	学習の遅れがちな児童生徒に対する支援を行うため、村立小中学校に学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合及び無答率の減少 ・正答率30%未満の割合 小学5年生:算数(18.5%以下) 中学2年生:数学(37.6%以下) ・無答率 小学5年生:算数(6.8%以下) 中学2年生:数学(10.5%以下)	・小5算数:13.4% 中2数学:29.9% ・小5算数:2.6% 中2数学:8%	◎
24 北中城村	③	児童生徒の県外派遣旅費等支援事業	H29 ～ R3	県外大会への参加を全児童生徒に等しく機会を与え、児童生徒の視野を広げるため、学校教育の一環として派遣されるものに対し派遣費用を補助する。	・派遣された児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	88%	◎
24 北中城村	④	小中学生県外派遣支援(社会教育関連)事業	H29 ～ R3	県外大会への参加を全児童生徒に等しく機会を与え、子ども達の視野を広げるため、社会教育の一環として派遣されるスポーツや文化活動に対し航空運賃を補助する。	・派遣された児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	100%	◎
24 北中城村	8 ①	健康長寿のまちづくりアクション事業	H26 ～ R3	村の健康課題にアプローチし、多くの村民に運動習慣の啓発を図るため、健康イベントを開催する。	・各種健康イベントへの総参加者数:507人以上	925人	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
24 北中城村	9	① 公共施設等エコアクション推進事業	H24 ～ R3	省エネルギー設備の導入による積極的なエコアクションを推進する取り組みとして、村道や自治会管理の既存照明機器等のLED化を実施する。	・既設街灯のLED照明化:14基	14基	◎
24 北中城村	10	① 防災体制整備事業	H30 ～ R3	津波や台風等の大規模自然災害が発生した場合、被災地外からの支援が行き届かないことなどが想定され、被災地内での自立的な供給体制が必要であるため、備蓄食料、生活物資、防災用品の整備を行う。	・H30 備蓄食料の整備率:25% ・H30 防災用品整備	・26% ・防災用品整備完了	◎
24 北中城村		② 北中城村地域防災計画等策定事業	H30	沖縄県で想定されるあらゆる災害に対応できる実効性のある地域防災計画を策定するため、現行の地域防災計画の見直しを行う。また、津波災害警戒区域や土砂災害ハザードマップを加えた防災マップを作成し、危険箇所や避難場所、避難経路などを観光客及び住民へ周知することで防災体制を強化する。	・地域防災計画の作成完了 ・避難勧告マニュアルの作成完了	・作成完了 ・作成完了	◎
25 中城村	1	① 防災体制整備事業	H26 ～ H30	災害に強く、安心して暮らせる村づくりを推進するため、災害時に村民や観光客等が避難所生活を送ることとなった際に、物資の搬送が開始されるまでの非常食の備蓄整備を行う。また、災害時の効率的・実働的な対応ができるよう災害対策の備品整備等の拡充や防災マップ更新作業を行う。	・備蓄食料 整備率100% (H30年度末整備率 9,000食/全体計画9,000食) ・防災マップの更新完了 ・ソーラー信号機の整備完了	・備蓄食料 整備率100% ・防災マップの更新完了 ・ソーラー信号機の整備完了	◎
25 中城村		② 防災拠点及び地域交流施設整備事業	H28 ～ H30	災害時等における迅速な対応を行えるよう、防災訓練を行うとともに、地域交流を促進しながら地域一体となった防災への意識を高めるため、防災拠点施設整備を行う。	防災拠点施設の建築工事の完了	建築工事の完了	◎
25 中城村	2	① 吉の浦公園施設機能強化整備事業	H25 ～ R3	プロサッカーチームの一時キャンプや各種スポーツの練習、大会会場や文化交流等、様々なイベント会場として利用されている吉の浦公園各施設の更なる利活用に向けて、サッカー専用の芝生を有するサッカー場の管理体制の強化及び適正管理を行いスポーツコンベンションの推進を図るとともに、吉の浦会館施設の設備機能強化を行い、利用者の利便性確保を図る。	①プロサッカーチームの合宿誘致件数:2件 ②トイレ設備の機能強化に係る設計の完了	-	繰

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
25 中城村	②	観光客誘客促進事業	H25 ～ R3	世界遺産「中城城跡」の認知度向上や伝統芸能の発展に寄与させるため、世界遺産を活かした各種観光イベントを実施し、中城村の観光誘客を促進させることで、地域活性化及び商工・観光振興を図る。	・イベント来場者数:11,000人 ・伝統芸能団体出演者数:31人	・イベント来場者数:8,421人 ・伝統芸能団体出演者数:37人	○
25 中城村	③	プロサッカーキャンプ支援事業	H25 ～ R3	スポーツコンベンションの推進による地域活性化や観光地の魅力発信を図るため、プロサッカーチームのキャンプ誘致活動を行うとともに、受入キャンプの支援を行う。	・キャンプ見学者数:8,800人	・キャンプ見学者数:6,844人	○
25 中城村	④	観光振興地盤強化整備事業	H28 ～ H30	世界遺産「中城城跡」を活用した観光イベントやプロスポーツキャンプ等、村内の観光振興の受入地盤を強化するため、誘客施設である吉の浦公園付近に公共駐車場を整備する。	公共駐車場整備工事完了	工事完了	◎
25 中城村	⑤	観光地周辺環境美化事業	H29 ～ R3	観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃等を行い、観光客の満足度向上・観光振興を図る。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(82%)	◎
25 中城村	3	海外移住者子弟研修生受入事業	H25 ～ R3	海外に移住した中城村出身者の子弟を研修生として受け入れ、沖縄の歴史や文化に触れ、村民との交流を通し、それぞれの生まれ育った国や地域への理解を深め、海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図る。	沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、子弟へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する	沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(100%)	◎
25 中城村	4 ①	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R3	児童生徒がコンピューターや情報通信ネットワークに慣れ親しみ適切に活用できるよう、情報教育補助員を配置し、授業支援や環境整備を行う。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:80%以上 上記アンケートの結果を含め、本事業のあり方について検証する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:81% ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:83%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
25 中城村	②	きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ～ R3	特別な支援を必要とする児童生徒に対し、個に応じた支援を行うため、特別支援員を配置する。 また、不登校や発達障害等の課題解決を図るため、教育相談員と心理相談員を配置する。	①特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ②不登校児童生徒復帰率60%以上	①特別支援員の対応への満足度 92% ②不登校児童生徒復帰率40%	○
25 中城村	③	学力向上のための学習支援事業	H29 ～ R3	将来の沖縄振興に資する人材の育成に向けて、学力の向上を図るため、村内中学校に学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査(数学)において、県と本村との平均正答率の差 -4.5ポイント以上	沖縄県学力到達度調査(数学)において、県と本村との平均正答率の差 -10ポイント	未
25 中城村	④	子育て保育支援事業	H29 ～ R3	心身に障がいのある児童又は、発達に遅れのある特別な支援が必要な児童を、保育所等で受入れるために保育士を加配し、一般の児童と共に集団保育を行う体制を構築する。また支援が必要な児童へのきめ細かい対応を図るため、専門相談員を配置し、各保育施設等への巡回を行い支援体制の強化を図る。	・保育園での生活の困難が改善されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者・保育士へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・保育園での生活の困難が改善されたか(96%) ・心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか(92%)	◎
25 中城村	⑤	国際理解人材育成事業	H24 ～ R3	沖縄振興の発展に重要な国際的感覚や視点を身に付ける人材育成のため、英語指導の補助員を配置し、学校の外国語活動及び国際理解教育を充実させる。	沖縄県学力到達度調査(英語)において、県と本村との平均正答率の差 ±0ポイント以上	沖縄県学力到達度調査(英語)において、県と本村との平均正答率の差 -7ポイント	未
25 中城村	⑥	子育て支援施設機能強化整備事業	H30	児童生徒に向けた各種放課後教室等や遊びの場を提供している村内施設を安全に利用できるよう機能強化整備を実施し、健全に成長できる環境を整える。	・機能強化整備の完了	・機能強化整備の完了	◎
25 中城村	⑦	ひとり親家庭学童利用支援事業	H30 ～ R3	学童クラブがひとり親家庭の学童利用者に対し利用料を減免した場合の補助を実施し、ひとり親家庭でも安心して子育てができる環境を整える。	安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、ひとり親家庭の保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたか(98%)	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
25 中城村	5 ①	文化財悉皆及び中城村沖縄戦・移民調査事業	H25 ～ R3	村民の文化財保護意識高揚と活用を図るため、嘱託調査員による村内文化財の悉皆調査を行い文化財の位置や現況を把握する。 また、中城村内における沖縄戦の経緯などの調査や、中城村の近現代史を語るうえで重要な移民に関する調査について、嘱託調査員による調査を行い、それらの記録を残すことで、中城村の歴史を継承していく。	【文化財悉皆調査事業】 ・悉皆調査率 83% (H30年度調査済15字／全体計画18字) 【沖縄戦調査】 ・沖縄戦の調査における記録 100件 【移民調査】 ・中城村における移民に関する基礎調査の完了	【文化財悉皆調査事業】 ・悉皆調査率 83% 【沖縄戦調査】 ・沖縄戦の調査における記録 237件 【移民調査】 ・基礎調査の完了	◎
25 中城村	②	村内文化財整備事業	H28 ～ H30	中城村指定有形民俗文化財「津覇のテラ」の環境整備を行い、人々への周知を図り見学してもらうことで、文化財保護意識を高め文化財の継承を図るとともに、文化財巡り等で活用を行っていく。	「津覇のテラ」整備に係る測量・設計完了	「津覇のテラ」整備に係る測量・設計完了	◎
25 中城村	③	中城村地域多世代交流活性化事業	H29 ～ R3	伝統文化の振興及び継承促進を図るため、組踊の演舞及び継承等を行っている村内団体の活動を支援する。	組踊出演者数 70人 上演来場者数 500人	組踊出演者数 95人 上演来場者数 510人	◎
25 中城村	6 ①	中城村農業振興ビジョン策定事業	H30 ～ R1	年々就業者数や生産高が減少している中城村の農業を推進するため、村の特徴や魅力を活かした総合的かつ計画的な指針を示す農業振興ビジョンを整備する。	基礎調査の完了	基礎調査の完了	◎
25 中城村	②	中城村農業振興環境整備事業	H30 ～ R3	中城村の農業振興に寄与するため、試験栽培に必要な人材や環境等整備を行い、中城村の農家に適した栽培方法や種苗等の試験栽培を実施する。	試験栽培 2品目 圃場の確保及びハウスの建設完了	試験栽培 2品目 圃場の確保及びハウスの建設完了	◎
25 中城村	③	とよむ中城産業まつり	H24 ～ R3	中城村内で生産・製造又は提供される産業製品を村内外へPRし、知名度の向上を目指して開催される「とよむ中城産業まつり」を開催する。	・来場者数:6,500名	・来場者数:7,514名	◎
26 西原町	1 ①	観光地美化・緑化等環境整備事業	H24 ～ R3	沖縄らしい風景を保全するため、公園の芝刈り、樹木剪定、植栽等を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたかについて肯定的な回答 80%	◎
26 西原町	②	文化財環境整備活用事業	H25 ～ R3	西原町内にある文化財及び文化財周辺環境の美化・整備や文化財ガイドの育成及び文化財巡り等イベントを開催し、町民等に歴史の継承を図る。	文化財巡り等イベント参加者数120名以上	文化財巡り等イベント参加者数191名	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
26 西原町	③	農水産物流通・加工・観光拠点整備事業	H24 ～ R2	農水産物直売施設及び地域食材提供施設等を併せ持つ拠点施設を整備し、地産地消、地元食材の消費拡大及び地元産品を活用したグルメ提供を行うことで、生産者の所得向上を図る。	新築1期工事及び工事監理委託業務の完了	新築1期工事及び工事監理委託業務の完了	◎
26 西原町	2 ①	小学校外国語活動指導員派遣事業	H24 ～ R3	外国語活動指導員を配置し外国語への興味・関心を高める。	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったかについて肯定的な回答 85%	◎
26 西原町	②	教育相談員配置事業	H24 ～ R3	町教育委員会教育相談室に教育相談員を配置し、学校生活等に悩みを抱える児童生徒及び青少年やその保護者等に対して支援を行うことで、学校生活等の困難の改善を図る。	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合 28%以上	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合 28.07%	◎
26 西原町	③	学習支援員配置事業	H25 ～ R3	学習支援員を小中学校に配置し、各児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、児童生徒の学力向上を図る。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 +1.8以上 算数 +2.8以上 ・中学校 国語 -0.2以内 数学 +1.0以上	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 +1.60 算数 +1.59 ・中学校 国語 -3.10 数学 +2.75	△
26 西原町	④	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別支援教育支援員を小中学校に配置し、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 81.8%	◎
26 西原町	⑤	幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	幼稚園特別支援教育支援員を幼稚園に配置し、特別な支援を要する障害がある園児に対応した支援を行うことで、学園生活や学習上の困難の改善を図る。	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 96.9%	◎
26 西原町	3 ①	認可外保育施設支援事業	H25 ～ R1	支援員を配置し、各認可外保育施設の保育士に対する事務負担の軽減を行うことで、保育業務に専念できる環境を整備し、園児との時間の確保を図る。	保育士へのアンケートで、事務負担の軽減が図られた(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	保育士へのアンケートで、事務負担の軽減が図られたについて肯定的な回答 90%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
26 西原町	②	親子通園事業	H28 ～ R2	乳幼児健診等の結果から、支援の必要性が高い発達 の気になる子と保護者の受け入れを行い、日常生活 における基本動作の指導や集団生活への適応の 訓練及び保護者に対する療育上の助言等を行うこと で、保護者の育児不安の軽減を図る。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、 育児不安の軽減が図られたか(80%以上)を 含め、当該事業のあり方を検証する。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、 育児不安の軽減が図られたかについて肯定 的な回答 100%	◎
26 西原町	4 ①	西原町防犯灯・道路灯LED 化事業	H29 ～ R3	本町が進めるエコへの取り組みを推進するため、 町内の防犯灯・道路灯を環境負荷の少ないLED照明 に切り替え、温室効果ガスの排出を抑制する。	道路灯・防犯灯のLED化によるCO2排出量 の削減目標値: 90,951kg-CO2	道路灯・防犯灯のLED化によるCO2排出量 の削減実績値: 80,548kg-CO2	○
26 西原町	5 ①	農家経営安定支援事業	H26 ～ R1	農家への技術指導及び経営指導のため、指導員を 配置し、巡回指導・窓口相談及び園芸セミナー(講習 会)を開催することで、栽培技術の理解及び向上を図 る。	・巡回指導した農家へのアンケート 栽培技術力が向上したか(80%以上)を含 め、アンケート調査により本事業のあり方を 検証する。 ・園芸セミナー参加者へのアンケート 栽培技術への理解が深まったか(80%以上) を含め、アンケート調査により本事業のあり 方を検証する。	・巡回指導した農家へのアンケート 栽培技術力が向上したかについて肯定的な 回答 100% ・園芸セミナー参加者へのアンケート 栽培技術への理解が深まったかについて肯 定的な回答 100%	◎
26 西原町	6 ①	里道及び水路の境界確定 復元事業	H27 ～ R3	戦後、地籍が確定しないまま家屋等が建築された 箇所が多々あり、境界問題の解決や公共用地の適 正な管理を行うため、境界復元の確定測量及び表示 登記を実施する。不明確な里道及び水路の位置を確 定することで、災害時の避難経路整備計画図を策定 し、避難経路の整備を行う。	確定測量の完了 表示登記申請の完了	確定測量の完了 表示登記申請の完了	◎
26 西原町	7 ①	西原町雇用サポートセン ター活性化事業	H27 ～ R1	求人企業に既存支援制度の活用に向けた助言等 を行い、求職者と企業のマッチングや、就職セミナー やスキルアップ講座を開催することで、雇用の拡大に つなげる。	新規雇用割合35%以上	新規雇用割合46%	◎
26 西原町	7 ②	地域型就業意識向上支援 事業	H27 ～ R1	高校生及び大学生を中心に商品販売活動や商品 開発及び県外視察研修を実施し、就業意識の向上を 図る。とともに、「西原町」を深く理解し愛着を持つ郷 土愛の醸成を育む。	・高校生、大学生へのアンケートを実施し、 就業意識向上(85%以上)を含め、本事業 のあり方について検証する。 ・郷土愛の醸成についてアンケートで、評価 80%以上	・高校生、大学生へのアンケートを実施し、 就業意識向上について肯定的な回答 100% ・郷土愛の醸成についてアンケートで、肯定 的な評価 100%	◎

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
27 与那原町	1 ①	与那原町魅力発信事業	H26 ～ R3	与那原町の魅力を県内外に発信し、また観光客の誘致を図る為、各種事業により整備した新たな観光資源等を活用し、各種イベントを実施する。	・与那原大綱曳への18,800人誘客 ・ゆかた祭り等のイベント来場者数2,000人以上	・与那原大綱曳への19,099人 ・ゆかた祭り等のイベント来場者数22,128人	◎
27 与那原町	②	観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24 ～ R3	観光地としてふさわしい景観及び環境を創出するため、散策コースの美化清掃等を実施する。	本事業(剪定・除草・植栽整備等)による環境美化の散策コースについて、観光地としてふさわしい景観及び環境である(80%)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	・本事業(剪定・除草・植栽整備等)による環境美化の散策コースについて、観光地としてふさわしい景観及び環境である(81.3%)	◎
27 与那原町	2 ①	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力向上及び人材育成の為、ICT教育の環境を整備し、情報教育支援員を各小中学校へ配置する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:92% ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:100%	◎
27 与那原町	②	きめ細かな児童生徒支援事業(小学校・中学校)	H24 ～ R3	学力向上、学習環境の改善等を図るため、支援員等を配置する。	・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県との差0.3ポイント以上を目指す 中学校:県との差5.4ポイント以上を目指す ・不登校児童生徒復帰率 10%以上 ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度80%以上	・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県との差0.8ポイント 中学校:県との差0.9ポイント ・不登校児童生徒復帰率 8.5% ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度97.8%	△
27 与那原町	③	きめ細かな児童生徒支援事業(幼稚園)	H24 ～ R3	園生活等の環境改善を図るため、特別支援員を配置する。	・対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度80%以上	・対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度93.8%	◎
27 与那原町	④	国際理解人材育成事業	H24 ～ R3	英語への興味、関心を高める為に、小学3年生以上に指導助手を配置する。	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか72.5%	○

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「一」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
27 与那原町	⑤	豊かな心の教育推進事業	H30 ～ R3	夢や希望を持つきっかけや気づきを得る場の確保を図る為、児童生徒向けの講演会を実施する。	・児童生徒へのアンケートで、将来への夢や希望を持つきっかけになったと感じた割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	・児童生徒へのアンケートで、将来への夢や希望を持つきっかけになったと感じた割合86.6%	◎
27 与那原町	⑥	体力向上推進事業	H30 ～ R3	泳力向上を図る為、水泳指導員の派遣を行う。	・3年生:水に浮くことができる50%以上 ・4年生:25メートル泳ぐことができる30%以上	・3年生:水に浮くことができる93.9% ・4年生:25メートル泳ぐことができる36.2%	◎
27 与那原町	3 ①	ほっとハート子育て応援事業	H24 ～ R3	0歳児の待機児減少を図るため、認可保育所へ経費の一部を助成する。	・看護師を配置したことによる0歳児待機児童数15人以内	・看護師を配置したことによる0歳児待機児童数65人	未
27 与那原町	②	公立幼稚園・保育所等保育環境整備事業	H27 ～ R3	保護者の負担軽減を図るため、配膳支援員を配置する。	・給食提供によって、保護者の負担軽減が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	・給食提供によって、保護者の負担軽減が図られたか71%	○
27 与那原町	4 ①	農業用被覆資材等導入推進補助事業	H29 ～ R3	農作物の出荷量向上を図る為、資材導入にかかる経費に対し、補助を行う。	ゴーヤー出荷量 2,500kg以上 マンゴー出荷量 1,300kg以上	・ゴーヤー出荷量 1,885kg ・マンゴー出荷量 2,805kg	○
27 与那原町	5	与那原町海外友好親善大使人材育成事業	H27 ～ R3	文化振興、発展に貢献する人材を育成するために、海外移住者子弟の受入れ及び文化研修、交流会等を実施する。	・受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか80%	◎
27 与那原町	6	走る・よなばる・PR事業	H29 ～ R1	本町の観光資源の認知度向上を図る為、原動機付き自転車等オリジナル標識を交付する。	・観光客へのアンケート オリジナル標識での与那原町の認知度(50%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・観光客へのアンケート オリジナル標識での与那原町の認知度40%	○
27 与那原町	7	災害対策備蓄整備事業	H28 ～ R2	町内避難者や観光客等の食料等確保の為、備蓄食料等を導入する。	・町内避難者及び観光客等の備蓄率60.0%	・町内避難者及び観光客等の備蓄率 60%	◎
27 与那原町	8	東浜水路観光創造水質浄化整備事業	H29 ～ R3	水路周辺を観光資源として活用するため、本年度は浄化対策アクションプランを策定する。	・水質浄化対策アクションプラン策定の完了	・水質浄化対策アクションプラン策定の完了	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
27 与那原町	9	東浜水路散策路照明灯設置事業	H29 ～ H30	観光客の誘客を図る為、散策路照明を設置する為の詳細設計を行う。	・東浜水路散策路照明詳細設計の完了	・東浜水路散策路照明詳細設計の完了	◎
27 与那原町	10	与那原町大型ビジョン活用事業	H29 ～ H30	本町の観光地への誘致を図る為、大型ビジョン整備工事、観光プロモーションビデオ作成を行う。	・観光情報コンテンツ作成の完了 ・大型ビジョン設置の完了	・観光情報コンテンツ作成の完了 ・大型ビジョン設置の完了	◎
27 与那原町	11	与那原町就業意識向上支援事業	H30 ～ R3	勤労親や職業親の育成を図るため、児童生徒や過卒生へキャリア教育を実施する。	・就職支援者の就業率20%以上 ・小中高生へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証する。	・就職支援者の就業率25.7% ・小中高生へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた90%	◎
27 与那原町	12	与那原町の文化と歴史の情報発信事業	H30 ～ R1	歴史、文化等の情報を発信する為、映像編集、作成を行う。	映像編集の完了	・映像編集の完了	◎
27 与那原町	14	「御新下り」関連施設復元・周辺整備・歴史資料館(仮称)整備事業	H24 ～ R3	歴史・文化を後世に継承し、歴史文化を発信するため、「御殿山」周辺整備工事、「親川」広場整備基本設計及び管理棟基本計画策定を行う。	・「御殿山」周辺整備工事の完了 ・「親川」広場整備基本設計及び管理棟基本計画策定業務の完了	・「御殿山」周辺整備工事の完了 ・「親川」広場整備基本設計及び管理棟基本計画策定業務の完了	◎
28 南風原町	1	① 青少年国際交流事業	H24 ～ R3	海外移民者との交流や海外での生活体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、青少年を海外へ派遣し、教育・文化・歴史・産業などの視察学習、ホームステイ、現地の学校への体験入学を実施する。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったかについて、保護者からの肯定的な回答: 80%	◎
28 南風原町	1	② 小学校英語指導助手配置事業	H24 ～ R3	小学生のうちから英会話に触れさせ、英会話や英語圏の文化について興味を持たせるため、小学校に英語指導助手を配置する。	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思ったか(80%以上)を含め、児童へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思ったかについて、児童からの肯定的な回答: 77.1%	○

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
28 南風原町	1 ③	学力調査等事業	H24 ～ R3	個々の学力の把握及び個々の実態に即した指導を実施し、児童生徒のさらなる学力向上につなげるため、学力調査を実施する。	・標準学力調査の平均回答率が目標値以上の科目数 小学校:全科目/13科目 中学校:3科目以上/10科目  ・県学力到達度調査の平均正答率が県平均以上の科目数 小学校:全科目/7科目 中学校:全科目/6科目	・標準学力調査の平均回答率が目標値以上の科目数 小学校:12科目 中学校:0科目  ・県学力到達度調査の平均正答率が県平均以上の科目数 小学校:6科目 中学校:全科目(6科目)	○
28 南風原町	1 ④	学習支援員配置事業	H24 ～ R3	通常の授業ではついていけない児童生徒の学力向上に努めるため、小・中学校に学習支援員を配置する。	・標準学力調査の平均正答率が目標値以上の科目数 小学校:全科目/4科目 中学校:2科目以上/8科目	小学校:全科目(4科目) 中学校:0科目	△
28 南風原町	1 ⑤	特別支援教育支援員配置事業	H24 ～ R3	特別な支援を要する障害がある児童生徒への学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	特別支援員の対応への満足度:93.8%	◎
28 南風原町	1 ⑥	学校ICT推進事業	H24 ～ R3	教員のICT機器の習熟及び学校教育の質の確保するため、ICT支援員を配置する。	・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上  ・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	・ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた教員の割合:95.9%  ・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:78.4%	○
28 南風原町	1 ⑦	教育相談支援事業	H24 ～ R3	不登校児童生徒数の改善を図るため、教育相談員などを小中学校に配置し、不登校または不登校傾向にある児童生徒や、不登校や発達障害等の子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対して相談等の支援を行う。	不登校児童生徒復帰率60%	不登校児童生徒復帰率:37%	未

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
28 南風原町	1 ⑧	中学校外国人英語指導助手配置事業	H24 ～ R3	中学校英語学力の向上を図るため、中学校に外国人英語指導助手を配置する。	標準学力調査の平均正答率について、目標値との差を縮める。 1年:-2.6ポイント以内 2年:-2.7ポイント以内	1年:-1.0ポイント 2年:-13.6ポイント	○
28 南風原町	1 ⑨	南風原町各種大会派遣支援事業	H25 ～ R3	県外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、町内の小・中学校の児童生徒が、学校を代表し、中学校体育連盟等が主催する県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の大会派遣費用を支援する。	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童等の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	対象児童等の視野が広がったかについて、児童等の保護者からの肯定的な回答:100%	◎
28 南風原町	1 ⑩	南風原町県外等派遣支援事業	H25 ～ R3	県外の人との交流等の機会を増やし、児童生徒及び青年会等に広い視野を持たせるため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が、体育協会関連団体の主催する運動競技及び文化活動に参加する際の大会等の派遣費用を支援する。	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	対象児童等の視野が広がったかについて、保護者等からの肯定的な回答:94%	◎
28 南風原町	1 ⑪	南風原町幼稚園体育活動充実事業	H28 ～ R3	幼少期に運動する楽しさを実感してもらうことにより、その後に運動習慣を身に付けるため、南風原町内の幼稚園児を対象とし、専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施する。	運動する楽しさを実感したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	運動する楽しさを実感したかについて、園児からの肯定的な回答:94.24%	◎
28 南風原町	1 ⑫	幼稚園空調機設置事業	H30 ～ R1	気温が高い期間が長期にわたる沖縄で園児の健康維持や熱中症対策をおこなう必要があるため、幼稚園に冷房機を設置する。	冷房機を設置した幼稚園で暑さによる体調不良となる園児数0人	令和元年度に検証(冷房機の設置が冷房稼働期間中に完了しなかったため)	未
28 南風原町	2 ①	南風原町観光景観美化整備事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光ルート美化整備を行う。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたかについて、肯定的な回答:80%	◎
28 南風原町	2 ②	危険生物駆除事業	H27 ～ R3	来町する観光客等をハブ咬傷から守り安全な観光地にするため、ハブトラップを設置するとともに、その周辺を重点地域として巡回する危険生物駆除員を配置する。	観光地内におけるハブ咬傷件数 0件	観光地内におけるハブ咬傷件数 0件	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
28 南風原町	2 ③	民泊啓発推進事業	H25 ～ R3	南風原町には宿泊施設がないため、滞在型観光振興の妨げとなっている。そこで、宿泊体験登録家庭数の増と、宿泊体験の増を図ることにより、滞在型観光を促進する礎とするため、民泊の誘致活動や研修等を行う。	宿泊体験登録家庭数:新規8家庭 民泊体験者数:450人	宿泊体験登録家庭数:新規4家庭 民泊体験者数:700人	○
28 南風原町	2 ④	ヒーローのまちづくり事業	H25 ～ R3	南風原町が輩出した人材の功績を継承すると共に、観光客を本町へ誘導するため、南風原町が輩出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベント等を実施する。	・イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等) 来客者数:3,400人 ・脚本賞の舞台化に係る舞台来客数:500人	・イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等) 来客者数:3,500人 ・脚本賞の舞台化に係る舞台来客数:900人	◎
28 南風原町	2 ⑤	シマじまガイド事業	H24 ～ R3	住民が地元の歴史や文化を学ぶ機会を創出すると共に観光誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を実施する。	シマじまガイド事業参加者:1,460人	シマじまガイド事業参加者:1,672人	◎
28 南風原町	2 ⑥	黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25 ～ R3	陸上、サッカー等合宿利用者数の増加及び、Jリーグキャンプ誘致による誘客を図るため、黄金森公園スポーツ施設のJリーグキャンプ受入体制等の整備を行う。	・陸上、サッカー等合宿利用者数:1,800人 ・Jリーグキャンプ見学者数:8,600人	・陸上、サッカー等合宿利用者数:1,213人 ・Jリーグキャンプ見学者数:約5,900人	未
28 南風原町	2 ⑦	南風原町地域ブランド構築・展開プロジェクト	H24 ～ R3	本町の魅力の発信及び認証した商品の販売数増を図るため、町内事業者を対象に商品開発に関するワークショップの開催や、「はえばる良品」認証及び、特産品の販路開拓等を行う。	・南風原良品の販売個数増 びよびよシフォン5,035個 ゆめかなえぼしパウンドケーキ380個 澁しカボチャ使って味わうスープの素1,000個 はえばるのまきもの60個 ウオッチナー88個 SANGOくっしょん450個 沖縄キビまる豚430個	・南風原良品の販売個数増 びよびよシフォン7,200個 ゆめかなえぼしパウンドケーキ320個 澁しカボチャ使って味わうスープの素1,800個 はえばるのまきもの82個 ウオッチナー100個 SANGOくっしょん720個 沖縄キビまる豚1,000個	○
28 南風原町	2 ⑧	南風原町観光PR促進事業	H25 ～ R3	本町の認知度向上と地域資源の情報発信を図るため、はえるんや野菜のお友達を活用し、県内外の様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施する。	・はえるん等利用数:50件 ・観光サイトアクセス数:207,000件	・はえるん等利用数:36件 ・観光サイトアクセス数:167,415件	○

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
28 南風原町	2 ⑨	南風原町和牛改良支援事業	H27 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛と導入牛以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合(牝)108%、(去勢)140%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛と導入牛以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合(牝)98%、(去勢)116%	○
28 南風原町	2 ⑩	南風原町乳用牛改良支援事業	H28 ～ R2	本事業により乳用牛の更新・増加を促進し、生産乳量の増加と乳質の向上を図るため、優良乳用牛の導入を支援する。	生産乳量の増加:6,000kg以上 乳質(脂肪率)の向上:0.02%以上	生産乳量の増加:-75,459kg 乳質(脂肪率)の向上:-0.06%	未
28 南風原町	3 ①	はえばるリサイクルループ事業	H24 ～ R3	沖縄県は離島県であり、土地利用には限りがあるため、ごみ処理処分場の代替施設を容易に建設することができない。現施設の長寿命化を図る必要があることから、生ごみを資源化し、一般廃棄物を削減するため、町内で発生する食品廃棄物を分別回収し、それらで養豚用飼料や堆肥を生産する。そこで生産された飼料ではえばる豚を育て販売し、食品廃棄物の循環を構築する。	生ごみ(家庭系)の年間資源化量:30トン	生ごみ(家庭系)の年間資源化量:30トン	◎
28 南風原町	3 ②	環境学習支援事業	H24 ～ R3	沖縄の豊かな自然環境を守り、自然環境保全の重要性など環境問題に対する児童の意識向上を図るため、専門家による環境教育・環境学習を実施する。	環境保全に対する意識向上が図られたか(80%以上)を含め、児童に対するアンケートにより本事業のあり方を検証をする。	環境保全に対する意識向上が図られたかについて、児童からの肯定的な回答:100%	◎
28 南風原町	3 ③	草木リサイクル事業	H24 ～ R3	沖縄県は離島県であり、土地利用には限りがあるため、ごみ処理処分場の代替施設を容易に建設することができない。現施設の長寿命化を図る必要があることから、環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築するため、町内家庭から排出される落ち葉等の草木を細かく破砕し堆肥化する。	草木のリサイクル量(堆肥化):451トン	草木のリサイクル量(堆肥化):451トン	○
28 南風原町	3 ④	低炭素社会化事業(省エネ設備導入事業)	H27 ～ H30	低炭素社会への転換を推進し、地球温暖化対策へ寄与するとともに、防犯灯における二酸化炭素排出量を削減するため、町内にある既存の防犯灯(水銀灯、蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明等への切り替えを実施する。	温室効果ガス排出削減量 20.76[t-co2/年]	温室効果ガス排出削減量 21.25[t-co2/年]	◎
28 南風原町	3 ⑤	南風原町景観計画策定事業	H28 ～ H30	観光地として魅力ある景観形成を図るため、景観計画書及びガイドラインを策定する。	景観計画の策定完了	景観計画の策定を完了した	◎

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
28 南風原町	4 ①	災害時等避難施設機能強化事業	H24 ～ R1	災害時における地域住民の安全を確保するため、バリアフリー化等、避難所の整備を支援する。	避難所整備の完了	避難所整備を完了した	◎
28 南風原町	4 ②	北丘小学校西側避難通路整備事業	H26 ～ H30	災害時の住民の安全を確保するため、避難通路及び法面の整備を行う。	整備工事の完了	-	繰
28 南風原町	4 ③	津嘉山小学校南側避難通路整備事業	H26 ～ H30	災害時の住民の安全を確保するため、避難通路の整備を行う。	整備工事の完了	-	繰
28 南風原町	5 ①	放課後児童の居場所づくり支援事業	H24 ～ R3	安心・安全に子供を預けることができ、保護者の子育てへの負担感を軽減するため、本町の民間の賃貸住宅等を利用している学童クラブに対して家賃の補助を実施。また、学童クラブが生活保護世帯及びひとり親家庭等の学童利用者に対し利用料を減免した場合の補助を実施する。	安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたかについて、対象となる児童の保護者からの肯定的な回答:80%	◎
28 南風原町	6 ①	陸軍病院壕公開活用事業	H24 ～ R3	南風原町の歴史継承及び観光の誘客を図るため、沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行うとともに、整備・公開している20号壕を訪れる県内外からの見学者へのガイド案内を実施する。	見学者数11,500人	見学者数9,338人	○
28 南風原町	6 ②	子ども平和学習交流事業	H24 ～ R3	子どもたちが平和について理解を深めるため、戦争と平和、差別や人権等について、施設を訪ねたり交流や研修を重ね学習する。	参加児童の平和等に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する	参加児童の平和等に対する理解が深まったかについて、保護者からの肯定的な回答:88%	◎
28 南風原町	6 ③	伝統芸能保存育成事業	H24 ～ R3	伝統芸能の継承を図るため、伝統芸能保持団体である自治会への道具・衣装・楽器・面玩具等の備品の購入に対し補助をする。	補助団体による伝統芸能上演等回数 H30年度:17回	補助団体による伝統芸能上演等回数 H30年度:34回	◎
28 南風原町	6 ④	南風原町海外移住者子弟研修生受入事業	H24 ～ R3	それぞれの生まれ育った国や地域への理解を深め、海外と本町を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、南風原町出身の海外移住者子弟を研修生として受け入れ、移民の歴史はもちろん、相互の文化と歴史の学習を実施する。	沖縄の文化や歴史に、より興味を持ったか(80%以上)を含めアンケートで本事業のあり方を検証する	沖縄の文化や歴史に、より興味を持ったかについて、肯定的な回答:100%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
28 南風原町	7 ①	長寿県復活食の応援事業	H25 ～ R3	将来の生活習慣病の予防に向けて、食生活や生活習慣の改善に係る知識の普及を図るため、生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。	将来の生活習慣病予防に向けた食生活や生活習慣を理解できたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	将来の生活習慣病予防に向けた食生活や生活習慣を理解できたかについて、肯定的な回答:98.5%	◎
29 渡嘉敷村	1 ①	渡嘉敷村観光総合推進事業	H24 ～ R3	入域観光客数の増加を図るため、県内外で開催される観光イベント等での観光PR活動、各種広告媒体を活用した情報発信及び、増加する外国人を含む観光客の受け入れ態勢強化に取り組む。	・年間入域観光客数 136,769人以上 ・外国人観光客数 28,600人以上	・年間入域観光客数 133,138人以上 ・外国人観光客数 19,723人以上	○
29 渡嘉敷村	②	渡嘉敷村美化清掃事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する。	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたと回答した割合 87%	◎
29 渡嘉敷村	③	渡嘉敷村観光施設整備事業	H26 ～ R3	観光客等利用者の利便性確保及び誘客を目的に、観光施設等の整備を行う。今年度は渡嘉志久トイレシャワー施設機能強化工事及び多目的広場の機能強化工事を実施する。	①渡嘉志久トイレ・シャワー改修工事の完了 ②多目的広場施設の機能強化工事の完了	①渡嘉志久トイレ・シャワー改修工事の完了 ②多目的広場施設の機能強化工事の完了	◎
29 渡嘉敷村	④	渡嘉敷村観光振興事業	H29 ～ R3	修学旅行誘致・受け入れ等に取り組む村商工会の観光推進事業の活動を支援する。	・修学旅行受入対応 14校 ・旅行社招聘 3社	・修学旅行受入対応 13校 ・旅行社招聘 1社	未
29 渡嘉敷村	⑤	渡嘉敷村観光危機管理計画策定事業	H30	村内を訪れる観光客への自然災害や人的災害などが発生した際の対応を定めた「渡嘉敷村観光危機管理計画」を策定する。	・観光危機管理計画書の策定完了	・観光危機管理計画書の策定完了	◎
29 渡嘉敷村	⑥	渡嘉敷村景観計画策定事業	H29 ～ R1	渡嘉敷村の豊かな景観資源や文化を維持・継承・発展させる条件を整え、良好な景観形成に向けた景観計画を策定する。	・景観計画の策定に向けた調査業務の完了	・景観計画の策定に向けた調査業務の完了	◎
29 渡嘉敷村	2 ①	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ R3	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から渡嘉敷島へ輸送される食品や衣類、履物、日用品、医薬品、保健医療用具、器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	・生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差-1.4ポイント以下	・生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差 -4ポイント	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
29 渡嘉敷村	②	自動車航送コスト負担軽減事業	H28 ～ R3	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図るため、渡嘉敷港～那覇泊港間の車両航送利用者に対し運賃の一部を支援する。	・沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと回答した割合 100%	◎
29 渡嘉敷村	③	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25 ～ R3	渡嘉敷村営定期船の欠航時、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援することで、利便性を確保する。	・ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	・ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたと回答した割合 100%	◎
29 渡嘉敷村	3 ①	小学校学習支援員配置事業	H24 ～ R3	子ども達の学力向上の推進及び離島の教育環境を改善するため、学習支援員を配置する。	・沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率の差+9.4ポイント以上	・沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率の差 +9.2ポイント	未
29 渡嘉敷村	②	児童・生徒派遣支援事業	H25 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会県大会や全国大会等に参加する児童生徒に対し、航空運賃等の補助を行う。	・対象児童生徒の視野が広がったかどうか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	・対象児童生徒の視野が広がったと回答した保護者の割合 90%	◎
29 渡嘉敷村	③	家庭教育支援事業	H28 ～ R3	Web会議システムを用いたオンライン双方向授業を実施することにより教育環境格差の大きい離島地域において、村外・県外と同等レベルの教育を受けることができる環境を整備することで、学力の向上を図る。	・学習塾内で実施するテスト(全国規模)において、全国と本村の平均点の差を-11.7点以上とする。	・学習塾内で実施するテスト(全国規模)において、全国と本村の平均点の差 -14.1点	未
29 渡嘉敷村	4	歴史文化資産保存活用事業	H29 ～ R1	沖縄戦史等の歴史文化資料等を活用した平和学習等を行うことで、修学旅行生や村民が学べる機会を増やすとともに、観光資源としても活用する。	・文化財遺跡等の実地調査 50件 ・沖縄戦に関わる史実等の聞き取り調査 50件	・文化財遺跡等の実地調査 50件 ・沖縄戦に関わる史実等の聞き取り調査 14件	△
29 渡嘉敷村	5 ①	渡嘉敷村総合防災体制構築事業	H29 ～ R1	総合的な防災体制を強化し、災害発生時に村民及び観光客等の安全確保を図るため、防災情報ポータルサイトを活用し、防災・災害対応関連情報を整理・公開する 今年度は「地震・津波災害避難計画」、「土砂災害避難計画」及び各種対応マニュアル等の策定を行う。	・地震・津波災害避難計画の策定 ・土砂災害避難計画の策定 ・防災情報ポータルサイトへ関連情報の公開 ・各種対応マニュアル等の策定	・地震・津波災害避難計画の策定 ・土砂災害避難計画の策定 ・防災情報ポータルサイトへ関連情報の公開 ・各種対応マニュアル等の策定	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
29 渡嘉敷村	6	アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業	H29 ～ R1	アジア諸国と、3市村(南城市、伊江村、渡嘉敷村)の中・高校生が、豊かな自然や歴史、文化などの地域資源に恵まれた環境の沖縄で共に生活しながら地域の課題に取り組み、体験交流を深める中で、国や文化を越えた友情を育み、多種多様な文化や社会、考え方があることを直に学ぶ機会を設けることで、国際的な広い視野を持たせる。	生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	生徒の国際的な視野がより広まったと感じたと回答した保護者の割合 93%	◎
30 座間味村	1	① 座間味村海域安全隊事業	H24 ～ R3	村内指定の3ビーチにおいて、観光客の増加する4月末から10月末の期間、遊泳者の水難事故防止及び安全確保を図るためライフセーバー等を配置する	ライフセーバー配備期間中の水難死亡事故:0件	ライフセーバー配備期間中の水難死亡事故:1件	未
30 座間味村		② 座間味村がんばる観光支援事業	H24 ～ R3	観光客誘致とリピーター確保と入域観光客数の増加を図るため、各イベント実行委員会へ補助金を交付するとともに、県外でのPRイベント活動を行う。	入域観光客数:111,000人以上	入域観光客数:98,631人	○
30 座間味村		③ 座間味村観光受入拠点事業	H24 ～ R3	年中無休の観光案内業務とタイムリーな観光情報発信及びマリンスポーツ事業者や民宿事業者への取り次ぎ案内などを行い、観光客誘客に向けた取組を実施する観光協会へ支援を行い観光客の利便性を確保する。また村内の観光事業従事者を対象とした講習会を実施する。	観光客の利便性が図られたか(80%以上)を含め、観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。  観光客へのおもてなしに活用できると感じたか(80%以上)を含め、講習会に参加した観光事業従事者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	観光客の利便性が図られたか90.3%  観光客へのおもてなしに活用できると感じたか(80%以上)を含め、講習会に参加した観光事業従事者へのアンケート未実施	△
30 座間味村		④ 座間味村景観計画策定事業	H29 ～ R1	本村には豊かな自然や、歴史ある風景等が残されているものの、観光資源としての利活用が不十分である。そこで、景観計画を策定し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	景観計画(案)策定の完了	景観計画(案)策定の完了	◎
30 座間味村		⑤ 座間味村歴史文化・健康づくり拠点整備事業	H24 ～ R1	本村の新たな観光客の受け入れ態勢の整備と観光誘客を図るため、既存港公園内へビジタセンター建築を行う。また、平時には地域住民向けのイベント等を開催し福祉向上を図る。本年度は建築本体工事(集会棟・管理棟・シアター棟)及び建築施工管理の委託を行う。	本体建築工事完了 (集会棟、管理棟、シアター棟)	-	繰

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
30 座間味村	⑥	座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	H29 ～ R3	本村には先の大戦当時を物語る遺跡や記念碑等が点在している。これらを歴史の生きた教材として活用し平和学習を目的とした修学旅行の誘致を図るため、周辺環境整備を行う。	座間味島平和の塔・忠魂碑・太平洋戦争沖縄戦上陸第一歩の地における進入路、転落防止策、案内看板設置及び東屋設置等の周辺環境整備を実施。また次年度整備予定の阿嘉・慶留間島整備の実施設計書の完成	-	繰
30 座間味村	2	座間味村サンゴ(海の花)育成・植付事業	H24 ～ R3	サンゴ礁海域の回復に向け、サンゴの種苗の生産と育成を行う。また、人材育成や施設運営の支援を行う。	種苗の植付:1,000本以上	種苗の植付:800本	○
30 座間味村	3	① 座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業	H24 ～ R3	フェリーや高速船の欠航時に、チャーターヘリの料金補助を行うことで、代替となる移動手段の確保を行い、利便性を確保する。	フェリーや高速船の欠航時等に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	フェリーや高速船の欠航時等に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか80%	◎
30 座間味村	②	座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25 ～ R3	村民に対し、フェリーの自動車輸送費への支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図るため、高額である座間味村⇄本島間のフェリー車両航送に係る運賃の一部を支援する。	島民へのアンケートを行い、フェリーの自動車輸送費補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	島民へのアンケートを行い、フェリーの自動車輸送費補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査未実施	未
30 座間味村	③	座間味村離島食品・日用品輸送費等補助事業	H28 ～ R2	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から座間味村へ輸送される食品や日用品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差-3.7ポイント以下	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差 -14.7ポイント	未
30 座間味村	4	教育環境充実事業	H28 ～ R3	学外で学びたい児童生徒の学習機会を確保し、当該児童生徒の学力向上を図るため、Web会議システムを用いたオンライン双方向授業を行う『村営学習塾』を開設する。	・受講児童生徒を対象に学習塾で実施される期末テスト(全国規模)において、全国と本村の受講児童生徒との平均点の差をマイナス10点以内に改善する。 ・児童生徒にアンケートを行い、プログラミングに対する関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	・受講児童生徒を対象に学習塾で実施される期末テスト(全国規模)において、全国と本村の受講児童生徒との平均点の差 -8.8点 ・児童生徒にアンケートを行い、プログラミングに対する関心が高まったか76%	○
30 座間味村	5	座間味村平和・未来プロジェクト事業	H30 ～ R2	本村で起きた悲惨な戦争事実や歴史等を長く後世へ継承し平和学習の推進及び歴史文化遺産の保存継承を図るため文献・書籍・体験者証言を集約し、これらをデジタルコンテンツ化し平和発信の取り組みとして各種イベント(平和学習等)で活用する。	・専門識者による専門チームの立ち上げ ・現地調査の実施 ・県立図書館等での資料の収集	・専門識者による専門チームの立ち上げ 未実施 ・現地調査の実施 完了 ・県立図書館等での資料の収集 完了	△

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
31 粟国村	1 ①	環境美化促進事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路の美化・緑化活動を実施するとともに、外来植物の駆除を行う。	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたかについて肯定的な回答 83%	◎
31 粟国村	②	景観計画策定事業	H28 ～ H30	景観計画に基づいた、住民にわかりやすい景観むらづくりガイドラインを作成し、自然や歴史等風景を生かした魅力的な観光地としての景観形成を図るため、住民にわかりやすいガイドラインを作成する。	・景観むらづくりガイドラインの作成完了	・景観むらづくりガイドラインの作成完了	◎
31 粟国村	③	粟国村「ア」のくにづくり推進事業	H26 ～ R3	イベントを通して、地域の伝統芸能の保存継承を図るとともに、観光誘客を図るため、粟国村「ア」の国まつりの開催及び広報周知活動を実施する。	①粟国島芸能: 演舞者: 12人 (むんじゆる節、むんじゆる太鼓、マースヤー、エイサー) ②イベント来場観光客数: 60人/日	①粟国島芸能: 演舞者: 13人 (むんじゆる節、むんじゆる太鼓、マースヤー、エイサー) ②イベント来場観光客数: 66人/日	◎
31 粟国村	④	照喜名原地区整備事業	H27 ～ R1	粟国島を訪れる観光客の受け入れ基盤を強化するため、「ウーグの浜」を含む照喜名原地区の整備を行う。	・照喜名原地区整備工事	-	繰
31 粟国村	2 ①	国際交流支援事業	H27 ～ R3	海外での生活体験を通して国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、本村中学生を対象に海外短期留学を実施する。	・帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	・帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたかについて肯定的な回答 100%	◎
31 粟国村	②	学力向上支援事業	H27 ～ R3	島内の児童生徒の学習環境の充実を図り、児童生徒の学力向上を図るため、村内に村営塾を設置する。	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校: 5ポイント 中学校: 5ポイント	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校: +3.90ポイント 中学校: +2.75ポイント	未
31 粟国村	③	児童・生徒派遣支援事業	H27 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。	・対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	・対象児童生徒の視野が広がったかについて肯定的な回答 100%	◎
31 粟国村	3 ①	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ R3	沖縄本島よりも割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から粟国島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	・生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差-8.1ポイント以下	・生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差-10.2ポイント (参考)H30実績 122.0ポイント	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
31 粟国村	②	粟国村交通移動手段安定化対策事業	H27～R3	島民及び来島者の利便性の確保を図るため、航空路線の運航日以外にチャーターヘリコプターを利用した場合の運賃を一部支援する。	・ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	・ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたかについて肯定的な回答97%	◎
31 粟国村	4 ①	粟国村地域防災計画整備事業	H30	災害時において村民及び観光客等の安全を確保するため、粟国村地域防災計画の見直し等を行う。	・地域防災計画の作成完了 ・業務継続計画の作成完了 ・避難勧告マニュアルの作成完了	・地域防災計画の作成完了 ・業務継続計画の作成完了 ・避難勧告マニュアルの作成完了	◎
32 渡名喜村	1 ①	環境保全・美化推進事業	H24～R3	集落内及び観光地周辺の清掃美化、外来植物の駆除及び在来植物の保全育成を行う。	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(93.44%)	◎
32 渡名喜村	2 ①	離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25～R3	島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーを利用した場合の運賃を一部支援する。	フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(98%)	◎
32 渡名喜村	3 ①	児童・生徒の教育活動助成事業	H26～R3	村外での教育諸活動(スポーツ・文化)及び交流学習へ参加する児童生徒に対し、船運賃等の補助を行う。	申請した保護者へのアンケートで、児童生徒の視野が広がったとの回答割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	申請した保護者へのアンケートで、児童生徒の視野が広がったとの回答割合(100%)	◎
32 渡名喜村	4 ①	観光振興整備事業	H27～R2	観光案内所や観光スポットである東浜周辺の整備を行うことで、受入体制を整え、観光客の利便性を確保する。	・観光案内所の整備工事 ・車庫の解体工事(案内所建設予定地にある車庫を解体し、案内所を整備する) ・東浜周辺の植栽、東屋、休憩所の実施設計 ・観光案内所の備品購入	-	繰
32 渡名喜村	5 ①	渡名喜村急患搬送車整備事業	H30	急患搬送車両の導入することで、地域住民や観光客の安全性の確保を図る。	急患搬送車の導入完了	急患搬送車の導入完了	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
32 渡名喜村	6 ①	渡名喜村フォトツーリズム事業	H30 ～ R3	フォトツーリズム事業を行うため、フォトガイドブックやポスター等を作成し、県内外へ周知していく。	PRツールの作成完了 ・ガイドブック1種(5000部) ・ポスター3種(300部) ・テーブルクロス3種(6枚) ・タペストリー4種(8枚) ・配布ルート提案書(1種)	PRツールの作成完了 ・ガイドブック1種(5000部) ・ポスター4種(60部) ・テーブルクロス3種(3枚) ・タペストリー4種(4枚) ・配布ルート提案書(1種)	△
32 渡名喜村	7 ①	渡名喜村多目的拠点施設整備事業	H26 ～ R3	村民の子育て環境の整備、健康増進、観光振興に加え、村民や観光客を自然災害から守るため、子ども預かり所、老人福祉施設、歴史民俗資料館、災害時避難施設などからなる多目的拠点施設を整備する。	施設の運営体制の構築完了	施設の運営体制の構築完了	◎
33 南大東村	1 ①	健康診査用機材搬送事業	H24 ～ R3	本村には健康診断を行う施設機関がない状況である。そこで、村内の住民全てが健診を受けられる環境を整備するため、特定健診等に使用する健診機材及び胸部レントゲン車の海上移送船運賃及び荷役料、検査技師等の来島渡航費を支援する。	集団健診受診率の増:32%以上	80.3%	◎
33 南大東村	②	専門病院受診渡航費助成事業	H25 ～ R3	村内の医療機関では対応できない専門治療等を中断することなく継続して医療が受けられるようにするため、沖縄本島で専門の治療や検査の受診を余儀なくされている住民の渡航費を支援する。	渡航費支援が必要な人への支援率100%	100%	◎
33 南大東村	③	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ R3	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から南大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	生活必需品等の価格について、沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前と比較した縮小幅 23ポイント以上	23.5ポイントの価格差の縮小	◎
33 南大東村	2 ①	花いっぱいクリーン環境整備事業	H25 ～ R3	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	満足52%	○
33 南大東村	②	大型クルーズ船観光魅力発信支援事業	H28 ～ R3	本村に訪れるクルーズ船客の増加を図るため、島の特異な自然・文化・特産品等の魅力発信を行う。	クルーズ船客350人	370人	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」  
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」  
 「繰越」・・・「繰」  
 「遂行困難」・・・「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
33 南大東村	3 ①	人材育成派遣事業	H25 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。	派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する	100%	◎
33 南大東村	4 ①	南大東村テリハボク高度活用プロジェクト事業	H29 ～ H30	南大東島では、テリハボクは古くから防風林・保安林・農地防風林として植栽され台風等の風や塩害から島を守ると共に島の景観にも溶け込んでいる重要な樹木である。本事業では、テリハボクを資源(オイルや薬用油)とした事業の実施につなげるため、活用方法の調査を行う。	テリハボクの地域資源調査の完了	完了	◎
33 南大東村	5 ①	南大東村安らぎ空間複合施設整備事業	H30 ～ R3	本村には、葬祭場がないため各自宅で葬儀を行っているが、準備等は地域の住民の協力でされており、遺族や関係者に負担がかかっている。そのため、葬祭場等の複合施設を整備し、葬儀に係る住民の負担軽減を図る。	基本計画・基本設計・実施設計の完了	-	繰
34 北大東村	1 ①	地域の観光文化資源の担い手育成事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、島の文化資源である『八丈太鼓』の魅力を発信し、県外等での交流発表を開催する。	・島の観光入客数:1,500以上	・島の観光入客数:954人	未
34 北大東村	②	観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24 ～ R3	島の観光地周辺や重要なアクセス道路や周回道路等の修景及び美化の重点的な実施を行い、魅力的な観光地づくりを図る。	・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・魅力的な景観形成が図られたかについて、観光客等からの肯定的な回答:97%	◎
34 北大東村	2	オンライン双方向授業支援モデル事業	H25 ～ R3	村営塾に学習支援員を配置、また、現役東大生によるオンライン双方向授業により、小中学校の児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	・平成30年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①小学校 県平均以上 ・3年生:国語、算数 ・4年生:国語、算数 ・5年生:国語、算数、理科 ・6年生:算数 ②中学校 県平均以上 ・1年生:数学 ・2年生:国語、数学、理科、社会、英語	・平成30年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①小学校 県平均以下 ②中学校 県平均以下	未
34 北大東村	3 ①	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24 ～ R3	保護者が安心・安全に子供を預け、育児の負担軽減を図るため、2歳児を含む未就学園児に対する幼稚園の預かり保育支援員を配置し、預り保育を行う。	・対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め事業のあり方を検証する。	・対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合:95%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
34 北大東村	②	離島の児童の交流促進事業	H24 ～ R3	離島の不利益を克服し、児童生徒の島外・県外交流の機会増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツや交流学習における渡航費の支援を行う。	・派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。	・派遣された児童生徒が広い視野を持てたかについて、保護者からの肯定的な回答: 89%	◎
34 北大東村	③	離島特別医療質確保推進事業	H24 ～ R3	離島の不利性を克服し、妊婦検診や特定重病患者等に対して、島内で受診できない医療サービスを受ける為の渡航費の支援を行う。	・渡航費支援が必要な人への支援率: 100%	・渡航費支援が必要な人への支援率: 100%	◎
34 北大東村	4	北大東村景観形成事業	H26 ～ R3	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備を行う。	・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	-	繰
34 北大東村	5	北大東村葬祭場建築事業	H30 ～ R1	既存火葬場の老朽化と火葬ホール・霊安室・管理室等の施設機能が十分に果たせていない状況であり、住民の福祉の向上を図るため、葬祭場一式の新築整備を行う。	・実施設計完了	・実施設計を完了した	◎
34 北大東村	6	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ R3	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から北大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	生活必需品等の価格について、沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前と比較した縮小幅 18.5ポイント以上	生活必需品等の価格について、沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前と比較した縮小幅 16.6ポイント	○
34 北大東村	7	北大東村コミュニティ施設周辺整備事業	H27 ～ H30	北大東村内で毎年行われる祭り行事において、県内・県外から、多くの関係者や観光客が訪れているため、コミュニティ施設周辺整備を行い、歴史文化継承及び観光誘客を図る。	・秋葉宮周辺整備の完了	・秋葉宮周辺整備を完了した	◎
34 北大東村	8	北大東村認定子ども園整備事業	H30 ～ R2	保育ニーズへの対応及び園児の発育向上を図るため認定子ども園を整備する。今年度は実施設計を行う。	・実施設計完了	-	繰
34 北大東村	9	農業用水路防災・減災事業	H30	台風等の豪雨による圃場等の洗堀及び干ばつによるさとうきび等への被害を防ぎ、安定した生産を図るため、農業用排水路の整備に向けた概略設計を行う。	・概略設計業務の完了	・概略設計業務を完了した	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
35 伊平屋村	1	① 商工観光産業支援事業	H24 ～ R3	民泊利用者の増加を図るため、伊平屋島観光協会の活動を支援する。	民泊利用者数 800人以上	民泊利用者数 1,116人	◎
35 伊平屋村		② 観光地イメージアップ推進事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたと回答した割合 75%	○
35 伊平屋村		③ 誘客イベント推進事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、イベントの開催及び開催支援等を行う。	村内入域観光客数 22,861人以上	村内入域観光客数 21,885人	○
35 伊平屋村		④ 海浜公園植栽及び緑化体制整備事業	H24 ～ H30	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、海浜公園内の植栽管理及び緑化推進体制の整備を行う。	・生育調査及び施肥下刈りの完了 ・生育管理研修の完了	・生育調査及び施肥下刈りの完了 ・生育管理研修の完了	◎
35 伊平屋村		⑤ 公園修景等整備事業	H28 ～ R2	国指定天然記念物の念頭平松がある念頭平松公園の整備を行い、利便性を確保する。	・トイレ給排水工事の完了 ・敷地造成工事の完了 (造成、構造物撤去、仮設排水路) ・駐車場敷地造成工事の完了 ・排水工事の完了	・トイレ給排水工事の完了 ・敷地造成工事 未実施 (造成、構造物撤去、仮設排水路) ・駐車場敷地造成工事 未実施 ・排水工事の完了	△
35 伊平屋村		⑥ 伊平屋村「琉球の兆し」普及啓発事業	H30 ～ R3	文化資源及び観光資源としての価値を高めるために村文化財の保存継承を図り、観光客の利便性の向上に取り組む。	・螺鈿鞍修復率30% ・田名城跡案内版設置完了	・螺鈿鞍修復率 30% ・田名城跡案内版設置完了	◎
35 伊平屋村	2	① 病害虫防除事業	H24 ～ H30	さとうきびの生産量低下の原因となっている病害虫の防除を図るため、ほ場に薬剤を設置する。	さとうきびの生産量 4,900t	さとうきびの生産量 6,136t	◎
35 伊平屋村		② 新伊平屋村製糖工場建設工事	H29 ～ R1	本村の基幹産業であるさとうきび・糖業の安定した生産体制を確立し、継続的なさとうきび・糖業の振興を図るため、含みつ糖製糖施設を整備する。	外構工事(土工、排水構造物工、擁壁工)の完成	-	繰
35 伊平屋村		③ 伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H30 ～ R3	農家経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 106%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 108%	◎

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
35 伊平屋村	3 ①	伝統文化継承支援事業	H24 ～ R3	伝統芸能及び文化の保存継承を図るため、世代間交流による課外講座の実施や保存会等の活動を支援する。	・伝統文化教室への参加者数 133人 ・伝統芸能演舞者数 25名 ・来場者数 323名	・伝統文化教室への参加者数 146名 ・伝統芸能演舞者数 71名 ・来場者数 556名	◎
35 伊平屋村	②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別な支援を要する児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。また、児童生徒の学力に応じた学習指導を行うことで、学力及び学習意欲の向上を図る。	・対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。  ・沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合の減少 正答率30%未満の割合 小学5年生:国語(6.4%以下) 小学3年生:算数(11.6%以下) 中学2年生:国語(12.6%以下) 中学2年生:数学(22.2%以下) 中学2年生:理科(35.6%以下) 中学2年生:社会(21.8%以下) 中学2年生:英語(23.8%以下)	・対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。  ・沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合の減少 正答率30%未満の割合 小学3年生:算数(14.4%) 小学5年生:国語(13.1%) 中学2年生:国語(11.1%) 中学2年生:数学(15.3%) 中学2年生:理科(33.3%) 中学2年生:社会(16.3%) 中学2年生:英語(16.6%)	○
35 伊平屋村	③	英語学習支援事業	H25 ～ R3	海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、国際的な視野を持つ人材を育成する。	参加者及び保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	参加者及び保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたと回答した割合 80%	◎
35 伊平屋村	④	伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業	H26 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種大会への参加を支援する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたと回答した割合 80%	◎
35 伊平屋村	⑤	伊平屋島起業家人材育成事業	H26 ～ R1	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたと回答した割合 83%	◎
35 伊平屋村	4 ①	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ R3	預かり保育の実施により、保護者の育児における負担感の軽減を図る。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたと回答した割合 100%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
35 伊平屋村	②	慢性疾患等通院時渡航費助成事業	H30 ～ R3	慢性疾患等による島外医療機関での医療が継続して受けられるよう、受診に伴う渡航費を助成する。	渡航費支援が必要な住民への支援率 100%	渡航費支援が必要な住民への支援率 100%	◎
35 伊平屋村	③	ウェルネスいへや推進事業	H27 ～ R3	運動習慣の啓発を図るため、健康イベントを実施する。	各種健康イベントへの総参加者数600人以上	各種健康イベントへの総参加者数 602人	◎
35 伊平屋村	④	住民健診フォローアップ推進事業	H27 ～ R3	住民健診・がん検診等において要精密検査と判定された住民が島外医療機関で精密検査が受けられるよう、検査に伴う渡航費を助成する。	渡航費支援が必要な住民への支援率 100%	渡航費支援が必要な住民への支援率 100%	◎
35 伊平屋村	⑤	自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R3	島民に対しフェリー自動車航送費への支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと回答した割合 97%	◎
35 伊平屋村	⑥	伊平屋村不法投棄未然防止強化事業	H28 ～ H30	本村は、産業廃棄物処理施設がないため不法投棄が後を絶たずその対策が課題となっているため、不法投棄物を撤去し未然防止策を講じる。	不法投棄の発生件数 0件	不法投棄の発生件数 0件	◎
35 伊平屋村	⑧	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ R3	沖縄本島よりも割高な生活コストの低減を図るため、生活必需品等の輸送経費等の支援を行う。	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差 0ポイント以下	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差 -10.3ポイント	◎
36 伊是名村	1 ①	観光地等クリーンアップ事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設等の美化緑化作業を実施する。	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるか 99%	◎
36 伊是名村	②	いげな尚円王まつり支援事業	H24 ～ R3	伝統文化の継承と観光客の誘致を図るため、いげな尚円王まつりの開催を支援する。	来場者数 1,040人以上	来場者数 2,475人	◎
36 伊是名村	④	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、尚円王に関する旧蔵品等の整備・復元を行う。	旧蔵品を活用した祭事への来場者数 100人	旧蔵品を活用した祭事への来場者数 232人	◎

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」  
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」  
 「繰越」・・・「繰」  
 「遂行困難」・・・「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
36 伊是名村	⑤	伊是名モータースポーツ支援事業	H26 ～ R3	観光客の誘致を図るため、モータースポーツ大会の開催を支援する。	来場者数 880人以上	来場者数 625人	○
36 伊是名村	⑥	いいな運天港いちやり場まつり支援事業	H26 ～ R3	観光客の誘致を図るため、いいな運天港いちやり場まつりの開催を支援する。	来場者数 1,100人以上	来場者数 1,121人	◎
36 伊是名村	⑦	沖縄らしい風景づくり推進事業	H26 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、景観形成活動を行う団体に支援する。	観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	観光地としてふさわしい景観であると感じるか81%	◎
36 伊是名村	⑧	尚円王マラソン大会支援事業	H28 ～ R3	観光客の誘致を図るため、尚円王マラソン大会の開催を支援する。	島外からのエントリー者数 293人以上	島外からのエントリー者数 171人以上	未
36 伊是名村	⑩	観光施設整備事業	H29 ～ H30	観光誘客を図るため、本村の観光スポットである二見ヶ浦海岸一望できる展望台の整備を行う。	展望台整備の完了	展望台整備の完了	◎
36 伊是名村	2 ①	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R3	島民に対し、フェリー自動車航送費への支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか95.6%	◎
36 伊是名村	②	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ R3	沖縄本島よりも割高な生活コストの低減を図るため、生活必需品等の輸送経費等の支援を行う。	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差 -2.6以下	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差 -6.9	◎
36 伊是名村	③	伊是名村救急体制強化事業	H30	災害時の住民や観光客の安全を確保するため、緊急車両(消防車)を整備する。	緊急車両(消防車)1台の導入完了	緊急車両(消防車)1台の導入完了	◎
36 伊是名村	④	定住促進住宅整備事業	H30 ～ R3	Iターン・Uターンによる移住者等の定住促進を図るため、定住促進住宅を整備する。今年度は実施設計を行う。	実施設計の策定完了	実施設計の策定完了	◎
36 伊是名村	3 ①	人材育成事業(日高小との交流事業)	H24 ～ R3	児童に広い視野を持たせるため、伊是名小学校6年生を北海道に派遣し、日高小学校との交流学習・体験学習を実施する。	保護者へのアンケートで、県外の人との交流により、児童の視野が広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	保護者へのアンケートで、県外の人との交流により、児童の視野が広まったと感じたか100%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
36 伊是名村	②	児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種大会への参加を支援する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか 97.5%	◎
36 伊是名村	③	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ R3	預かり保育の実施により、保護者の育児における負担感の軽減を図る。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか 90.5%	◎
36 伊是名村	④	グッジョブ連携推進事業	H24 ～ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか 77.8%	○
36 伊是名村	⑤	学習支援事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力向上を図るため、村営学習塾及び放課後教室の開講、学習支援員の配置を行う。	平成30年度沖縄県学力到達度調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -6.0ポイント以上 中学校 1.0ポイント以上	平成30年度沖縄県学力到達度調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -28.0ポイント 中学校 -15.8ポイント	未
36 伊是名村	4 ①	伊是名村土づくり支援事業	H24 ～ R3	さとうきびの生産量の増加を図るため、ほ場に堆肥の散布を行う。	さとうきびの単収 5,484kg	さとうきびの単収 5,480kg	○
37 久米島町	1 ①	漁港施設機能強化事業	H24 ～ R3	主要漁港の鮮度保持施設に製氷機の整備を行い、漁獲単価の向上を図る団体へ支援を行う。	漁獲単価646円/kg以上	815円/kg	◎
37 久米島町	②	優良雌牛導入事業	H26 ～ R3	本町の繁殖雌牛の生産基盤の拡充・改良を促進し「くめじま牛」のブランド化を推進するため、優良遺伝繁殖雌牛の導入を行う団体へ支援を行う。	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:110%以上	107%	○
37 久米島町	③	モズク加工場機能強化事業	H24 ～ R3	モズク加工場に塩蔵加工ライン増設及び塩蔵タンクの整備を行い、生産性の向上、安定供給を図る団体へ支援を行う。	モズク加工場の塩蔵加工設備の整備完了	整備完了	◎
37 久米島町	2 ①	久米島紬販売促進事業	H24 ～ R3	久米島紬に係る商品の売上増加に繋げるため、販売会や問屋呉服店への販即訪問等を行う団体へ支援を行う。	・反物売上額 6,355万円以上 ・小物売上額 1,489万円以上	・6,017万円 ・1,542万円	○

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
37 久米島町	②	久米島特産品販路開拓事業	H24 ～ R3	島産品の売上増加を図るため、県内外で開催される物産展へ出展する事業所を支援する。また、島の特産品パンフレットを作成し、物産展で配布する。	・物産展における販売額 2,844万円	2,930万円	◎
37 久米島町	③	地域型就業意識向上支援事業	H30 ～ R3	児童生徒に早い段階から「働くこと」への意識づけを行い、将来の夢や目標に向けた就業意識向上を図り、地域に貢献できる人材の育成を目指す。	参加した児童生徒へのアンケート就業に対する意識が向上したと回答した割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	86.6%	◎
37 久米島町	3 ①	久米島観光誘客支援事業	H24 ～ R3	久米島の魅力を活かした広報活動や、各種イベントを実施し、観光客の誘客を図る。	①入域観光客数 123,000人以上 ②イベント参加人数(島外)394人以上	① 103,309人 ② 201人	未
37 久米島町	②	久米島観光プロモーション事業	H25 ～ R3	WEB及びマスメディアを活用した観光プロモーションを実施し、久米島の認知度の向上及び観光客の誘客を図る。	入域観光客数: 123,000人 以上	103,309人	○
37 久米島町	③	体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ～ R2	久米島の自然環境、歴史文化、産業などの地域資源と人を活かした体験型・交流型観光を推進することで、修学旅行の誘致と観光誘客を図る。	・民泊事業者数: 38戸以上 ・修学旅行の受入学校数: 11校以上 ・体験プログラム利用者数: 1,823人以上	・43戸 ・7校 ・1,759人	○
37 久米島町	④	久米島町観光振興基本計画策定事業	H30	観光産業の現況及び今後の動向を踏まえ、実効性のある具体的施策を掲げた“新たな戦略と指標”となる「第2次久米島町観光振興基本計画」を策定し観光誘客を図る。	・久米島町観光振興基本計画の策定	計画の策定完了	◎
37 久米島町	⑤	航空路線拡充対策事業	H26 ～ R3	給油施設のない久米島空港でのチャーター便の給油及び燃料輸送等に係る費用を負担することで、チャーター便や新規航空会社の誘致を行い、離島航空路線のプログラムチャーター化及び定期便化を促す。	・チャーター便就航数: 40便	26便	未
37 久米島町	⑥	航空運賃コスト負担軽減事業	H30 ～ R3	割高な航空運賃を低減し、航空事業者に対しその差額を負担する。入域者数の増加による地域の活性化を図る。	久米島町の入域者数: 123,000人	103,309人	○

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
37 久米島町	4 ①	複合型防災・地域交流拠点施設整備事業	H29 ～ R1	災害時は、住民及び災害時要援護者等が安全に避難生活をおくれる避難所として、平時は地域の交流拠点として利用できる施設の整備を行う。	・拠点施設の実施設設計の完了	-	繰
37 久米島町	②	子育て支援事業	H28 ～ R3	町民や観光客等の利便性の確保を図るため、幼児から小学生が気軽に安心安全に遊べる施設を整備する。また、家族連れ観光客が安心して遊べる公園を整備することにより、観光地としての魅力アップを図る。	・実施設計書の作成完了	実施設計の完了	◎
37 久米島町	③	久米島霊園整備事業	H30 ～ R2	墓地の散在化抑制及び集約化を行い景観の保全を図るため、霊園施設を整備する。	「久米島霊園整備基本計画」の策定完了	基本計画の策定完了	◎
37 久米島町	5 ①	スポーツコンベンション施設機能強化事業	H24 ～ H30	プロスポーツ等のキャンプ誘致を促進し観光産業の振興を図るため、現在、受入施設として使用している、久米島野球場関連施設の整備を実施する。	プロ野球キャンプ実施件数 1件 スポーツ合宿招致件数 6件	・1件 ・7件	◎
37 久米島町	6 ①	文化遺産保存活用事業	H24 ～ R3	町内における歴史資料の修復を行い、企画展等を開催し周知することで、歴史の継承を図るため、町内に残されている歴史資料の修復等を行う。	・修復した資料を活用した企画展の来場者数 400人以上	1,333人	◎
37 久米島町	②	久米島現代版組踊り創作事業	H24 ～ R3	沖縄に古くから伝わる古典芸能「組踊」をベースに、民俗芸能の要素を取り入れた現代版組踊りを島の中高生が演じることで、歴史・文化の継承を図る。	・参加者(演者)及び来場者へのアンケートで、歴史・文化に対して理解が深まった(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	95%	◎
37 久米島町	7 ①	英語指導員配置事業	H24 ～ R3	小学校期からの長期的な英語指導によって国際性とコミュニケーション能力の育成を図る。外国語活動及び国際理解教育により英語への興味・関心を高めるために、英語指導員を配置する。	・英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、児童へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	85%	◎
37 久米島町	②	基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ～ R3	学習支援員を配置し、学習未定着の児童にきめ細やかな学習支援を行うことで、学力の向上を図る。担任と支援員(TT式授業)の二人体制で授業を行い、落ち込みのある児童に対してきめ細やかな支援を行う。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差:県平均以上とする	小学校3年:国語77.2点(県平均比+8.5点)、算数78.7点(県平均比+6.7点) 小学校4年:算数71.2点(県平均比+7.9点) 小学校5年:国語45.9点(県平均比-1.3点)、算数58.8点(県平均比-1.4点)、理科59.2点(県平均比+2.7点) 小学校6年:算数64.3点(県平均比+3.1点)	○

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
37 久米島町	③	特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	授業についていけない児童生徒(発達障害など学習面や生活面での特別な教育的補助を必要とする児童)への個別指導や放課後の補習、介助や安全確保等を教師と連携して行う支援員を配置する。	・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	85%	◎
37 久米島町	④	児童・生徒各種大会派遣支援事業	H27 ～ R3	島外で開催される各種大会への派遣旅費を支援し、児童・生徒の多様な能力と心身の発達や育成を図る。島外の生徒との競争や交流の機会を増やすことで広い視野を持たせる。	・派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合80%以上を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	86%	◎
37 久米島町	⑤	ICTを活用した家庭学習支援事業	H29 ～ H30	小中学生を対象に家庭学習環境の充実を図るため、ICTを活用したオンライン双方向授業を行う「町営学習塾」を開設する。沖縄本島や本土と同等の学習環境を整備し、学力の向上を図る。	学習塾で実施される期末テストにおいて、全国と本町との平均点の差を以下のとおりとする。 小学校:-35.0点以内 中学校:-33.0点以内	小学校-10.84点 中学校-24.46点	◎
38 八重瀬町	1 ①	八重瀬町国際交流人材育成事業	H24 ～ R3	海外での生活や体験を通して、国際的な視野を持つ人材を育成するため、中学生をハワイに派遣する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたとの回答100%	◎
38 八重瀬町	②	八重瀬町少年少女人材育成交流事業	H26 ～ R3	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外の児童生徒との交流を実施する。	保護者へのアンケートで、県外の人との交流により、児童生徒の視野が広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	保護者へのアンケートで、県外の人との交流により、児童生徒の視野が広まったと感じたとの回答100%	◎
38 八重瀬町	③	渡嘉敷島リーダー研修事業	H26 ～ R3	児童に広い視野を持たせるため、本島外で研修を行う。	保護者へのアンケートで、本島外での研修により、児童の視野が広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	保護者へのアンケートで、本島外での研修により、児童の視野が広まったと感じたとの回答96.96%	◎
38 八重瀬町	④	八重瀬町外国語指導強化事業	H24 ～ R2	幼児児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、町内幼小中学校に英語指導助手を配置する。	①小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ②中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差 -1ポイント以上	①小学校 対象児童へのアンケート調査で英語に対する興味・関心が高まったとの回答95.61% ②中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差 +1.9ポイント	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」  
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」  
 「繰越」・・・「繰」  
 「遂行困難」・・・「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
38 八重瀬町	⑤	八重瀬町パソコン指導強化事業	H24～R3	児童生徒の情報端末操作技術の向上を図るため、町内小中学校へパソコン指導員を配置し、パソコンを使用する授業のサポートを行う。	児童へのアンケートで、ICT機器を活用できたと感じたか(80%以上)を含め、ICT機器の活用のあり方を検証する。	児童へのアンケートで、ICT機器を活用できたと感じた回答93.04%	◎
38 八重瀬町	⑥	八重瀬町学力向上支援事業	H25～R3	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図るため、町内小中学校に学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校(国語・算数) -2ポイント以上 中学校(国語・数学) -3ポイント以上	沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校(国語・算数) -0.18ポイント 中学校(国語・数学) +0.63ポイント	◎
38 八重瀬町	⑦	八重瀬町特別支援員配置事業	H27～R3	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内幼小中学校に特別支援員を配置する。	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したとの回答91.56%	◎
38 八重瀬町	⑧	切磋琢磨学力パワーアップ事業	H26～H30	生徒の学力の向上を図るため、町内中学生に対して放課後や休日等に学習支援を行う。	沖縄県学力到達度調査(国語・数学)における、県と本町との平均正答率の差 -3ポイント以上	沖縄県学力到達度調査(国語・数学)における、県と本町との平均正答率の差 +0.63ポイント以上	◎
38 八重瀬町	⑨	ICT教育強化事業	H26～H30	各小中学校へ電子黒板を配置したが、教室増に伴う電子黒板とパソコンに不足がある為、引き続き配置し、ICT活用状況のアップと学力向上を図る。	・町内小中学校の普通教室への電子黒板及びパソコン導入率を100%にし、年間授業日数の30%以上の活用を目指す。 ・全国学力学習状況調査の平均正答率を、(小学校)全国平均+5ポイント以上(中学校)県平均-3ポイント以上	・町内小中学校の普通教室への電子黒板及びパソコン導入率100% 年間授業日数の57% ・全国学力学習状況調査の平均正答率を、(小学校)全国平均+3.8ポイント(中学校)県平均-1ポイント	○
38 八重瀬町	2 ①	八重瀬町イベント事業	H24～R3	伝統芸能の継承と観光客の誘致を図るため、町内イベントの開催支援を行う。	・青年エイサー祭り:来場者数 11,000人 ・やえせ桜まつり :来場者数 5,500人	・青年エイサー祭り:来場者数 11,000人 ・やえせ桜まつり :来場者数 6,300人	◎
38 八重瀬町	②	八重瀬町観光地美化作業事業	H24～R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	アンケート調査において、観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じた回答98%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
38 八重瀬町	③	港川フィッシャー遺跡整備事業	H24 ～ R1	本町の歴史の継承と観光誘客を図るため、港川遺跡公園を整備する。	・港川遺跡公園実施設計の完了 ・用地購入の完了	・港川遺跡公園実施設計の完了 ・用地購入の完了	◎
38 八重瀬町	④	生涯学習・文化振興拠点整備事業	H30 ～ R3	伝統芸能の保存継承と観光誘客を図るため、生涯学習・文化振興拠点施設を整備する。	基本計画策定の完了	基本計画策定の完了	◎
38 八重瀬町	⑤	「ホロホローの森の生き物たち」調査及び報告書作成事業	H30	観光誘客を図るため、ホロホローの森の調査・観察会・パネル展等を実施する。	観察会に参加した観光客数 200人以上	観察会に参加した観光客数 284人	◎
38 八重瀬町	⑥	運動公園施設等整備事業	H24 ～ R3	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。30年度においては、芝管理業務、東風平サッカー場における防球ネットの機能強化および管理棟トイレ・シャワーに係る設計業務を行う。	野球キャンプの受け入れ 6件以上 サッカーキャンプの受け入れ 4件以上	野球キャンプの受け入れ 5件 サッカーキャンプの受け入れ 6件	○
38 八重瀬町	⑦	八重瀬町サッカーキャンプ事業	H26 ～ R3	本町でキャンプを行うチームとの事前受入調整を行いキャンプ受入時に必要なものを揃えることで、キャンプの誘致を行う。また、チームの集客力を活かした誘客と来場者が町内周遊できる仕組みづくりを実施する。	・キャンプ期間中來客数10,000人以上 ・Jリーグチーム2チーム以上・海外プロサッカーチーム1チーム以上の計3チーム以上のキャンプ受け入れ ・キャンプ來客者が冊子を活用し町内で消費した額370万円以上	・キャンプ期間中來客数2,613人 ・計6チームキャンプ受け入れ ・キャンプ來客者が冊子を活用し町内で消費した額0万円	△
38 八重瀬町	⑧	八重瀬町観光拠点施設整備事業	H27 ～ R3	観光誘客を図るため、観光拠点施設を整備する。	小型自動車駐車場(11台)により増加した施設利用者数 165,000人以上	小型自動車駐車場(11台)により増加した施設利用者数 12,700人	未

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
38 八重瀬町	3	① 八重瀬町観光ブランド魅力創出事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、観光体験プログラムの作成や町内の観光客の受入体制を整備する。	①作成した体験観光プログラムに参加した観光客数 159人以上  ②人材育成・強化プログラムへの参加者へのアンケートで、観光客へのおもてなしの心が向上したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。  ③観光意識向上プログラム等への参加者へのアンケートで、観光への不安が解消されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	①作成した体験観光プログラムに参加した観光客数 74人  ②人材育成・強化プログラムへの参加者へのアンケートで、観光客へのおもてなしの心が向上したか検証すべきであったが、町内観光事業者の参加がなかったため検証できなかった。  ③観光意識向上プログラム等への参加者へのアンケートで、観光への不安が解消されたか検証すべきであったが、町内観光事業者の参加がなかったため検証できなかった。	未
38 八重瀬町		② 八重瀬ブランド販路構築支援事業	H24 ～ R3	町内にある既存の町産品について、町外・県外への販路拡大を図るため、商談会の実施等を行う。	商談が新規成立した事業者数 2件以上	商談が新規成立した事業者数 2件	◎
38 八重瀬町		③ 八重瀬町観光プロモーション事業	H26 ～ R3	町内への観光誘客のため、観光プロモーションを実施する。	主要観光施設の入込観光客数 210,000人以上	主要観光施設の入込観光客数 263,000人	◎
38 八重瀬町	4	① 八重瀬町地産地消フェア事業	H26 ～ H30	町民や観光客等に町産品を広く知ってもらうため、地産地消まつりへの支援を行う。	来場者数 4,206人以上	来場者数 9,257人	◎
38 八重瀬町		② 農薬飛散防止ネット整備事業	H29 ～ R2	町内にある農作物の生産性の向上を図るため、農薬飛散防止ネットの整備を支援する。	農薬飛散防止ネット整備箇所における、農薬飛散による苦情件数 0件	農薬飛散防止ネット整備箇所における、農薬飛散による苦情件数 0件	◎
38 八重瀬町		③ 八重瀬町和牛改良支援事業	H26 ～ H30	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 112%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 105%	○
38 八重瀬町		④ 乳用牛改良支援事業	H29 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の向上を図るため、優良母牛導入の支援を行う。	生産乳量:394,700kg以上 乳質(脂肪率):4.12%以上	生産乳量:4,379,700kg 乳質(脂肪率):3.87%	○

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
38 八重瀬町	6 ①	「夢・未来」スポーツレベルアップ事業	H30 ～ R3	児童生徒のスポーツへの意識を高めるため、トップアスリートによるスポーツ教室を開催する。また、児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で実施される各種大会への参加を支援する。	①スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。 ②派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	①スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったとの回答95%。 ②派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が広い視野を持てたとの回答82%。	◎
38 八重瀬町	7 ①	運動公園省エネ化推進事業	H28 ～ R3	環境負荷の少ない照明機器の導入により、二酸化炭素排出量の抑制を図る。	東風平運動公園(体育館・テニスコート・サッカー場)の二酸化炭素排出削減量 6.9t	東風平運動公園(体育館・テニスコート・サッカー場)の二酸化炭素排出削減量 78.0t	◎
39 多良間村	1 ①	美化緑化推進事業	H25 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を行う。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたかについて肯定的な回答 76%	○
39 多良間村	②	多良間村観光危機管理計画策定事業	H30	村を訪れる観光客の安全を確保するため、自然災害や人的災害などが発生した際の対応を定めた「多良間村観光危機管理計画」を策定する。	多良間村観光危機管理計画の策定完了。	多良間村観光危機管理計画の策定完了。	◎
39 多良間村	2 ①	優良繁殖雌牛導入支援事業	H27 ～ R1	農家の経営の安定化に向けて良質な肉用牛の改良推進を図るため、優良繁殖雌牛導入を支援する。	優良繁殖雌牛導入の支援(20頭)の完了	優良繁殖雌牛導入の支援(20頭)の完了	◎
39 多良間村	3 ①	児童生徒島外教育諸活動助成事業	H27 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種大会への参加を支援する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたかについて肯定的な回答 89.7%	◎
39 多良間村	②	学力向上推進ALT活用事業	H27 ～ R3	児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、ALTを招聘する。	・小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ・中学校 英検の合格率50%以上	・小学校 英語に対する興味・関心が高まったかについて肯定的な回答 81% ・中学校 英検の合格率56%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
39 多良間村	③	村営学習塾開設事業	H28 ～ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、村営学習塾を開講し、国語・算数(数学)・英語を中心とした学習支援を実施する。	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数) -8ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語) -13ポイント以上	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数) -5.2ポイント ・中学校(国語・数学・英語) +5.7ポイント	◎
39 多良間村	④	多良間中学校グラウンド全天候型改修事業	H29 ～ R2	雨天後のグラウンド環境の悪化による大会の中止等をなくすため、多良間中学校グラウンドを全天候型に改修し、児童生徒や村民等の体育環境を改善する。	一部施設整備工事の完了・排水整備	一部施設整備工事の完了 ・排水整備	◎
39 多良間村	⑤	教育関連施設省エネ推進事業	H29 ～ H30	教育関連施設に環境負荷の少ないLED照明を整備し、二酸化炭素排出量の抑制を図る。	施設整備工事の完了	施設整備工事の完了	◎
39 多良間村	⑥	多良間村就業意識向上支援事業	H30 ～ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を行う。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたかについて肯定的な回答 75%	○
39 多良間村	⑦	多良間村自然文化継承事業	H30 ～ R3	村の歴史・自然・しまくとぅばの継承と観光誘客を図るため、郷土資料の修復、自然環境の調査、しまくとぅば副読本の制作等を行う。	・所蔵資料の修復と複製本作成及び電子化データの作成完了(1期/4期) ・自然環境の調査完了 ・しまくとぅば副読本の発行	・所蔵資料の修復と複製本作成及び電子化データの作成完了(1期/4期) ・自然環境の調査完了 ・しまくとぅば副読本の発行	◎
39 多良間村	4 ①	多良間村自動車航送負担コスト軽減事業	H27 ～ R3	島民に対し、フェリー自動車航送費への支援を行い、宮古島へ移動しやすい環境の構築を図る。	宮古島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	宮古島へ移動しやすい環境の構築が図られたかについて肯定的な回答 97.5%以上	◎
39 多良間村	②	多良間村離島食品・日用品輸送費等補助事業	H28 ～ R3	沖縄本島よりも割高な生活コストの低減を図るため、生活必需品等の輸送経費等の支援を行う。	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差 -5.5ポイント以下	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差 -16.2ポイント	◎
39 多良間村	5 ①	防風林及びほ場境界止壁設置事業	H28 ～ H30	防風林を保護し、さとうきびの収穫量の増を図るため、ほ場と防風林の境界に止壁を設置する。	止壁設置箇所における防風林帯への大型機械の進入回数 0回	止壁設置箇所における防風林帯への大型機械の進入回数 0回	◎
39 多良間村	6 ①	多良間保育所前排水路設置事業	H30	排水路を設置する事により雨天時の水たまりをなくし、園児の送り迎え、生徒の登下校の安全を確保する。	雨天時の多良間保育所前と多良間中学校前への水たまり発生回数 0回	雨天時の多良間保育所前と多良間中学校前への水たまり発生回数 0回	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
40 竹富町	1 ①	妊産婦支援事業	H24 ～ R3	町内の医療機関では対応できない妊婦健康健診受診等を島外で適時に受診できる。また、妊婦健診を中断することなく継続して医療が受けられるようになることを目的とする。	・渡航費支援が必要な人への支援率100%	・渡航費支援が必要な人への支援率100%	◎
40 竹富町	②	健康診査用機材搬送事業	H26 ～ R3	集団検診(住民健診・胃がん検診・婦人がん検診)時における検診車の海上輸送運賃の負担軽減を行い、健康診査受診の促進を図る。	集団検診受診者数 2,134人	集団検診受診者数 1,462人	未
40 竹富町	③	竹富町お出かけサポートモデル事業	H26 ～ H30	西表島西部、東部地区で送迎サービスを実施し、高齢者及び障害者等の社会的孤立感の解消を図る。	・利用者へのアンケートで、社会的孤立感の解消が図れたか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	・利用者へのアンケートで、社会的孤立感の解消が図れたか(100%)	◎
40 竹富町	④	竹富町民等船賃負担軽減事業	H27 ～ R3	島々を結ぶ旅客船の船賃に対し支援を実施し、生活の利便性を確保する。	利用者へのアンケートで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	利用者へのアンケートで、利便性が確保されたか(90.5%)	◎
40 竹富町	⑤	干立地区防災機能改善事業	H29 ～ R1	西表島干立地区の金座山に津波避難路を整備し、津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図る。	・避難路調査実施設計の完了	・避難路調査実施設計の完了	◎
40 竹富町	⑥	複合型福祉施設整備事業	H27 ～ R3	子どもを産み育てやすい環境を整備するため、働く保護者等の子育て支援の充実を図る。	・建設工事(波照間)の完了 ・実施設計委託業務(西表(東部)・(上原))の完了 ・基本設計委託業務(竹富・小浜)の完了	-	繰
40 竹富町	⑦	竹富町救急患者輸送車両(救急車)導入事業	H30	緊急車両(救急車)を導入し、町民及び観光客の安全性の確保を図る。	・救急患者輸送車両(救急車)の導入	・救急患者輸送車両(救急車)の導入完了	◎
40 竹富町	⑧	西表東部公園整備事業	H29 ～ R3	西表東部に公園を整備し、地域住民の福祉の向上を図る。	・公園整備実施設計の作成完了 ・用地取得業務の完了	・公園整備実施設計の作成完了 ・用地取得業務の完了	◎
40 竹富町	2 ①	観光誘客・受入対策事業	H26 ～ H30	誘客宣伝活動や受入体制の強化・整備を実施し、観光客の誘客を図る。	・入域観光客数 1,089,206人以上	客数1,079,635人	○

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
40 竹富町	②	西表浦内観光施設整備事業	H24 ～ H30	西表島の観光地であるマリユドゥの滝等のトイレや遊歩道の整備を実施し、観光客の利便性の確保を図る。	観光客へのアンケートで利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方を検証する。	未実施	未
40 竹富町	③	加屋真島観光関連事業	H29 ～ R3	ダイビングやキャンプ等のスポットとして活用されている加屋真島に棧橋等の施設整備を実施し、観光客の誘客を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計の完了</li> <li>・土質調査の完了</li> <li>・磁気探査の完了</li> <li>・潜水探査の完了</li> <li>・岩礁破碎等の同意取付の完了</li> <li>・サンゴ礁調査移設の完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計の完了</li> <li>・土質調査の完了</li> <li>・磁気探査の完了</li> <li>・潜水探査の完了</li> <li>・岩礁破碎等の同意取付の完了</li> <li>・サンゴ礁調査移設の完了</li> </ul>	◎
40 竹富町	3 ①	児童生徒派遣費支援事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合(94%)	◎
40 竹富町	②	学校ICT支援員派遣事業	H26 ～ H30	児童生徒の学習意欲の向上を目指し、教育用PC・電子黒板・タブレットPC等のICT機器を効果的に活用した分かりやすい授業の実現を支援するため、各小中学校へICT支援員を派遣する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。</li> <li>・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(98%)</li> <li>・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合(77%)</li> </ul>	○
40 竹富町	③	外国語指導助手派遣事業	H27 ～ R3	外国語活動指導員を配置し外国語への興味・関心を高める。	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(57%)	○
40 竹富町	④	家庭学習支援モデル事業	H29 ～ R3	学校外において、沖縄本島や本土と同等の学習環境を整備することで、学力の向上を図る。	町営塾で実施される年に3回の月例テストにおいて、全国と本町の平均点の差-13点以内	町営塾で実施される年に3回の月例テストにおいて、全国と本町の平均点の差-15点	未
40 竹富町	4 ①	竹富町和牛生産推進事業	H24 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛の平均価格が町内全体の子牛セリ平均価格より高価格となることを目標とする。 導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 1.22%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 14.45%	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
40 竹富町	②	竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業	H24 ～ R3	ペットの適正飼育への啓発や逸失したペットの保護・収容を実施し、逸失したペットによるイリオモテヤマネコへの病気感染等を防ぐ。	・逸失ペット等の保護・収容頭数23頭以内	・逸失ペット等の保護・収容頭数4頭	◎
40 竹富町	③	文化財保全事業	H24 ～ R3	本町が有する国指定文化財等の美化保全を行い、町民が学べる機会を増やすと共に、観光資源としても活用する。	・文化財を活用して行う史跡めぐりの実施5回(5地域年1回程度開催)	未実施	未
41 与那国町	1 ①	地域振興対策事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、「日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」及び「与那国島一周マラソン大会」への支援を行う。	カジキ釣り大会参加者数 110人 与那国島一周マラソン大会参加者数 700人	カジキ釣り大会参加者数 700人 与那国島一周マラソン大会参加者数 531人	○
41 与那国町	②	与那国島特産品アピール力強化事業	H25 ～ R3	離島地区であり、日頃より触れる機会の少ない与那国町の特産品の良さを知ってもらう為に、県内及び県外の物産展などの集客力を利用し出展を行い、特産品のPRを行って県内及び県外への販路開拓を図る。	参加した物産展における与那国島産品の売上高:180万円以上	参加した物産展における与那国島産品の売上高:150万円	○
41 与那国町	③	与那国町誘客促進活性化事業	H30 ～ R2	県内外へのプロモーション、観光パンフレット作成及び観光意識調査を行うことで、観光誘客に繋げる。	・チャーター便による観光入域客数527人	・チャーター便による観光入域客数1,280人	◎
41 与那国町	④	与那国町観光地整備事業	H29 ～ R2	利便性と安全性が確保された観光地を提供し観光客等が安心して利用できる環境を整備するため、既存の「サンニヌ台」(景勝地)の充実を図り整備実施する。	整備工事の完了	-	繰
41 与那国町	⑤	与那国町多言語観光案内サイン整備事業	H29 ～ H30	既存の観光案内版は、老朽化が激しく観光客や来島者の利用に支障をきたしている現状にあることから、景観に配慮した観光案内版への更新を実施すると共に、インバウンドへの対応として多言語での整備を実施する。	既存観光案内板改修:16基完了	既存観光案内板改修:16基完了	◎
41 与那国町	⑥	海底景観資源調査事業	H29 ～ R1	与那国を象徴する海底地形に対して、最先端のマルチビーム測深調査を実施し、観光資源として適切な活用及び保全、学術研究の基礎となる海底精密地形図を作成する。	①マルチビーム測深データ処理16.3平方km ②北海岸マルチビーム測深調査7平方km	①マルチビーム測深データ処理16.3平方km ②北海岸マルチビーム測深調査30.4平方km	◎

# 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
41 与那国町	⑦	観光振興対策360度映像利活用事業	H30	与那国島の自然や文化等の景観を360度映像として作成し、既存イベントや県内、県外で開催される物産展等の会場において、与那国島をPRするためのコンテンツとして活用する。また、クラウド環境を利用した360度映像配信システムを構築し、インターネット通して与那国島を体感できるサービス環境を整備する。	・360度映像により素材映像を撮影し、加工編集を行う。 VRゴーグル用及びPC用配信映像:12映像作成 映像シタタ用配信映像:12映像 ・映像配信システム構築:1システム ・イベント会場でのPR実施:1回	-	繰
41 与那国町	2 ①	優良牛繁殖雌牛導入事業	H25 ~ R3	与那国町の和牛生産を推進すると共に、繁殖雌牛の生産基盤の拡充・強化を図り、改良を促進し、肉用牛の資質向上を図るために、与那国町の農業従事者団体に対して、優良繁殖雌牛購入費用の一部を支援する。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 109%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 114%	◎
41 与那国町	②	農水産物輸送コスト負担軽減事業	H25 ~ R3	与那国町は、離島のさらに離島であるが、地理的不利性を解消し、農水産業の活性化を図るため、与那国町漁業協同組合が出荷する生鮮水産物及び農業協同組合、農業生産法人、その他団体が出荷する野菜、果樹、薬用作物の沖縄県内への空路輸送料に対し支援を行う。	①生鮮水産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:32.0% ②農産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:65.0%	①生鮮水産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:30.0% ②農産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:68.0%	○
41 与那国町	③	与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	H26 ~ R3	与那国町の漁業従事者団体に支援を行い、新規・既存漁業者に漁業設備の貸出をすることで漁業従事者の維持確保を図る。	漁業従事者数の維持確保:33人以上	漁業従事者数の維持確保:33人	◎
41 与那国町	4 ①	家庭学習支援モデル事業	H24 ~ R3	小中学生を対象とする家庭学習支援のため、既存の複合型公共施設に設置されているWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を行う「町営学習塾」を開設する。	・月例学力検査(年4回実施)にて、各学年の年間平均偏差値50の達成割合: 小学校33.3%以上 中学校19.0%以上	・月例学力検査(年4回実施)にて、各学年の年間平均偏差値50の達成割合: 小学校14% 中学校24%	○
41 与那国町	②	教育諸活動助成事業	H24 ~ R3	町内の児童生徒の各種大会派遣費(航空運賃等)を支援することにより、与那国に住む子供たちが持つ多様な能力・才能を発揮する機会を提供し、本町の未来を拓く子供たちの能力向上を図る。	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	アンケート未実施	未
41 与那国町	③	地域国際交流事業	H24 ~ R3	本町の姉妹都市である台湾・花蓮市への小学生のホームステイを行い、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートにおいて、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた回答50%	未

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】  
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」  
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」  
 「繰越」…「繰」  
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
41 与那国町	④	与那国町ジュニア海外語学研修派遣事業	H24 ～ R3	町内の中学生を対象として、ジュニア期の早い時期に欧米への短期ホームステイの支援を行い、豊かな国際感覚を身につけた人材の育成等を図る。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	保護者へのアンケートにおいて、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた回答100%	◎
41 与那国町	5 ①	与那国方言保存継承支援事業	H24 ～ H30	2009年UNESCOに消滅危機言語として登録された与那国語の記録保存と伝承、再活性化を目的とし、主として辞書作成を行う。並行して、保存継承のための企画を展開して衰退しつつある言語の使用を推奨する。	・与那国語辞典の作成完了 ・ドゥナンスカンニ大会の開催 歌唱の部:8人以上 作詞の部:23人以上	・与那国語辞典の作成完了 ・ドゥナンスカンニ大会の開催 歌唱の部:9人 作詞の部:35人	◎
41 与那国町	6 ①	安心・安全のまちづくり支援事業	H25 ～ R3	就学前児童及び生徒を対象として、教育課程に係る教育時間終了後に公共施設の一室を利用して、子どもにとって安心・安全な場所を設け、保護者の子育て支援をする。	安心・安全に子供を預けることができ、育児に関する負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	保護者へのアンケートにおいて、安心・安全に子供を預けることができ、育児に関する負担感が軽減されたと感じた回答35%	未
41 与那国町	7 ①	少子高齢化対策事業	H24 ～ R3	本町唯一の医療機関である与那国診療所には、各専門医がないため、出産または専門医療を受けるためには、海で離れた石垣島の病院へ通院する必要がある。そのため、島内に住む妊婦等が継続して島外での妊婦健診等医療サービスを受けられるよう、支援を行う。	島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合100%	島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合95%	○
41 与那国町	8 ①	公共交通路線支援事業	H24 ～ R3	地方バス運営に必要な支援をすることにより、生活路線バスの安定的な運営を維持し、島民及び来島者の利便性の確保を図る。	利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケートにおいて、利便性の確保が図られたことに肯定的な回答79%	○
41 与那国町	②	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ R3	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島及び石垣島から与那国島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本町の指標における事業実施前との差 -8.2ポイント以下	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本町の指標における事業実施前との差 -5.5ポイント	◎